

病 院 年 報

令和 6 年度

ANNUAL
REPORT 2024

Japanese Red Cross Fukushima Hospital



日本赤十字社 福島赤十字病院



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

病院年報

令和6年度

福島赤十字病院

福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

理念 Philosophy

わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します。
We aim at the better medical care to follow a life health and dignity

基本方針 Policy

- 1. 患者さま中心の医療** Patient-centered medical care
患者さまの人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた患者さま中心の医療に努めます
- 2. 良質な医療の提供** Providing quality medical care
良質な医療を提供するため、医療技術の向上および施設の充実を図ります
- 3. 地域医療機関との連携** Cooperation with the medical institution of the area
地域医療支援病院として、地域の医療機関と緊密な医療連携を行います
- 4. 救急医療の充実** Enhancement of emergency medical care
二次救急医療指定機関として、救急患者さまには24時間対応し、質の高い救急医療を行います
- 5. 災害時の救護活動** Disaster relief at the time of disaster
災害拠点病院として、災害時の救護活動に努め、被災者に寄り添った支援を行います
- 6. 原子力災害対応機能の充実** Enhancement of medical service for nuclear disaster
原子力災害拠点病院として、原子力災害に対する対応や医療活動を行います
- 7. 健全な経営の維持** Maintenance of the sound management
健全な経営を維持し、高度な医療の提供に努めます

患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 医療上の個人情報(プライバシー)が守られる権利
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利
6. 他の医師等の意見(セカンドオピニオン)を求める権利

発刊にあたり



福島赤十字病院
院長
鈴木 恭一

令和6年度は、日本の医療界において多くの変革がなされた年でした。

4月には医師の働き方改革が本格的に施行され、長時間労働の是正を目的に時間外労働の上限規制が導入されました。当院は2次救急指定日の宿直が許可されていないことから、夜勤を務めた医師は翌朝から休みに入ります。結果として昼間の通常勤務に従事する医師の負担が増大し、医師の健康と医療の質の両立が課題となりました。

6月には、新たに改定された診療報酬の運用が始まりましたが、給与費や委託費、材料費、光熱水費の高騰に見合った改定内容ではなく、当院を含めて多くの医療機関で厳しい経営を強いられる結果となりました。国は財政赤字を削減するために社会保障費の抑制に懸命です。しかし、物価高、人材不足、新規技術の拡大とそうした最新医療を求める国民の思い叶えようとするれば、社会保障費の増加は避けられません。国民に安心できる医療を提供することは、国の重要な政策であるはずですが。

俯瞰して令和6年度を見ると、医療の質と持続可能性を両立させるための制度改革とデジタル化が進む一方で、医師・看護師の慢性的な不足という課題が浮き彫りになりました。タスクシフト・タスクシェアの推進により、医療事務作業補助者や看護助手などの職種の役割が拡大した年でもあったと思います。

当院の令和6年度を振り返ると、経営的には国内の多くの医療機関と同様に極めて厳しい年でした。救急車の受入件数は4,184件、救急車からの入院も2,244件(入院率53.6%)と過去最高の結果でしたが、増収減益の状況であり、今後の費用削減への取り組みが必要です。一方で、医療の質は向上しています。令和6年4月より糖尿病・代謝内科学講座から当院への医師派遣が始まり、更に令和7年1月からは腎臓高血圧内科学講座からも医師の派遣が始まりました。消化器内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科においてはそれぞれ医師が増員されました。低侵襲で安全性の高い手術機器を導入し、福島医大との連携も進んでいます。初期臨床研修医も過去10年以上にわたってほぼフルマッチが続いており、令和6年度も17名の優秀な研修医が充実した医療を担ってくれています。今後も引き続き、「職員みんなの笑顔が溢れる病院」「地域から信頼され愛される病院」であり続けるよう真摯に取り組んでまいります。皆様のご協力とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年3月

目次

福島赤十字病院 令和6年度 病院年報

I 一年の動き

1. 令和6年度の動き	1
2. 災害救護訓練	7
3. 院友会	9

II 病院の概況

1. 病院の沿革	11
2. 病院概要	14
3. 組織図	19
4. 職員数	20
5. 福島赤十字病院会議及び委員会	21
6. 常備救護班編成表	22

III 統計

1. 令和6年度実績表	25
2. 入院 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価	26
3. 外来 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価	29
4. 入院患者数	32
5. 新入院患者数	33
6. 外来患者数	34
7. 診療科別稼働額	35
8. 入院・外来単価(自費収益を含まない)	36
9. 手術件数(手術室)	37
10. 平均在院日数	38
11. 病床稼働率(退院を含む)	39
12. 紹介率・逆紹介率(病院全体)	39
13. 診療科別救急車受入件数	40
14. 損益推移	41
15. 比較損益計算書	42

IV 活動実績

1. 内科、呼吸器内科	43
2. 消化器内科	43
3. 糖尿病・代謝内科	46
4. 循環器内科	47
5. リウマチ・膠原病内科	49
6. 腎臓内科	50
7. 脳神経内科	51
8. 精神科	52
9. 小児科	52
10. 外科	53
11. 心臓血管外科	56
12. 呼吸器外科	57
13. 整形外科	58
14. 脳神経外科	59
15. 皮膚科	62
16. 形成外科	62
17. 泌尿器科	63
18. 産婦人科	64
19. 眼科	65
20. 耳鼻咽喉科	65
21. 放射線科	67
22. 麻酔科	70
23. リハビリテーション科	71
24. 救急科	74
25. 病理診断科	75
26. 薬剤部	76
27. 医療技術部	78
28. 看護部	81
29. 検査部	105
30. 事務部[総務課、経営企画課、医療情報システム課、会計課、用度施設課、 医事課、健診課、患者サービス推進室]	108
31. 医療安全推進室	119
32. 感染管理室	121
33. 診療支援室	123
34. 地域医療連携室	123
35. 福島赤十字訪問看護ステーション	129

V 会議・委員会活動

1. 会議	131
2. 病院運営に関する委員会	143
3. 医療安全管理に関する委員会	157
4. 診療に関する委員会	162
5. 教育・研究に関する委員会	172
6. 労務および安全管理に関する委員会	175

VI 研究発表

1. 学会・研究会・研修会	177
2. 論文発表	183

I

一年の動き

+

1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

令和6(2024)年

4月

● 辞令交付式[1日]



● 新規採用職員オリエンテーション[1～3日]



● 院友会総会・新入会員歓迎会(於 エルティ)[17日]





1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

5月

- ボランティア総会[10日]
- ANAすずらん贈呈式[21日]



- 永年勤続功労表彰[1日]



- 病院広報誌『日赤通り広報版vol.59』発行[24日]

6月

- 院内消防訓練[25日]





1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

7月

- 経営改善説明会[5日]
- 福島県立医科大学 竹之下理事長による講演会[9日]



- 日本赤十字社福島県支部合同災害救護訓練(於 日本赤十字社福島県支部)[13日]



8月

- 福島わらじまつり → 新型コロナウイルスによる影響のため不参加
- 姫路赤十字病院 佐藤名誉院長による講演会[2日]



- 病院広報誌『日赤通り』広報版vol.60』発行[23日]



1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

- 山形県大雨災害にこころのケア班1班を派遣[19～22日]



9月

- 保健所立ち入り検査[26日]

10月

- 院友会 ハロウィンパーティー(於 エルティ)[15日]



11月

- 地域連携懇話会(於 エルティ)[7日]



- 病院広報誌『日赤通り広報版vol.61』発行[25日]

- 経営改善説明会[25日]



1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

12月

- クリスマスコンサート[24日]



令和7(2025)年

1月

- 仕事始め・院長年頭挨拶[4日]





1. 令和6年度の動き

<当院の動き>

2月

- 病院広報誌『日赤通り広報版vol.62』発行[25日]

3月

- 院内災害訓練[1日]



- 奥羽大学薬学部 包括連携協定調印式[14日]



- 研修医発表会・修了式[21日]



- 辞令交付式[31日]



2. 災害救護訓練

令和6年度災害救護関連訓練・研修会 参加実績

	日程	名称	会場	主催	参加者
1	5月11日(土)	福島市総合防災訓練	福島市飯坂支所南側広場	福島市 福島市総合防災訓練実行委員会	児玉 健太、鈴木 牧子 吉内 絵美、安斎 亜美 中島 良介、佐久間惟代
2	6月11日(火)	第2回DMAT技能維持研修	eラーニング・オンライン	国立健康危機管理研究機構	田島 一樹、萩原 暁美 鈴木 直人、金成 美和 梅宮 誠 (講師) 葛岡 大輔
3	6月17日(月)～ 6月18日(火)	統括DMAT研修	東京都 立川地域防災センター	厚生労働省 DMAT事務局	市川 剛
4	7月5日(金)～ 7月6日(土)	日赤災害医療コーディネーター研修	日本赤十字社	日本赤十字社	鈴木 安英
5	7月13日(土)	日本赤十字社福島県支部災害救護訓練	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	当院・福島県支部・血液センター職員 近隣医療機関の臨床研修医 (講師) 三浦 有樹
6	8月11日(日)～ 8月12日(月)	福島県CBRNE研修	福島県立医科大学	福島県	大久保怜子、柳田 美穂 今野 暁子、高島 雄一 濱名 正美、明田 充弘 (スタッフ) 市川 剛、渡邊あゆみ 中島 良介
7	9月21日(土)～ 9月22日(日)	第1ブロック支部赤十字救護班研修	宮城県石巻市	第1ブロック支部	市川 剛、泉 弘子、 北原 麻美、酒井 亮 葛岡 大輔 (タスク) 三浦 有樹
8	9月28日(土)	大規模地震時医療活動訓練	千葉県 (タスク) 千葉県保健医療福祉調整本部	内閣府	(救護班) 児玉 健太、武井 明美 梅宮 誠、武田 良平 佐藤 隆昭、佐久間惟代 (CoT) 渡部 研一、鈴木 安英
9	10月3日(木)～ 10月5日(土)	第1ブロック支部合同災害救護訓練	北海道	北海道支部	守谷 新、岩崎 睦子 國分 朋子、清野 薫 金原 昭世、萩原 幸樹
10	10月19日(土)	福島県総合防災訓練	伊達市保原総合公園	福島県	塚田 学、田島 一樹 鈴木 直人、中沢 利樹 橋本 健一、三浦 有樹
11	10月30日(水)	災害対策本部設置訓練	福島赤十字病院	事務部総務課	当院職員
12	11月1日(金)	多数傷病者受入訓練	ふたば医療センター附属病院	福島県 双葉消防本部	伊藤 裕平、清和 彩子 成尾ありさ、野坂 雄史 三浦 義喜、中島 良介
13	11月9日(土)	福島県原子力防災訓練	田村市総合体育館	福島県	中村耕一郎、武田 里美 松野 祥子、伊藤紗也加 菊地 洋平、佐藤 隆昭
14	11月14日(木)	福島県国民保護共同実働訓練	白河市小峰城跡、白河市総合運動公園等	福島県	

15	11月23日(土)～ 11月24日(日)	福島県DMAT 養成研修	福島県立医科大学	福島県	大久保怜子、伊藤紗也加 鈴木 彩佳、島田 翔平 佐久間惟代
16	11月19日(火)	第3回 東北ブロック DMAT技能維持 研修	宮城県 仙台国際センター	厚生労働省 DMAT事務局	金成 美和
17	12月7日(土)～ 12月8日(日)	日本赤十字社原 子力災害時の救 護研修	鹿児島県	日本赤十字社	(スタッフ) 中村耕一郎、海藤 隆紀
18	1月22日(水)	赤十字看護管理 研修	日本赤十字社	日本赤十字社	当院職員
19	1月28日(火)～ 1月29日(水)	福島県災害派遣 福祉チーム員養 成研修 (基礎研修)	福島県郡山市ハイ テクプラザ	福島県	松田千絵美
20	2月7日(金)	福島県石油コン ビナート総合防 災訓練	広野町 JERA広野火力発 電所	福島県、広野町、 双葉地方広域市町 村圏組合消防本部	三浦 智広、高橋 健太 鈴木 直人、幕田 高平 野地 幸次、渡辺 大夢
21	2月8日(土)	救護員を対象と したところのケ ア研修	福島赤十字病院	日本赤十字社福島 県支部	(講師) 海藤 隆紀
22	2月15日(土)	日赤災害医療 コーディネータ フォローアップ 研修会	オンライン	日本赤十字社	市川 剛、渡部 研一 渡邊あゆみ、奈良輪弘美 泉 弘子、武田 里美 葛岡 大輔
23	2月16日(日)	都道府県災害医 療コーディネー ター研修	日本赤十字社	独立行政法人国立 病院機構	中村耕一郎
24	2月22日(土)～ 2月23日(日)	福島県CBRNE (MCLS)研修	福島県立医科大学	福島県	大久保怜子、 (受講者兼講師) 三浦 有樹
25	2月25日(火)～ 2月27日(木)	福島県災害派遣 福祉チーム員養 成研修 (スキルアップ 研修Ⅱ)	福島県郡山市郡山 ユラックス熱海	福島県	菅野 直樹
26	3月1日(土)	院内災害訓練	福島赤十字病院	災害対策委員会	当院職員
27	3月20日(木)	福島県災害医療 コーディネー ター研修	福島県立医科大学	福島県	市川 剛、大久保怜子 (講師) 三浦 有樹



3. 院友会

<概要>

福島赤十字病院院友会は、当院に勤務する職員及び嘱託・臨時職員を対象に、職員同士の親睦を図ることを目的として活動している。会長は院長、副会長は副院長、事務部長、看護部長が務め、監事は会長が任命する。その他役員は各部署から毎年1名ずつ選出され、年間を通して季節に応じたイベントを企画運営している。

イベントの他、院友会員の体育および文化サークルの活動を通して親睦と福利厚生を推進を図ることを目的に、サークル活動助成金を交付している。

<令和6年度役員>

会長 鈴木 恭一(院長)
副会長 大和田尊之(副院長)、出羽 明子(副院長)、車田 真美(看護部長)、野田 誠(事務部長)
幹事 今野 友貴(医局)、渡邊 政子(外来)、荒木ひかり(HCU)、遠藤 瑞菜(3F)、
佐藤麗央奈(4F)、佐藤 優帆(5A)、上野 徳明(5B)、半澤みなみ(6A)、
須藤 咲(6B)、大宮 文華(OP・中材)、武藤 芳和(薬剤部)、佐藤 香歩(放射線)、
相楽 孝行(検査部)、齋藤 隆徳(リハビリ)、葛城 美貴(医療技術部)、
助川智恵子(事務部)、葛岡 大輔(事務部)

<令和6年度活動報告>

日時	内容	場所
4月17日(水)	院友会総会及び新入会員歓迎会	ウェディング エルティ
10月15日(火)	ハロウィンパーティー	
院友会旅行		
スキー・スノーボードの旅	… 2月22日(土)～23日(日)	
東京ディズニーリゾートの旅	… 2月15日(土)・2月26日(水)	
東京・下町浅草散策の旅	… 3月8日(土)	

<令和6年度決算報告>

収入の部	支出の部	翌年度繰越額
14,559,698円 (うち前年度繰越額6,186,343円)	7,435,902円	7,123,796円

II

病院の概況

1. 病院の沿革

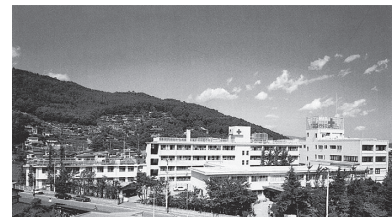
< 年月 >	< 沿革 >
昭和18年 8月	日本赤十字社福島支部福島療院として福島市舟場町に発足(病床数32床) 飯坂海軍病院の分院として診療が行われる <診療科目：内科、小児科、耳鼻咽喉科、理学診療科>
昭和19年 1月 4月	20床増床(病床数52床) 福島赤十字病院と改称
昭和25年10月	入院患者に対する完全給食を開始
昭和28年 2月	30床増床(病床数82床)
昭和30年 7月	20床増床(病床数102床)
昭和33年 6月 10月	産婦人科部設置 18床増床(病床数120床)
昭和34年 5月 12月	整形外科部設置 30床増床(病床数150床)
昭和37年 1月 2月	皮膚科部、眼科部設置 現在地(福島市入江町)へ新築移転 <鉄筋コンクリート造4階建、延床面積4,740㎡>
6月	(病床数200床／一般170床・結核30床) 入院患者に対する基準寝具開始
昭和38年 6月	秩父宮妃殿下御慰問
9月	総合病院の承認を受ける
昭和39年 9月	救急病院の指定を受ける
昭和40年 7月	福島市外3町村委託による伝染病棟50床併設(病床数250床)
昭和42年12月	精神科・神経科部設置
昭和43年 4月	東病棟増築、100床(精神)を増床(病床数350床)
昭和44年 9月	循環器科部、呼吸器科部設置
昭和52年 8月	精神病床100床のうち40床を一般病棟に変更
昭和54年 5月 9月	エネルギーセンター棟を新設 放射線科部設置
12月	胃腸科部、泌尿器科部設置
昭和56年11月	新館棟を増築、50床増床(病床数400床)
昭和57年 4月	脳神経外科部設置
昭和59年 3月	病院駐車場として国有地(福島大学跡地)を取得
昭和60年 5月	脳血管系疾患の収容病床として20床増床(病床数420床)
昭和61年 1月	麻酔科部設置
昭和63年 7月	外来診療会計コンピュータ稼働
平成元年 9月	三笠宮寛仁親王妃殿下御慰問
平成5年12月	病床23床増床(救急特例病床17床、CCU 6床) (病床数443床) 心臓血管外科部設置
平成6年 2月	本館棟等増改築工事完了
6月	医事会計システム更新 富士通(株) HOPE/X
平成8年 4月	胃腸科部を消化器科部と名称変更
8月	結核病床30床を廃止(病床数413床)
11月	災害拠点病院の指定を受ける
平成10年10月 12月	皇太子殿下並びに皇太子妃殿下御視察 訪問看護ステーション設置
平成11年 3月	伝染病床50床を廃止(病床数363床)
4月	第二種感染症医療機関の指定を受ける(6床) (病床数369床／一般303床・精神60床・感染6床)
平成12年 4月	福島県精神科救急医療施設の指定を受ける 居宅介護支援事業所設置



昭和18年 8月 舟場町に開院



昭和37年 2月 入江町に新築移転



昭和56年11月 新館棟増築



平成6年 2月 本館棟増改築

< 年月 >	< 沿革 >
平成13年 4月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター設置
9月	医事会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V1
平成14年 7月	地域医療連携室開設
平成15年 4月	呼吸器外科部設置
平成16年 3月	臨床研修病院(協力型)の指定を受ける
6月	1号館、2号館3病棟改修工事完了
10月	臨床研修病院(管理型)の指定を受ける
平成18年 3月	病理検査室設置 精神病床10床を減床(病床数359床/一般303床・精神50床・感染6床)
6月	医療安全推進室設置
平成19年 3月	病院機能評価Ver.4.0の認定を受ける
9月	医事会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V4 オーダーリングシステム導入 富士通(株) EGMAIN-FX V2
	導入オーダー:患者基本、処方、検体検査、入退院、病棟移動、給食、病名、診療予約、 検歴参照
平成20年 1月	教育研修推進室設置
4月	医療技術部設置
12月	血管造影撮影室増築
平成21年 3月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター運営終了
4月	DPC(診断群分類別包括制度)対象病院の指定を受ける
平成22年 4月	糖尿病・代謝科部設置
平成23年 3月	東日本大震災発生 救護班延べ77個班を派遣
7月	平成23年7月新潟・福島豪雨発生 救護班1個班を派遣
9月	地域医療支援病院の認定を受ける
平成24年 3月	ホールボディカウンター及びホールボディカウンター室を設置 病院機能評価Ver.6.0一般にて更新
4月	新病院建設準備室設置 ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を開始
平成25年 4月	神経内科部設置
5月	医療用画像管理システム(PACS)導入 追加オーダー:放射線
平成26年 7月	HCUを設置
9月	自動精算機/ POSレジシステム導入 医事会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V6 オーダーリングシステム更新 富士通(株) EGMAIN-GX V4
	追加オーダー:細菌検査、生理検査、病理検査、内視鏡検査、注射(外来)、リハビリ 診療科名称を変更(24科)
平成27年 1月	福島県認知症疾患医療センターの指定を受ける
3月	循環器センター・末梢血管病センターを設置
5月	現病院土地との交換により新病院予定地(福島市八島町87番1・88番)取得
平成28年 4月	救急科部設置 心療内科を廃止
	精神科病棟11床を減少(病床数348床/一般303床、精神39床、感染6床) 熊本地震発生 救護班2個班、病院支援職員2個班、こころのケア班1個班を派遣
9月	福島赤十字病院 施設整備事業(移転新築工事)起工式
平成29年 4月	開設者を日本赤十字社福島県支部長から日本赤十字社社長に変更 原子力災害拠点病院の指定を受ける
7月	嚥下・ボイスセンター・鼻・副鼻腔センターを設置

< 年月 >	< 沿革 >
平成30年 6月	病院機能評価 3rdG:Ver.1.1一般病院 2 の認定を受ける
7月	外来診療電子カルテ運用開始
8月	平成30年 7月豪雨発生 こころのケア班 1 個班を派遣
9月	平成30年北海道胆振東部地震発生
	救護班 2 個班、こころのケア班 1 個班を派遣
	福島赤十字病院 移転新築工事竣工式・定礎式
平成31年 1月	新病院へ移転・開院(福島市八島町)
	<病院棟 鉄骨造地上 7 階建(免震構造)・塔屋 1 階、延床面積21,760.04㎡
	駐車場棟 鉄骨造地上 2 階(2 層 3 段)(耐震構造)延床面積3,092.40㎡>
	(病床数296床／一般280床・精神10床・感染症 6 床)
	神経内科部を脳神経内科部と名称変更
	血管外科・心臓外科を心臓血管外科と名称変更
	入院診療電子カルテ運用開始
	福島赤十字指定居宅介護支援事業所を廃止
3月	福島赤十字指定居宅介護支援事業所を廃止
平成31年/令和元年	福島赤十字指定居宅介護支援事業所を廃止
4月	リウマチ・膠原病内科を新設
7月	新病院におけるドクターヘリの初受け入れ
9月	台風19号による洪水被害への支援活動で
	DMAT(2 班)、救護班(16班)、
	こころのケア班(5 班)を派遣
令和 2年 2月	クルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス号)へDMAT：2 班 救護班：1 班を派遣
5月	旧病院の解体工事完了
7月	旧病院駐車場を福島市へ売却
11月	初となるオンラインによる行幸啓を実施
令和 3年 3月	病院敷地内に原子力災害時拠点施設を新築
9月	医事会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V11
	電子カルテシステム更新 富士通(株) EGMAIN-GX V8
令和 4年 9月	精神科病棟を休止
令和 5年 6月	病院機能評価 3rdG:Ver.2.0一般病院 2 の認定を受ける
令和 6年 1月	能登半島地震発生 救護班 5 個班、日赤災害医療コーディネーターチーム 2 個班、
	こころのケア班 2 個班等を派遣
令和 6年 3月	産科医療(分娩)を一時休止
令和 6年 8月	令和 6 年山形県大雨災害にこころのケア班 1 個班を派遣
令和 7年 1月	腎臓内科部の設置



平成31年 1月 福島赤十字病院新築・移転

2. 病院概要

(令和6年3月31日現在)

(1) 施設の概要

名称	福島赤十字病院 Japanese Red Cross Fukushima Hospital
所在地	〒960-8530 福島市八島町7番7号 7-7 Yasima-cho, Fukushima-city, Fukushima 960-8530 JAPAN TEL (024) 534-6101 (代表) FAX (024) 531-1721 https://www.fukushima-med-jrc.jp/
敷地面積	17,740.71㎡
延床面積	24,916.95㎡
開設年月日	昭和18年8月1日
開設者	日本赤十字社社長 清家 篤
管理者	院長 鈴木 恭一
付帯設備	福島赤十字訪問看護ステーション Japanese Red Cross Fukushima Hospital Visiting-nurse station

(2) 診療科目 Medical Departments

内科 Internal Medicine	糖尿病・代謝内科 Diabetes and Metabolism	呼吸器内科 Respiratory	循環器内科 Cardiology
消化器内科 Gastroenterology	精神科 Psychiatry	小児科 Pediatrics	外科 General surgery
心臓血管外科 Cardiovascular surgery	呼吸器外科 Thoracic Surgery	整形外科 Orthopaedic	脳神経外科 Neurosurgery
皮膚科 Dermatology	形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	泌尿器科 Urology	産婦人科 Obstetrics and Gynecology
眼科 Ophthalmology	耳鼻咽喉科 Otolaryngology	放射線科 Radiology	麻酔科 Anesthesiology
脳神経内科 Neurology	リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	救急科 Emergency Medicine	病理診断科 Diagnostic Pathology
リウマチ・膠原病内科 Rheumatology	腎臓内科 Nephrology		

(全26科)

(3) 病床数

	許可病床数	稼働病床数
一般病床	280床	276床
精神病床	10床	0床
感染症病床	6床	6床
計	296床	282床

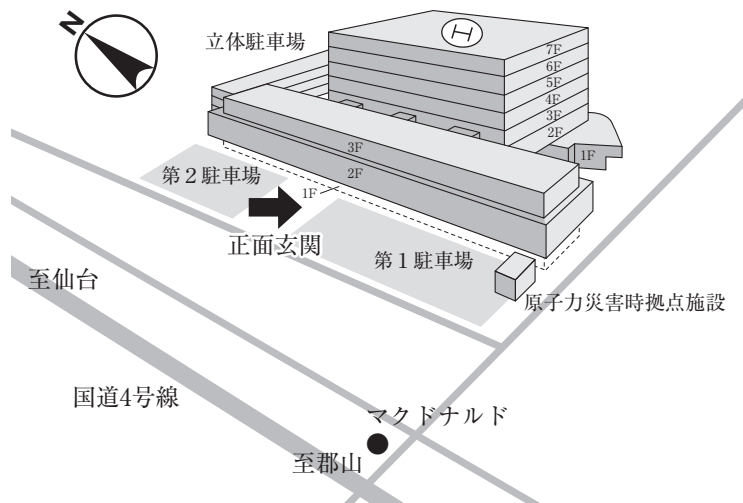
(内訳：稼働病床数)

HCU病棟 8床	3病棟 46床	4病棟 40床
5 A病棟 49床	5 B病棟 46床	6 A病棟 47床(感染症病床 6床)
6 B病棟 46床		

(内訳：部屋別)

1人部屋	2人部屋	4人部屋	計
64	1	54	124

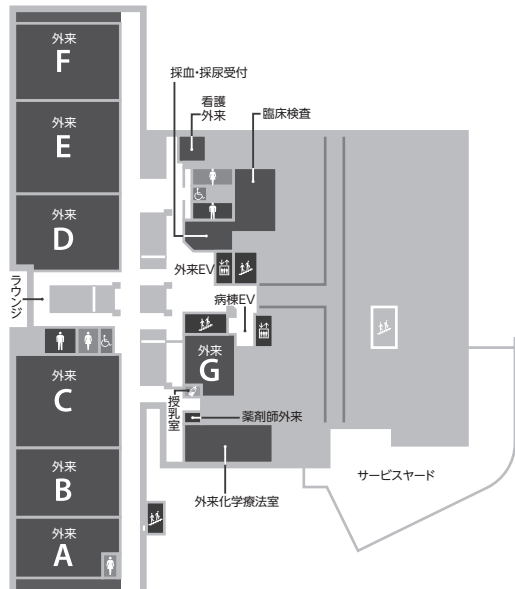
(4) 病院全体配置図



PH階	ヘリポート
7階	7病棟(精神科・10床)、総合リハビリテーション室 福島赤十字訪問看護ステーション
6階	6A病棟(47床(感染症6床)) 6B病棟(46床)
5階	5A病棟(49床) 5B病棟(脳卒中センター・46床)
4階	4病棟(レディースフロア・40床)、医局、事務・管理部門
3階	HCU病棟(HCU 8床)、3病棟(46床(救急12床))、手術室、血管造影室・IVRセンター、中央材料室、病理検査室、MEセンター
2階	外来、看護外来、薬剤師外来、外来化学療法室、臨床検査、薬剤部、用度施設課、栄養課、霊安室
1階	総合案内、総合受付、再来受付、会計、FAXコーナー、ER(救急外来)、健診センター、医療福祉相談室、地域医療連携室、入退院支援センター、多目的ホール、売店・カフェ、放射線部、内視鏡センター、生理検査、防災センター

(5) 外来配置図

2階



1階



令和5年3月現在

(6) 位置及び案内



(7) 機関指定

機関指定	
健康保険法指定医療機関	地域医療支援病院
臨床研修指定医療機関	国民健康保険法指定医療機関
生活保護法指定医療機関	結核予防法指定医療機関
更生医療指定医療機関 (整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科)	身体障害者福祉法指定医療機関
原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関	戦傷病者特別援護法指定医療機関
育成医療(児童福祉法)指定医療機関	養育医療(母子保健法)指定医療機関
地方公務員災害補償法指定医療機関	労働者災害補償保険法指定医療機関
救急告示病院	国家公務員災害補償法指定医療機関
地域災害拠点病院	第二次救急指定病院
原子力災害拠点病院	福島県特定不妊治療費助成事業指定医療機関
開放型病院	第二種感染症指定医療機関
紹介受診重点医療機関	第一種協定指定医療機関
第二種協定指定医療機関	

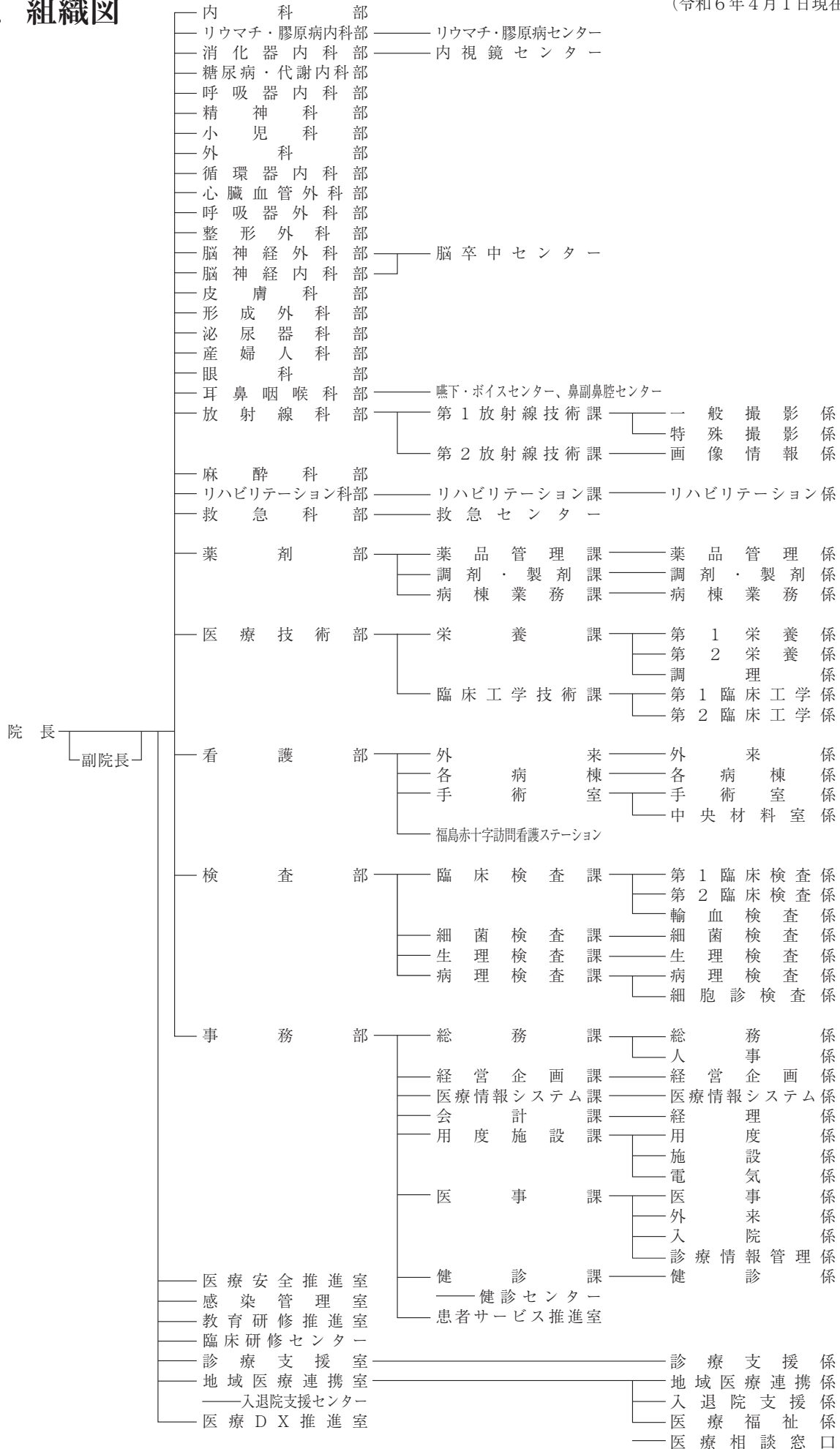
(8) 施設基準の届出状況

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
	医療DX推進体制整備加算	(医療DX)第680号	令和6年12月1日
基本診療料	一般病棟入院基本料 7対1	(一般入院)第2494号	令和6年10月1日
	救急医療管理加算	(救急医療)第11号	令和2年4月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期)第22号	令和2年4月1日
	診療録管理体制加算1	(診療録2)第53号	平成31年1月1日
	医師事務作業補助体制加算1 20対1	(事補1)第142号	令和3年7月1日
	急性期看護補助体制加算 25対1	(急性看護)第504号	令和6年7月1日
	看護職員夜間配置加算1 16対1	(看護夜配)第90号	令和5年4月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重)第290号	平成31年1月1日
	緩和ケア診療加算	(緩和診)第14号	令和3年12月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ)第79号	令和4年7月1日
	医療安全対策加算1	(医療安全1)第195号	平成31年1月1日
	感染対策向上加算1	(感染対策1)第44号	令和7年1月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ)第161号	平成31年1月1日
	重症患者初期支援充実加算	(重症初期)第2号	令和4年4月1日
	報告書管理体制加算	(報告管理)第1号	令和4年4月1日
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア)第16号	平成31年1月1日
	呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ)第25号	平成31年1月1日
	後発医薬品使用体制加算2	(後発使1)第124号	令和6年11月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1)第50号	令和5年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算2	(病棟薬2)第4号	令和5年6月1日
	データ提出加算	(データ提)第117号	平成31年1月1日
	入退院支援加算	(入退支)第443号	令和6年10月1日
	認知症ケア加算	(認知ケア)第106号	令和元年10月1日
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア)第28号	令和2年8月1日
	地域医療体制確保加算	(地医確保)第30号	令和5年4月1日
	ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1)第36号	令和6年10月1日
	特掲診療料	外来栄養食事指導料の注2	(外栄食指)第3号
心臓ペースメーカー指導管理料の注5 に掲げる遠隔モニタリング加算		(遠隔ペ)第6号	令和2年4月1日
がん性疼痛緩和指導管理料		(がん疼)第256号	平成31年1月1日
がん患者指導管理料イ		(がん指イ)第114号	平成31年1月1日
がん患者指導管理料ロ		(がん指ロ)第109号	平成31年1月1日
がん患者指導管理料ハ		(がん指ハ)第24号	平成31年1月1日
がん患者指導管理料ニ		(がん指ニ)第4号	令和2年7月1日
外来緩和ケア管理料		(外緩)第3号	令和3年10月1日
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		(乳腺ケア)第23号	平成31年1月1日
婦人科特定疾患治療管理料		(婦特管)第42号	令和2年4月1日
院内トリアージ実施料		(トリ)第55号	平成31年1月1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に 掲げる救急搬送看護体制加算		(救搬看護)第38号	令和2年4月1日
ニコチン依存症管理料		(ニコ)第804号	平成31年1月1日
療養・就労両立支援指導料の注3に掲 げる相談支援加算		(両立支援)第3号	令和2年12月1日
開放型病院共同指導料		(開)第51号	平成31年1月1日
肝炎インターフェロン治療計画料		(肝炎)第35号	平成31年1月1日
薬剤管理指導料		(薬)第287号	平成31年1月1日
検査・画像情報提供加算及び電子的診 療情報評価料		(電情)第85号	平成31年1月1日
医療機器安全管理料1		(機安1)第98号	平成31年1月1日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2に掲げる遠隔モニタリング加算		(遠隔持陽)第26号	令和2年8月1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易 ジェノタイプ判定)		(HPV)第152号	平成31年1月1日
検体検査管理加算(Ⅱ)		(検Ⅱ)第81号	平成31年1月1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキ ングテスト		(歩行)第34号	平成31年1月1日
ヘッドアップティルト試験		(ヘッド)第25号	平成31年1月1日
神経学的検査		(神経)第66号	平成31年1月1日

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
特掲診療料	コンタクトレンズ検査料	(コン1)第377号	平成31年1月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検)第32号	平成31年1月1日
	画像診断管理加算1	(画1)第46号	平成31年1月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M)第499号	平成31年1月1日
	冠動脈CT撮影加算	(冠動C)第27号	平成31年1月1日
	心臓MRI撮影加算	(心臓M)第23号	平成31年1月1日
	BRCA 1 / 2 遺伝子検査	(BRCA)第23号	令和3年4月1日
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看)第30号	令和2年12月1日
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方)第42号	平成31年1月1日
	外来化学療法加算1	(外化1)第146号	平成31年1月1日
	連携充実加算	(外化連)第4号	令和2年4月1日
	無菌製剤処理料	(菌)第146号	平成31年1月1日
	心大血管疾患リハビリテーション料(I)	(心I)第67号	令和元年10月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	(脳I)第364号	平成31年1月1日
	運動器リハビリテーション料(I)	(運I)第450号	平成31年1月1日
	呼吸器リハビリテーション料(I)	(呼I)第361号	平成31年1月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ)第140号	平成31年1月1日
	レーザー機器加算	(手光機)第235号	平成31年1月1日
	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	(喉頭形成)第2号	令和2年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	(乳セ1)第39号	平成31年1月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	(乳セ2)第41号	平成31年1月1日
	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	(経特)第23号	令和2年4月1日
	経皮的中隔心筋焼灼術	(経中)第19号	平成31年1月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ)第183号	平成31年1月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	(ペリ)第11号	平成31年1月1日
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	(大)第97号	平成31年1月1日
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸)第30号	平成31年1月1日
	腹腔鏡下仙骨髄固定術	(腹仙骨固)第7号	平成31年1月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造)第84号	平成31年1月1日
	輸血管理料II	(輸血II)第94号	平成31年1月1日
	輸血適正使用加算	(輸適)第78号	平成31年1月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第75号	平成31年1月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)第57号	平成31年1月1日
	麻酔管理料(I)	(麻管I)第233号	平成31年1月1日
	保険医療機関間の連携による病理診断	(連携診)第15号	令和元年6月1日
	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	(連組織)第6号	令和元年6月1日
	病理診断管理加算1	(病理診1)第20号	平成31年1月1日
	悪性腫瘍病理組織標本加算	(悪病組)第14号	平成31年1月1日
	二次性骨折予防継続管理料1	(二骨管1)第15号	令和4年6月1日
	二次性骨折予防継続管理料3	(二骨継3)第21号	令和4年6月1日
	下肢創傷処置管理料	(下創管)第2号	令和4年9月1日
	外来腫瘍化学療法診療料1	(外来診1)第17号	令和4年4月1日
	前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	(前立腺)第4号	令和4年9月1日
	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	(内筋ボ)第1号	令和4年5月1日
	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	(緊整固)第10号	令和5年11月1日
	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	(膀胱埋嚢)第5号	令和5年12月1日
	看護職員処遇改善評価料58	(看処遇58)第1号	令和4年10月1日
外来・在宅ベースアップ評価料I	(外在ベI)第154号	令和6年6月1日	
入院ベースアップ評価料	(入ベ63)第2号	令和6年6月1日	
入院時食事療養費/生活療養(I)	(食)第1020号	平成31年1月1日	
酸素の購入単価	(酸素)第14794号	令和5年4月1日	

3. 組織図

(令和6年4月1日現在)



4. 職員数

(令和6年4月1日現在)

(1) 病院

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
医師	55	38	93	62.5
研修医	17		17	17.0
薬剤師	17	1	18	17.8
診療放射線技師	14		14	14.0
臨床検査技師	19	5	24	20.3
臨床工学技士	7		7	7.0
管理栄養士	6		6	6.0
栄養士	5		5	5.0
理学療法士	12		12	12.0
作業療法士	3		3	3.0
言語聴覚士	4		4	4.0
視能訓練士	4		4	4.0
臨床心理士	0		0	0.0
社会福祉士	5		5	5.0
精神保健福祉士	1		1	1.0
保健師	5		5	5.8
助産師	7	1	8	7.9
看護師	248	12	260	256.2
准看護師	0	3	3	1.9
事務職員	69	1	70	69.6
技術員	1		1	1.0
調理師	5		5	5.0
ボイラー技士等	0		0	0.0
看護助手	27	2	29	28.3
放射線助手		1	1	0.6
業務員	6		6	6.0
小計	537	64	601	560.9

(2) 付帯事業

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
訪問看護ステーション職員	5		5	5.0
計	5	0	5	5.0

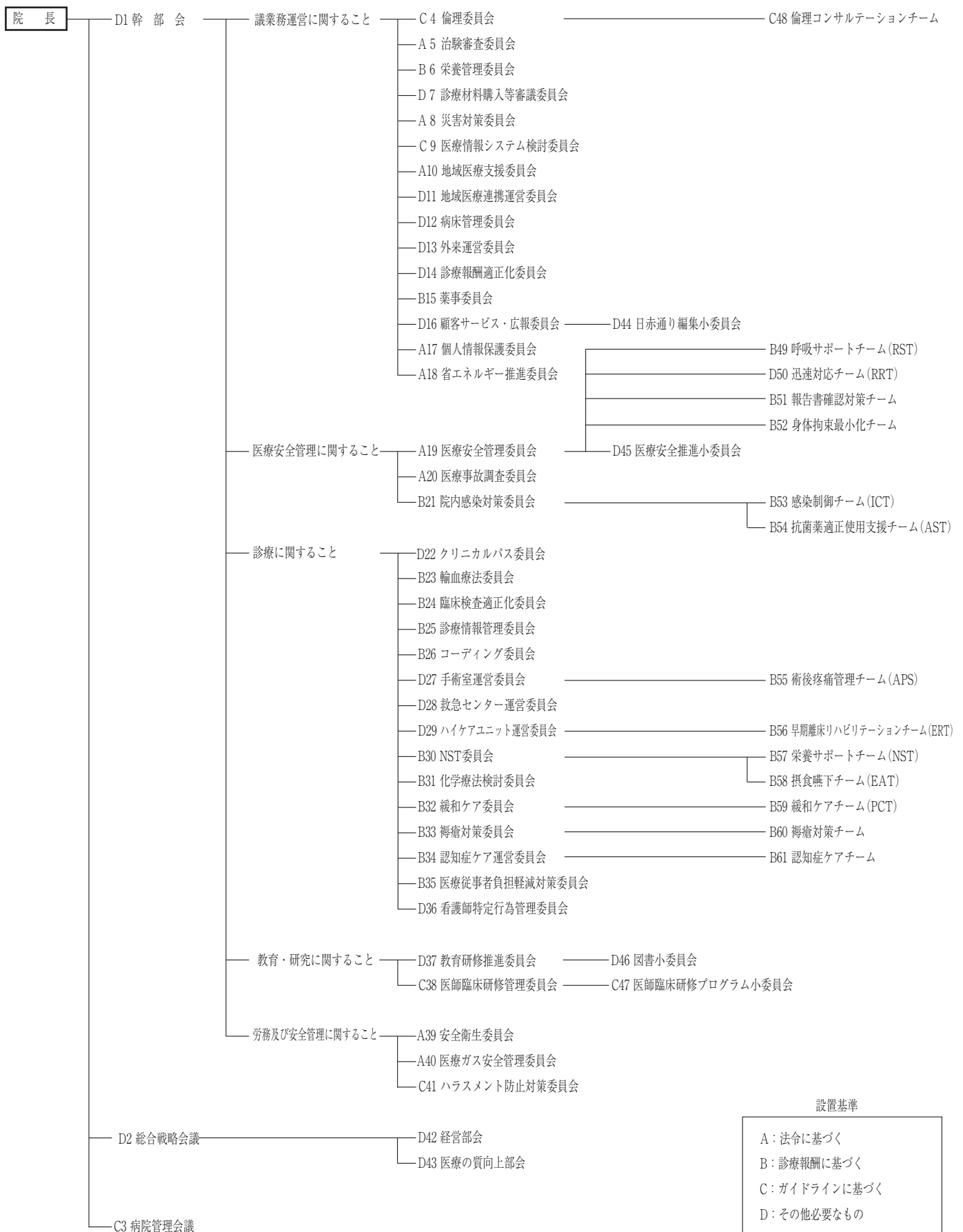
(3) 合計

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
(1) + (2)	542	64	606	608.9

5. 福島赤十字病院会議及び委員会

令和6年4月1日現在



6. 常備救護班編成表

(1) 常備救護班

(令和6年4月1日現在)

	第1救護班	所属	第2救護班	所属	第3救護班	所属	第4救護班	所属
医師	大須賀文彦	外科部	佐藤 法義	整形外科部	井上 卓哉	呼吸器外科部	児玉 健太	消化器内科部
看護師長	柳田 美穂	4病棟	清和 彩子	6A病棟	泉 弘子	手術室	鈴木 牧子	6A病棟
看護師	國分 朋子	3病棟	成尾ありさ	外来	野木 拓実	HCU	中沢 利樹	6B病棟
	高島 雄一	5B病棟	野坂 雄史	5A病棟	安達麻菜美	3病棟	野地 静香	外来
主事	佐藤 隆昭	医療情報システム課	中島 良介	総務課	三浦 有樹	医事課	濱名 正美	用度施設課
	明田 充弘	放射線科	村上 風太	臨床工学技術課	暮田 高平	検査部	萩原 幸樹	リハビリテーション科

	第5救護班	所属	第6救護班	所属	第7救護班	所属	第8救護班	所属
医師	阪本 貴之	循環器内科部	菅野有紀子	消化器内科部	片岡 政雄	泌尿器科部	多田 靖宏	耳鼻咽喉科部
看護師長	鈴木 安英	HCU	武井 明美	5A病棟	武田 里美	3病棟	菅野いづみ	6B病棟
看護師	三浦 愛	手術室	清野 薫	4病棟	松野 祥子	HCU	菊地悠示郎	5A病棟
	安齋 亜美	5B病棟	菅野 奏	外来	伊藤紗也加	手術室	上杉 梢	5B病棟
主事	菅野 直樹	地域医療連携室	金原 昭世	医事課	葛岡 大輔	会計課	野地 幸次	用度施設課
	小河原貴之	栄養課	三浦 義喜	検査部	佐藤 勝行	放射線科	東海林祐実	リハビリテーション科

薬剤師	緑上 淳一	渡部 寿康	川村 早苗	酒井 亮	佐藤 南	井上可奈子	大竹麻衣子	寺内優紀恵
	菊地 洋平	古賀 彩織	安齋 英里	武藤 芳和	矢茸 優佳	猪股 育美	村上 美里	西丸未希翔
	太田 昂希	横田 有希						

助産師	赤井みゆき	橘 智寿子	齋藤 幸恵	金成 美和
-----	-------	-------	-------	-------

こころのケア 指導者	岩崎 睦子	看護部	武田 里美	3病棟	柳田 美穂	4病棟	佐藤 裕子	5A病棟
	高根 晴美	地域医療連携室	菅野 直樹	地域医療連携室	葛岡 大輔	会計課	國分 花子	看護部
	中島 良介	総務課						

(2) 統括DMAT(2人)

(令和7年3月31日現在)

職種	氏名	所属	登録日
医師	遠藤 豪一	外科	2011.07.14
	市川 剛	脳神経外科	2024.06.18

(3) 日本DMAT隊員(27人)

職種	氏名	所属	登録日
医師	市川 剛	脳神経外科	2010.12.09
	渡部 研一	循環器内科	2014.02.06
	中村耕一郎	脳神経内科	2016.01.28
	今野 友貴	小児科	2024.01.13
看護師	奈良輪弘美	医療安全推進室	2009.09.17
	泉 弘子	手術室	2011.07.14
	原田 瑞穂	3病棟	2011.07.14
	渡邊あゆみ	外来(E R)	2014.02.06
	鈴木 安英	HCU	2014.02.06
	金成 美和	4病棟	2015.01.16
	萩原 暁美	外来	2016.01.28
	梅宮 誠	外来	2016.01.28
	武田 良平	6A病棟	2019.02.28
	田島 一樹	3病棟	2019.09.27
	鈴木 直人	手術室	2019.09.27
	山口 広夢	HCU	2022.07.23
	北原 麻美	HCU	2024.01.13
業務調整員	渡部 寿康	薬剤部	2009.09.17
	久保 芳宏	支部事業推進課	2011.07.14
	橋本 健一	臨床工学技術課	2014.02.06
	野田 誠	事務部	2014.02.06
	野地 幸次	用度施設課	2016.01.28
	葛岡 大輔	会計課	2016.01.28
	野崎 謙司	支部事業推進課	2019.09.27
	松本 琢也	支部総務課	2020.01.11
	酒井 亮	薬剤部	2022.10.14
三浦 有樹	医事課	2024.05.25	

(4) 福島県DMAT隊員(12人)

職種	氏名	所属	受講年月
医師	大久保怜子	救急科	2024.11.23
看護師	朝倉 恵実	5B病棟	2014.08.03
	北村 慶	感染管理室	2019.12.01
	高橋 健太	HCU	2023.11.19
	伊藤紗也加	手術室	2024.11.23
	鈴木 彩佳	6A病棟	2024.11.23
業務調整員	佐藤 隆昭	医療情報システム課	2019.12.01
	渡辺 源貴	血液センター総務課	2019.12.01
	菊地 洋平	薬剤部	2023.11.19
	佐藤 竜馬	放射線科部	2023.11.19
	島田 翔平	放射線科部	2024.11.23
	佐久間惟代	総務課	2024.11.23

(5) 福島県災害医療コーディネーター(4人)

職種	氏名	所属	任命日
医師	遠藤 豪一	外科	2023.04.01
	渡部 研一	循環器内科	2023.04.01
	市川 剛	脳神経外科	2023.04.01
事務職	久保 芳宏	支部事業推進課	2023.04.01

(6) 日赤災害医療コーディネーター(4人)

職種	氏名	所属	任命日
医師	遠藤 豪一	外科	2017.04.01
	渡部 研一	循環器内科	2018.04.01
	市川 剛	脳神経外科	2018.04.01
	中村耕一郎	脳神経内科	2020.04.01

(7) 日赤災害医療コーディネータースタッフ(13人)

職種	氏名	所属	任命日
看護師	安達 明美	外来	2018.04.01
	渡邊あゆみ	外来(E R)	2018.04.01
	奈良輪弘美	看護部	2020.04.01
	鈴木 安英	HCU	2020.04.01
	泉 弘子	手術室	2021.04.01
	武田 里美	3病棟	2021.04.01
事務職	久保 芳宏	支部事業推進課	2013.10.01
	野田 誠	事務部	2017.04.01
	渡部 寿康	薬剤部	2020.04.01
	野地 幸次	用度施設課	2020.04.01
	松本 琢也	支部総務課	2020.04.01
	野崎 謙司	支部事業推進課	2020.04.01
	葛岡 大輔	会計課	2021.04.01

(8) 日赤原子力災害医療アドバイザー(2人)

職種	氏名	所属	任命日
医師	中村耕一郎	脳神経内科	2019.04.01
診療放射線技師	海藤 隆紀	放射線科部	2015.10.01

(9) 原子力災害時医療中核人材研修修了者(12人)

職種	氏名	所属	修了日
医師	中村耕一郎	脳神経内科部	2017.11.10
看護師	成澤 裕美	支部事業推進課	2016.01.15
	小林 洋子	外来	2017.01.20
	岩崎 睦子	看護部	2017.07.28
	鈴木 牧子	6 A病棟	2018.08.03
	黒沢真由美	訪問看護ステーション	2018.08.03
	柳田 美穂	4 病棟	2019.08.02
診療放射線技師	清和 彩子	6 A病棟	2019.08.02
	海藤 隆紀	放射線科部	2017.07.28
	玉根 勇樹	放射線科部	2019.08.02
事務職	明田 充弘	放射線科部	2020.10.09
	葛岡 大輔	会計課	2021.08.25

(10) 原子力災害医療派遣チーム研修修了者(12人)

職種	氏名	所属	修了日
医師	市川 剛	脳神経外科部	2018.10.29
	中村耕一郎	脳神経内科部	2020.02.24
看護師	齋藤 幸恵	4 病棟	2018.10.29
	志賀 慶子	手術室	2018.10.29
	清和 彩子	6 A病棟	2021.12.12
	岩崎 睦子	看護部	2021.12.12
診療放射線技師	玉根 勇樹	放射線科部	2018.10.29
	海藤 隆紀	放射線科部	2020.02.24
	明田 充弘	放射線科部	2020.11.23
薬剤師	酒井 亮	薬剤部	2020.02.24
事務職	渡辺 源貴	血液センター総務課	2018.10.29
	葛岡 大輔	会計課	2020.11.23

III

統計

1. 令和6年度実績表

単位：人(患者延数、1日平均)、日(在院日数)、千円(診療稼働額)、円(診療単価)

	入 院			外 来			合 計			
	患者延数	1日平均	在院日数	診療稼働額	診療単価	患者延数		1日平均	診療稼働額	診療単価
内科	0	0.0	-	0	0	2,246	9.3	25,008	11,134	25,008
リウマチ・膠原病内科	2,941	8.1	13.8	150,323	51,113	6,824	28.2	115,450	16,918	265,773
消化器内科	19,023	52.1	11.2	1,032,761	54,290	15,832	65.4	361,617	22,841	1,394,379
糖尿病・代謝内科	1,260	3.5	13.5	55,909	44,372	8,843	36.5	86,196	9,747	142,105
小児科	514	1.4	3.8	30,646	59,623	3,329	13.8	40,481	12,160	71,127
外科	7,293	20.0	14.3	493,459	67,662	6,296	26.0	120,527	19,143	613,986
整形外科	16,988	46.5	19.7	1,098,824	64,682	10,906	45.1	78,560	7,203	1,177,385
脳神経外科	8,724	23.9	14.3	692,738	79,406	4,747	19.6	68,762	14,485	761,500
皮膚科	246	0.7	15.9	9,619	39,102	4,195	17.3	23,242	5,540	32,861
泌尿器科	2,230	6.1	5.0	156,764	70,298	7,709	31.9	89,843	11,654	246,607
産婦人科	1,690	4.6	5.0	196,898	116,508	5,113	21.1	60,627	11,857	257,525
眼科	1,207	3.3	1.1	117,826	97,619	6,085	25.1	46,514	7,644	164,341
耳鼻咽喉科	1,863	5.1	4.8	133,597	71,711	4,456	18.4	45,156	10,134	178,753
麻酔科	84	0.2	6.3	5,289	62,967	952	3.9	2,220	2,331	7,509
精神科	0	0.0	-	0	-	1,304	5.4	6,751	5,177	6,751
心臓血管外科	22	0.1	12.7	1,067	48,492	786	3.2	6,941	8,831	8,008
循環器内科	13,742	37.6	12.7	937,627	68,231	15,696	64.9	174,034	11,088	1,111,661
形成外科	334	0.9	10.3	21,609	64,699	2,573	10.6	35,228	13,692	56,838
脳神経内科	5,812	15.9	16.4	282,666	48,635	6,662	27.5	66,131	9,927	348,797
放射線科	0	0.0	0.0	0	0	28	0.1	875	31,265	875
呼吸器外科	4,612	12.6	12.3	372,401	80,746	4,305	17.8	151,810	35,264	524,210
腎臓内科	158	0.4	20.0	6,975	44,143	158	0.7	1,251	7,918	8,226
救急科	0	0.0	-	0	0	476	2.0	16,389	34,431	16,389
合計	88,743	243.1	11.5	5,796,999	65,323	119,521	493.9	1,623,614	13,584	7,420,613

2. 入院 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価

(1) 入院患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リウマチ・膠原病内科	2,941	319	266	213	217	114	226	274	297	213	181	286	335
消化器内科	19,023	1,294	1,260	1,530	1,520	1,403	1,605	1,823	1,883	1,976	1,714	1,435	1,580
糖尿病・代謝内科	1,260	100	67	108	102	145	87	80	101	63	117	123	167
小児科	514	38	50	40	74	64	42	62	83	14	23	1	23
外科	7,293	677	594	566	538	558	423	540	614	723	825	597	638
整形外科	16,988	1,336	1,332	1,283	1,309	1,110	1,144	1,469	1,485	1,485	1,808	1,456	1,771
脳神経外科	8,724	720	581	640	617	416	922	722	665	775	863	844	959
皮膚科	246	34	0	12	28	40	77	11	0	9	8	16	11
泌尿器科	2,230	156	201	177	185	237	164	176	166	166	189	187	226
産婦人科	1,690	112	95	127	110	148	173	155	157	149	117	192	155
眼科	1,207	76	110	119	100	96	102	137	102	103	85	96	81
耳鼻咽喉科	1,863	111	159	145	218	168	88	156	195	188	161	160	114
麻酔科	84	0	1	10	11	22	2	21	14	3	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	13,742	1,352	1,003	926	1,099	1,079	967	1,127	1,128	1,502	1,241	1,120	1,198
形成外科	334	44	31	26	13	16	15	35	27	27	26	36	38
脳神経内科	5,812	439	379	668	465	532	441	581	572	374	439	418	504
呼吸器外科	4,612	325	375	384	364	448	408	411	286	438	442	402	329
腎臓内科	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	86	44
合計	88,743	7,155	6,504	6,974	6,970	6,596	6,886	7,780	7,775	8,208	8,267	7,455	8,173
1日平均	243.1	238.5	209.8	232.5	224.8	212.8	229.5	251.0	259.2	264.8	266.7	266.3	263.6

(2)入院稼働額

(単位：千円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リウマチ・膠原病内科	150,323	14,183	11,534	10,695	11,336	7,763	11,975	14,674	14,469	11,512	10,465	16,350	15,367
消化器内科	1,032,761	69,248	69,933	83,078	84,364	75,978	89,755	94,984	103,668	105,646	91,892	77,044	87,171
糖尿病・代謝内科	55,909	3,961	3,250	4,225	3,852	6,322	3,551	4,095	3,942	3,014	5,842	6,593	7,263
小児科	30,646	1,623	2,547	2,675	4,701	3,994	2,351	3,681	5,362	858	1,385	57	1,412
外科	493,459	47,560	34,137	37,461	39,762	35,653	29,043	39,709	44,755	51,643	53,033	40,177	40,526
整形外科	1,098,824	88,753	88,350	88,838	86,667	80,064	79,476	95,113	99,736	95,385	100,351	88,677	107,416
脳神経外科	692,738	50,187	40,124	51,142	41,588	45,246	80,238	69,891	62,847	50,931	60,852	66,089	73,604
皮膚科	9,619	1,178	0	542	1,136	1,654	2,826	281	0	393	370	833	406
泌尿器科	156,764	10,822	14,395	11,478	13,496	15,535	11,945	14,158	11,666	11,897	13,392	13,709	14,271
産婦人科	196,898	12,702	11,260	14,351	12,068	19,327	17,926	18,741	17,905	16,833	16,629	20,808	18,348
眼科	117,826	7,576	10,712	11,535	10,839	8,807	10,489	12,035	9,882	10,072	8,454	9,352	8,073
耳鼻咽喉科	133,597	7,441	9,636	12,868	14,971	11,637	6,079	12,089	13,599	13,141	12,160	10,975	9,001
麻酔科	5,289	0	85	1,370	708	993	229	860	881	162	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	1,067	1,067	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	937,627	93,407	61,634	71,702	83,201	72,057	74,236	72,766	73,931	98,257	78,209	80,160	78,065
形成外科	21,609	2,224	1,713	1,372	1,376	1,151	867	1,964	1,288	1,881	2,438	2,629	2,708
脳神経内科	282,666	23,069	18,337	30,944	22,798	25,000	20,222	28,140	26,605	19,185	22,712	20,511	25,143
呼吸器外科	372,401	24,761	30,869	28,435	31,727	35,898	33,108	38,176	22,211	35,827	36,669	30,610	24,111
腎臓内科	6,975	0	0	0	0	0	0	0	0	0	746	4,077	2,151
合計	5,796,999	459,762	408,517	462,711	464,590	447,079	474,317	521,355	512,749	526,636	515,597	488,650	515,037

(3) 入院単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リウマチ・膠原病内科	51,113	44,461	43,359	50,211	52,241	68,094	52,986	53,555	48,718	54,045	57,818	57,169	45,873
消化器内科	54,290	53,515	55,502	54,299	55,503	54,154	55,922	52,103	55,055	53,465	53,612	53,689	55,171
糖尿病・代謝内科	44,372	39,606	48,513	39,123	37,762	43,598	40,816	51,184	39,030	47,838	49,931	53,599	43,492
小児科	59,623	42,701	50,938	66,868	63,524	62,414	55,969	59,370	64,600	61,304	60,239	56,970	61,411
外科	67,662	70,252	57,470	66,186	73,907	63,894	68,660	73,534	72,891	71,428	64,282	67,299	63,520
整形外科	64,682	66,432	66,329	69,242	66,209	72,130	69,472	64,747	67,162	64,232	55,504	60,904	60,652
脳神経外科	79,406	69,704	69,060	79,909	67,403	108,765	87,026	96,802	94,507	65,717	70,512	78,304	76,751
皮膚科	39,102	34,645	-	45,174	40,580	41,344	36,704	25,556	-	43,704	46,206	52,046	36,901
泌尿器科	70,298	69,371	71,615	64,848	72,951	65,549	72,838	80,443	70,278	71,670	70,858	73,310	63,144
産婦人科	116,508	113,410	118,526	112,998	109,709	130,589	103,620	120,910	114,045	112,973	142,128	108,374	118,374
眼科	97,619	99,689	97,384	96,932	108,387	91,737	102,833	87,850	96,887	97,784	99,456	97,414	99,671
耳鼻咽喉科	71,711	67,036	60,602	88,747	68,676	69,266	69,075	77,496	69,741	69,901	75,528	68,592	78,953
麻酔科	62,967	-	85,420	136,984	64,375	45,148	114,730	40,934	62,962	54,027	-	-	-
精神科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心臓血管外科	48,492	48,492	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
循環器内科	68,231	69,088	61,450	77,432	75,706	66,781	76,770	64,566	65,542	65,418	63,021	71,571	65,163
形成外科	64,699	50,538	55,247	52,756	105,868	71,934	57,780	56,107	47,700	69,660	93,765	73,022	71,274
脳神経内科	48,635	52,549	48,383	46,324	49,028	46,993	45,855	48,433	46,512	51,296	51,735	49,070	49,887
呼吸器外科	80,746	76,189	82,318	74,050	87,162	80,128	81,147	92,885	77,659	81,796	82,961	76,145	73,285
腎臓内科	1,512	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26,646	47,410	48,892
平均	65,323	64,257	62,810	66,348	66,656	67,780	68,881	67,012	65,948	64,161	62,368	65,547	63,017

3. 外来 診療科別・月別 患者数、稼働額、単価

(1) 外来患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内 科	2,246	218	173	171	193	161	172	247	221	227	144	132	187
リウマチ・膠原病内科	6,824	550	512	507	612	589	551	648	603	583	596	507	566
消化器内科	15,832	1,278	1,256	1,219	1,291	1,258	1,322	1,465	1,486	1,427	1,312	1,191	1,327
糖尿病・代謝内科	8,843	758	713	736	776	797	669	811	681	771	739	689	703
小 児 科	3,329	255	248	234	295	294	196	428	418	316	226	204	215
外 科	6,296	563	528	515	574	458	521	577	522	511	530	461	536
整形外科	10,906	872	918	954	934	872	911	1,000	901	908	903	809	924
脳神経外科	4,747	435	376	433	419	396	402	397	394	429	367	307	392
皮膚科	4,195	412	357	335	383	378	359	367	299	340	318	313	334
泌尿器科	7,709	610	648	609	624	596	588	702	615	712	648	644	713
産婦人科	5,113	380	381	411	471	430	410	477	409	458	409	411	466
眼 科	6,085	495	527	498	550	499	482	597	465	535	502	432	503
耳鼻咽喉科	4,456	347	287	374	400	391	363	368	362	403	356	360	445
麻酔科	952	84	79	76	86	70	72	83	80	83	86	73	80
精神科	1,304	111	106	112	106	113	99	125	114	108	105	108	97
心臓血管外科	786	125	77	65	74	54	61	60	54	65	59	50	42
循環器内科	15,696	1,332	1,258	1,199	1,340	1,308	1,349	1,320	1,302	1,330	1,391	1,240	1,327
形成外科	2,573	201	199	214	214	197	212	240	211	232	210	177	266
脳神経内科	6,662	548	537	562	579	601	554	613	555	545	523	490	555
放射線科	28	1	2	0	2	2	3	6	3	2	1	3	3
呼吸器外科	4,305	435	403	334	401	353	358	444	368	352	325	251	281
腎臓内科	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	48	64
救急科	476	39	38	42	54	74	28	43	35	42	31	23	27
合 計	119,521	10,049	9,623	9,600	10,378	9,891	9,682	11,018	10,098	10,379	9,827	8,923	10,053
1 日 平 均	493.9	478.5	481.2	480.0	471.7	471.0	509.6	500.8	504.9	519.0	517.2	495.7	502.7

(2) 外来稼働額

(単位：千円)

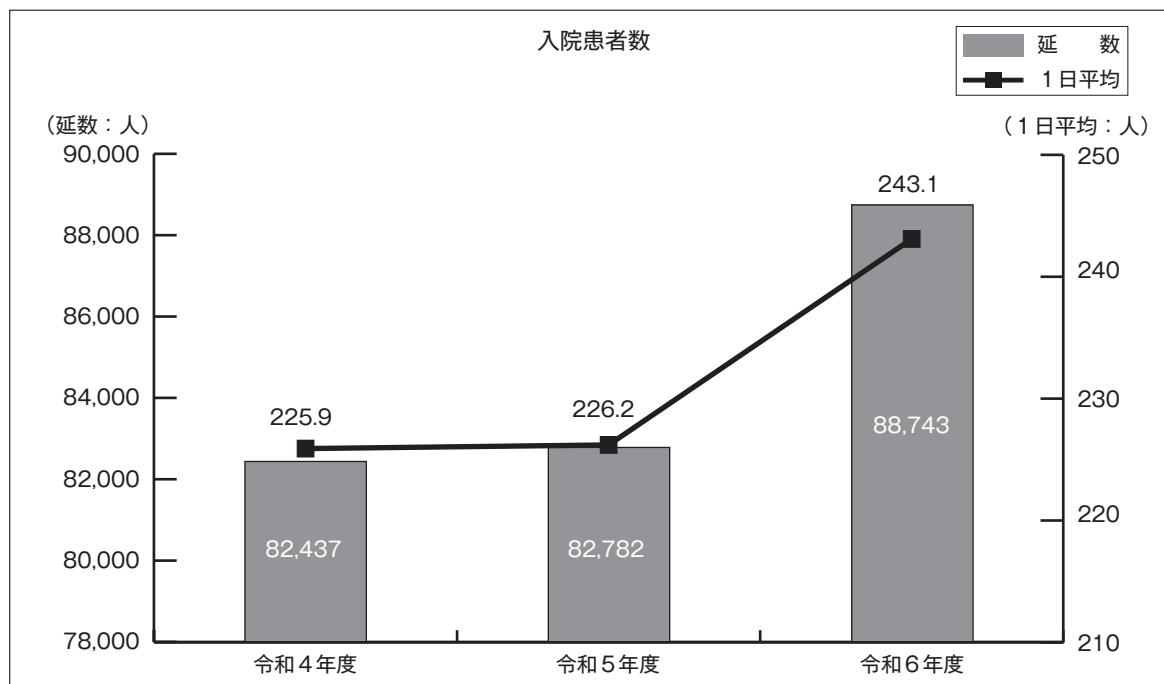
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	25,008	2,685	1,901	2,474	2,277	1,680	2,393	1,631	2,412	1,782	1,725	1,732	2,315
リウマチ・膠原病内科	115,450	9,673	8,959	9,004	10,940	10,417	8,899	10,623	9,719	9,395	10,096	9,248	8,479
消化器内科	361,617	29,638	25,488	26,889	30,521	28,364	26,096	33,204	32,311	33,458	32,442	27,915	35,291
糖尿病・代謝内科	86,196	7,330	6,784	7,109	7,528	7,921	6,456	7,868	6,984	7,455	7,331	6,592	6,838
小児科	40,481	2,996	3,041	2,936	3,116	3,240	3,348	3,446	3,391	3,659	3,610	3,437	4,261
外科	120,527	10,514	10,222	9,655	11,621	9,545	8,975	11,280	10,116	9,605	8,990	9,151	10,852
整形外科	78,560	5,978	7,232	7,044	6,608	6,083	6,652	7,080	6,641	6,524	6,519	5,977	6,223
脳神経外科	68,762	6,144	5,145	6,032	5,738	5,748	5,969	5,808	5,937	6,404	5,633	4,675	5,529
皮膚科	23,242	2,737	2,330	1,360	2,141	2,304	2,000	1,950	1,883	1,827	1,533	1,586	1,589
泌尿器科	89,843	6,841	7,081	7,054	7,351	7,605	6,375	7,577	7,519	8,098	7,852	8,016	8,474
産婦人科	60,627	4,502	4,706	5,008	6,154	4,912	4,452	5,266	4,996	5,430	4,924	4,917	5,361
眼科	46,514	3,790	4,219	3,648	4,285	3,790	3,630	4,628	3,487	4,034	3,769	3,356	3,878
耳鼻咽喉科	45,156	3,321	2,994	3,831	4,191	4,383	3,459	3,536	3,546	3,419	3,913	3,700	4,863
麻酔科	2,220	248	213	180	175	134	164	167	212	222	164	174	167
精神科	6,751	561	553	665	541	554	551	650	623	506	508	557	483
心臓血管外科	6,941	1,003	660	617	685	456	473	557	597	538	544	398	411
循環器内科	174,034	14,166	13,619	12,351	14,923	14,008	15,079	14,661	14,703	14,998	15,483	14,384	15,660
形成外科	35,228	2,541	3,281	3,033	2,971	2,545	2,965	3,315	3,044	2,812	3,262	2,418	3,041
脳神経内科	66,131	4,012	6,886	4,413	4,439	7,664	4,305	5,541	6,822	4,051	5,372	5,447	7,180
放射線科	875	39	79	0	61	59	94	153	104	69	34	71	112
呼吸器外科	151,810	13,145	11,218	12,101	14,469	12,573	13,027	13,915	14,270	11,313	11,711	10,031	14,037
腎臓内科	1,251	-	-	-	-	-	-	-	-	-	457	280	515
救急科	16,389	1,156	1,050	1,308	1,691	2,143	928	1,245	1,268	2,086	1,266	1,152	1,097
合計	1,623,614	133,017	127,661	126,709	142,428	136,128	126,292	144,102	140,586	137,685	137,138	125,213	146,656

(3)外来単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	11,134	12,317	10,991	14,468	11,797	10,436	13,915	6,605	10,912	7,850	11,980	13,119	12,380
リウマチ・膠原病内科	16,918	17,586	17,499	17,759	17,875	17,685	16,151	16,393	16,118	16,115	16,939	18,240	14,980
消化器内科	22,841	23,191	20,293	22,058	23,641	22,547	19,740	22,665	21,744	23,447	24,727	23,439	26,595
糖尿病・代謝内科	9,747	9,670	9,515	9,659	9,701	9,939	9,650	9,702	10,255	9,669	9,920	9,567	9,727
小児科	12,160	11,748	12,260	12,545	10,564	11,021	17,080	8,051	8,113	11,580	15,974	16,850	19,819
外科	19,143	18,675	19,361	18,747	20,246	20,841	17,227	19,550	19,379	18,796	16,962	19,849	20,246
整形外科	7,203	6,855	7,878	7,383	7,075	6,975	7,302	7,080	7,370	7,185	7,219	7,388	6,735
脳神経外科	14,485	14,123	13,684	13,930	13,694	14,515	14,849	14,628	15,069	14,928	15,349	15,227	14,105
皮膚科	5,540	6,643	6,527	4,061	5,590	6,096	5,571	5,314	6,299	5,374	4,822	5,067	4,757
泌尿器科	11,654	11,214	10,927	11,584	11,781	12,760	10,842	10,793	12,227	11,373	12,118	12,447	11,886
産婦人科	11,857	11,846	12,352	12,184	13,067	11,422	10,858	11,039	12,215	11,856	12,040	11,964	11,503
眼科	7,644	7,657	8,006	7,324	7,792	7,596	7,530	7,752	7,500	7,540	7,507	7,770	7,709
耳鼻咽喉科	10,134	9,570	10,431	10,243	10,479	11,209	9,530	9,610	9,796	8,483	10,990	10,278	10,929
麻酔科	2,331	2,953	2,699	2,365	2,038	1,909	2,283	2,012	2,646	2,672	1,910	2,382	2,083
精神科	5,177	5,055	5,215	5,933	5,102	4,905	5,563	5,201	5,462	4,683	4,841	5,159	4,976
心臓血管外科	8,831	8,026	8,570	9,493	9,263	8,452	7,760	9,286	11,054	8,280	9,227	7,966	9,787
循環器内科	11,088	10,635	10,826	10,301	11,136	10,709	11,178	11,107	11,293	11,276	11,131	11,600	11,801
形成外科	13,692	12,639	16,486	14,172	13,885	12,919	13,987	13,814	14,428	12,122	15,534	13,662	11,431
脳神経内科	9,927	7,321	12,823	7,853	7,666	12,752	7,771	9,039	12,293	7,433	10,271	11,115	12,937
放射線科	31,265	39,320	39,320	-	30,550	29,580	31,340	25,523	34,667	34,655	33,530	23,637	37,433
呼吸器外科	35,264	30,218	27,837	36,230	36,083	35,618	36,388	31,339	38,778	32,138	36,035	39,963	49,954
救急科	34,431	29,648	27,620	31,142	31,316	28,960	33,143	28,949	36,218	49,658	40,835	50,081	40,641
平均	13,584	13,237	13,266	13,199	13,724	13,763	13,044	13,079	13,922	13,266	13,955	14,033	14,588

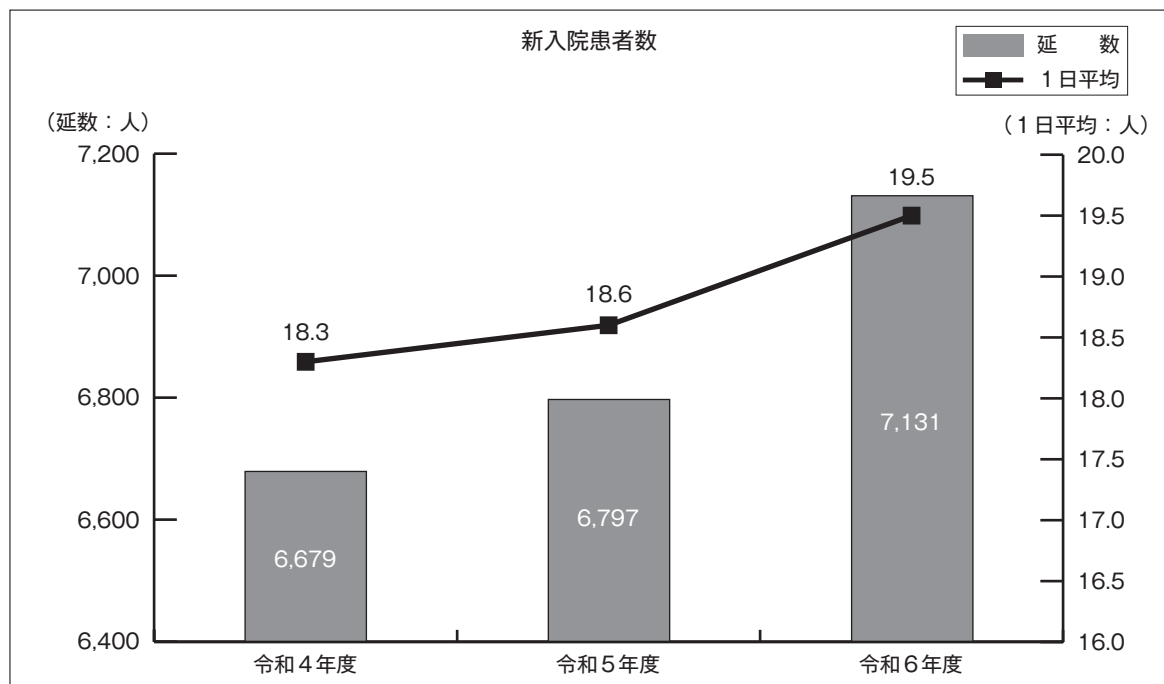
4. 入院患者数



(単位:人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	141	0.4	1	0.0	0	0.0
リウマチ・膠原病内科	2,980	8.2	3,179	8.7	2,941	8.1
消化器内科	15,709	43.0	18,047	49.3	19,023	52.1
糖尿病・代謝内科	1,444	4.0	831	2.3	1,260	3.5
小児科	164	0.4	322	0.9	514	1.4
外科	8,023	22.0	7,168	19.6	7,293	20.0
整形外科	15,007	41.1	13,614	37.2	16,988	46.5
脳神経外科	6,991	19.2	8,021	21.9	8,724	23.9
皮膚科	95	0.3	139	0.4	246	0.7
泌尿器科	1,266	3.5	1,580	4.3	2,230	6.1
産婦人科	5,193	14.2	2,621	7.2	1,690	4.6
眼科	1,391	3.8	1,251	3.4	1,207	3.3
耳鼻咽喉科	1,434	3.9	1,547	4.2	1,863	5.1
麻酔科	12	0.0	37	0.1	84	0.2
精神科	530	1.5	0	0.0	0	0.0
心臓血管外科	1,208	3.3	983	2.7	22	0.1
循環器内科	11,599	31.8	13,336	36.4	13,742	37.6
形成外科	150	0.4	166	0.5	334	0.9
脳神経内科	4,586	12.6	5,330	14.6	5,812	15.9
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
呼吸器外科	4,514	12.4	4,608	12.6	4,612	12.6
腎臓内科	-	-	-	-	158	0.4
救急科	0	0.0	1	0.0	0	0.0
合計	82,437	225.9	82,782	226.2	88,743	243.1

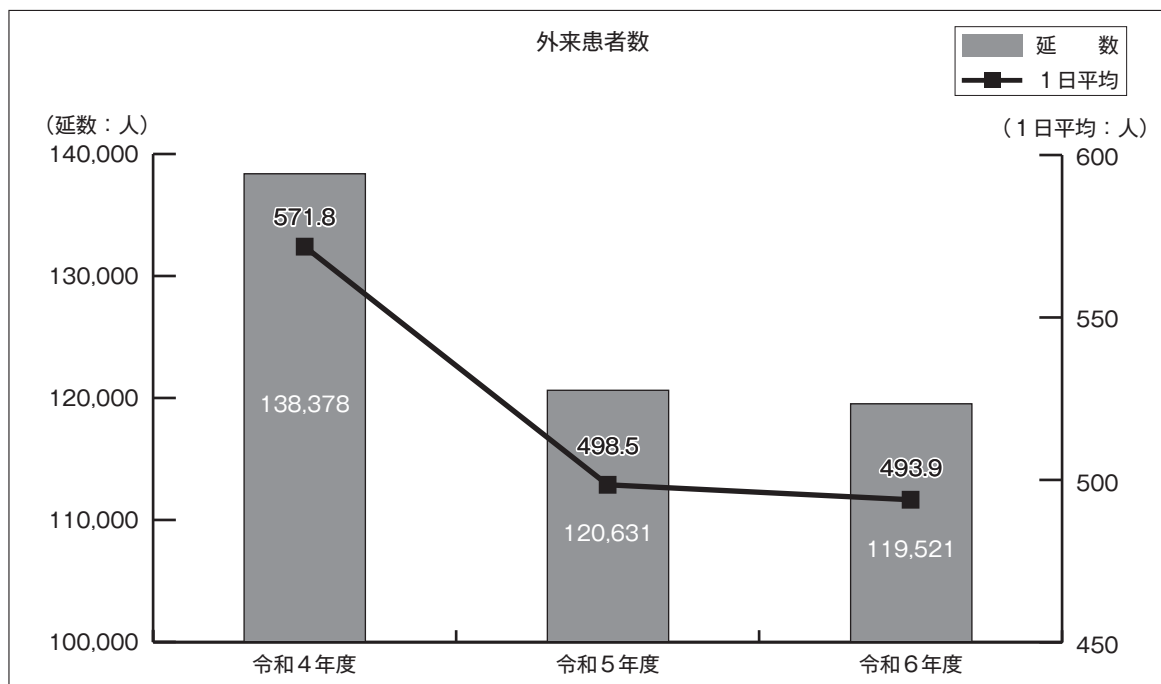
5. 新入院患者数



(単位: 人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	6	0.0	1	0.0	0	0.0
リウマチ・膠原病内科	170	0.5	170	0.5	199	0.5
消化器内科	1,399	3.8	1,500	4.1	1,585	4.3
糖尿病・代謝内科	91	0.2	49	0.1	88	0.2
小児科	33	0.1	67	0.2	107	0.3
外科	480	1.3	503	1.4	461	1.3
整形外科	675	1.8	714	2.0	832	2.3
脳神経外科	534	1.5	586	1.6	571	1.6
皮膚科	6	0.0	8	0.0	14	0.0
泌尿器科	207	0.6	271	0.7	374	1.0
産婦人科	707	1.9	407	1.1	284	0.8
眼科	650	1.8	591	1.6	568	1.6
耳鼻咽喉科	236	0.6	262	0.7	321	0.9
麻酔科	4	0.0	7	0.0	12	0.0
精神科	18	0.0	0	0.0	0	0.0
心臓血管外科	106	0.3	118	0.3	0	0.0
循環器内科	783	2.1	893	2.4	1,007	2.8
形成外科	15	0.0	24	0.1	29	0.1
脳神経内科	252	0.7	322	0.9	336	0.9
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
呼吸器外科	305	0.8	302	0.8	336	0.9
腎臓内科	-	-	-	-	7	0.0
救急科	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
合計	6,679	18.3	6,797	18.6	7,131	19.5

6. 外来患者数



(単位：人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	4,868	20.1	2,591	10.7	2,246	9.3
リウマチ・膠原病内科	6,293	26.0	6,273	25.9	6,824	28.2
消化器内科	16,843	69.6	15,315	63.3	15,832	65.4
糖尿病・代謝内科	9,445	39.0	8,944	37.0	8,843	36.5
小児科	3,375	13.9	3,999	16.5	3,329	13.8
外科	7,118	29.4	6,612	27.3	6,296	26.0
整形外科	11,210	46.3	10,054	41.5	10,906	45.1
脳神経外科	5,611	23.2	5,099	21.1	4,747	19.6
皮膚科	4,505	18.6	4,232	17.5	4,195	17.3
泌尿器科	4,890	20.2	6,693	27.7	7,709	31.9
産婦人科	10,666	44.1	6,169	25.5	5,113	21.1
眼科	7,638	31.6	6,421	26.5	6,085	25.1
耳鼻咽喉科	4,212	17.4	4,079	16.9	4,456	18.4
麻酔科	917	3.8	955	3.9	952	3.9
精神科	6,869	28.4	1,645	6.8	1,304	5.4
心臓血管外科	2,152	8.9	2,116	8.7	786	3.2
循環器内科	15,914	65.8	14,974	61.9	15,696	64.9
形成外科	2,790	11.5	2,595	10.7	2,573	10.6
脳神経内科	6,387	26.4	6,246	25.8	6,662	27.5
放射線科	16	0.1	15	0.1	28	0.1
呼吸器外科	6,241	25.8	5,033	20.8	4,305	17.8
腎臓内科	-	-	-	-	158	0.7
救急科	418	1.7	571	2.4	476	2.0
合計	138,378	571.8	120,631	498.5	119,521	493.9

7. 診療科別稼働額

(単位：千円)

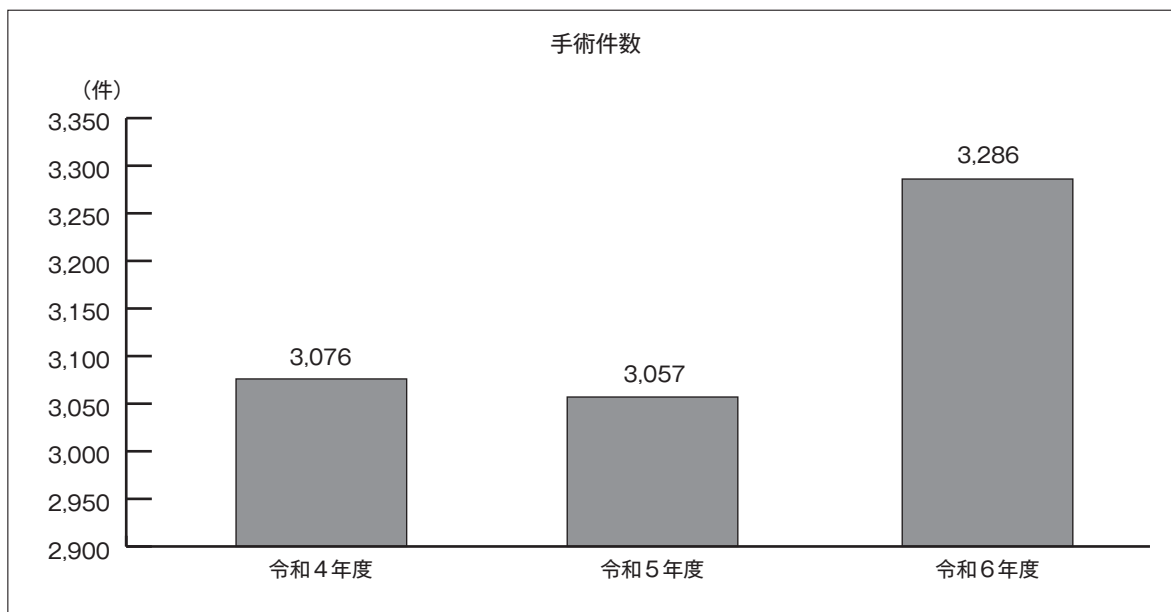
	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
内科	5,239	62,078	67,317	0	31,024	31,024	0	25,008	25,008
リウマチ・膠原病内科	154,034	131,647	285,681	168,323	125,170	293,493	150,323	115,450	265,773
消化器内科	865,729	386,683	1,252,412	980,147	336,148	1,316,295	1,032,761	361,617	1,394,379
糖尿病・代謝内科	61,176	86,149	147,325	34,889	84,844	119,732	55,909	86,196	142,105
小児科	8,127	39,040	47,167	17,622	37,485	55,107	30,646	40,481	71,127
外科	511,416	158,176	669,592	486,965	150,092	637,058	493,459	120,527	613,986
整形外科	941,595	74,222	1,015,817	921,417	69,700	991,117	1,098,824	78,560	1,177,385
脳神経外科	502,091	73,688	575,779	675,788	68,994	744,782	692,738	68,762	761,500
皮膚科	3,758	24,571	28,329	5,505	24,078	29,583	9,619	23,242	32,861
泌尿器科	75,092	54,542	129,634	105,523	74,337	179,861	156,764	89,843	246,607
産婦人科	421,465	108,931	530,395	252,888	66,612	319,500	196,898	60,627	257,525
眼科	136,131	59,181	195,311	123,433	50,729	174,163	117,826	46,514	164,341
耳鼻咽喉科	101,363	39,990	141,353	113,149	38,865	152,014	133,597	45,156	178,753
麻酔科	1,068	2,058	3,126	2,166	2,363	4,529	5,289	2,220	7,509
精神科	13,773	36,259	50,032	0	7,869	7,869	0	6,751	6,751
心臓血管外科	153,590	19,654	173,243	120,325	18,689	139,014	1,067	6,941	8,008
循環器内科	769,436	161,857	931,293	912,435	156,979	1,069,414	937,627	174,034	1,111,661
形成外科	10,693	37,718	48,411	12,168	36,625	48,793	21,609	35,228	56,838
脳神経内科	232,231	56,430	288,661	279,486	61,042	340,529	282,666	66,131	348,797
放射線科	-	591	591	-	413	413	0	875	875
呼吸器外科	350,762	221,646	572,408	341,620	168,816	510,436	372,401	151,810	524,210
腎臓内科	-	-	-	-	-	-	6,975	1,251	8,226
救急科	-	12,543	12,543	-	16,668	16,668	0	16,389	16,389
合計	5,318,769	1,847,652	7,166,421	5,553,851	1,627,544	7,181,394	5,796,999	1,623,614	7,420,613

8. 入院・外来単価(自費収益を含まない)

(単位：円)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来
内科	37,158	12,752	-	11,974	-	11,134
リウマチ・膠原病内科	51,689	20,920	52,948	19,954	51,113	16,918
消化器内科	55,110	22,958	54,311	21,949	54,290	22,841
糖尿病・代謝内科	42,365	9,121	41,984	9,486	44,372	9,747
小児科	49,554	11,567	54,726	9,374	59,623	12,160
外科	63,744	22,222	67,936	22,700	67,662	19,143
整形外科	62,744	6,621	67,682	6,933	64,682	7,203
脳神経外科	71,820	13,133	84,252	13,531	79,406	14,485
皮膚科	39,561	5,454	39,608	5,689	39,102	5,540
泌尿器科	59,315	11,154	66,787	11,107	70,298	11,654
産婦人科	81,160	10,213	96,485	10,798	116,508	11,857
眼科	97,865	7,748	98,668	7,901	97,619	7,644
耳鼻咽喉科	70,685	9,494	73,141	9,528	71,711	10,134
麻酔科	89,013	2,245	58,540	2,475	62,967	2,331
精神科	25,988	5,279	-	4,784	0	5,177
心臓血管外科	127,144	9,133	122,406	8,832	48,492	8,831
循環器内科	66,336	10,171	68,419	10,483	68,231	11,088
形成外科	71,285	13,519	73,301	14,114	64,699	13,692
脳神経内科	50,639	8,835	52,436	9,773	48,635	9,927
放射線科	-	36,951	-	27,550	-	31,265
呼吸器外科	77,705	35,514	74,136	33,542	80,746	35,264
腎臓内科	-	-	-	-	44,143	7,918
救急科	-	30,008	-	29,190	-	34,431
合計	64,519	13,352	67,090	13,492	65,323	13,584

9. 手術件数(手術室)



(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消化器内科	4	7	5
外科	410	399	421
呼吸器外科	110	97	126
整形外科	634	615	726
脳神経外科	81	128	144
産婦人科	385	291	265
心臓血管外科	64	66	2
耳鼻咽喉科	131	141	167
形成外科	481	546	552
泌尿器科	112	169	305
眼科	653	590	566
精神科	3	0	0
麻酔科	6	8	7
救急科	2	0	0
合計	3,076	3,057	3,286

10. 平均在院日数

(単位：日)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内 科	22.5	2.0	—
リウマチ・膠原病内科	16.6	17.5	13.8
消化器内科	10.4	11.1	11.2
糖尿病・代謝内科	14.8	15.3	13.5
小 児 科	3.9	3.6	3.8
外 科	15.3	12.9	14.3
整形外科	20.8	18.0	19.7
脳神経外科	12.3	12.8	14.3
皮膚科	12.4	19.0	15.9
泌尿器科	4.9	4.7	5.0
産婦人科	6.3	5.4	5.0
眼 科	1.1	1.1	1.1
耳鼻咽喉科	5.0	4.9	4.8
麻 酔 科	2.0	4.3	6.3
精 神 科	23.5	—	—
心臓血管外科	10.6	7.5	12.7
循環器内科	13.9	14.1	12.7
形成外科	9.4	6.3	10.3
脳神経内科	17.0	15.9	16.4
放射線科	—	—	—
呼吸器外科	13.9	14.1	12.3
腎臓内科	—	—	20.0
救 急 科	—	—	—
平 均	11.3	11.2	11.5

11. 病床稼働率(退院を含む)

(単位：床、%)

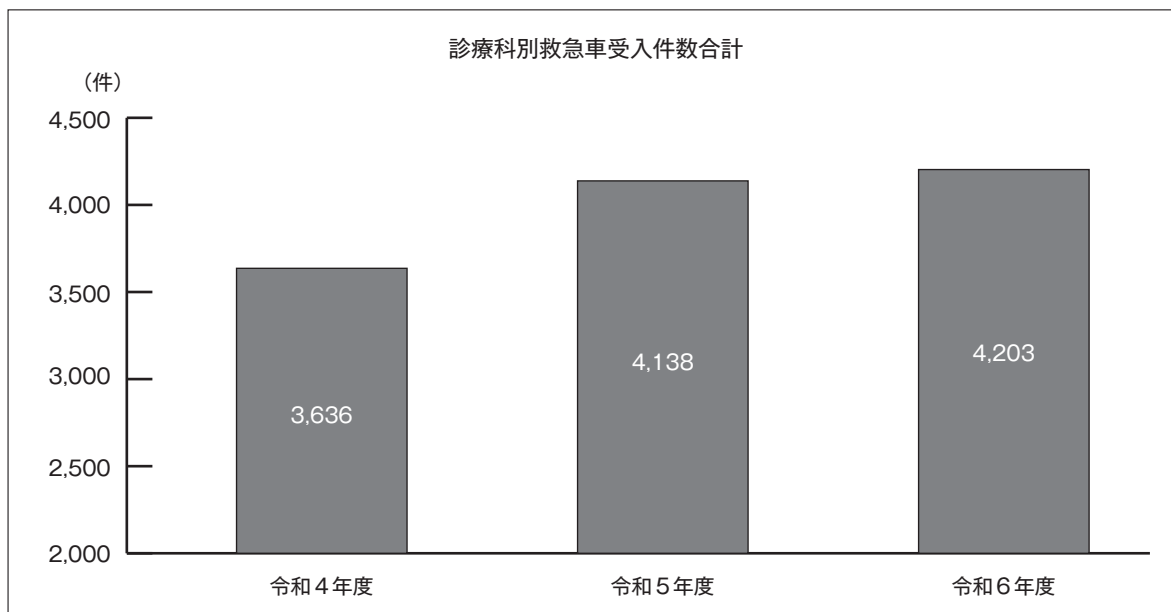
	稼働病床数	令和5年度	令和6年度
H C U 病棟	8	64.9%	67.1%
3 階 病 棟	46	82.8%	80.6%
4 階 病 棟	40	77.9%	85.7%
5 A 病 棟	49	87.1%	90.0%
5 B 病 棟	46	88.9%	89.9%
6 A 病 棟	47	56.3%	83.7%
6 B 病 棟	46	90.7%	90.4%
合 計	282	80.2%	86.2%

12. 紹介率・逆紹介率(病院全体)

(単位：%)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
紹 介 率	102.6	117.8	123.2
逆 紹 介 率	123.6	132.0	125.8

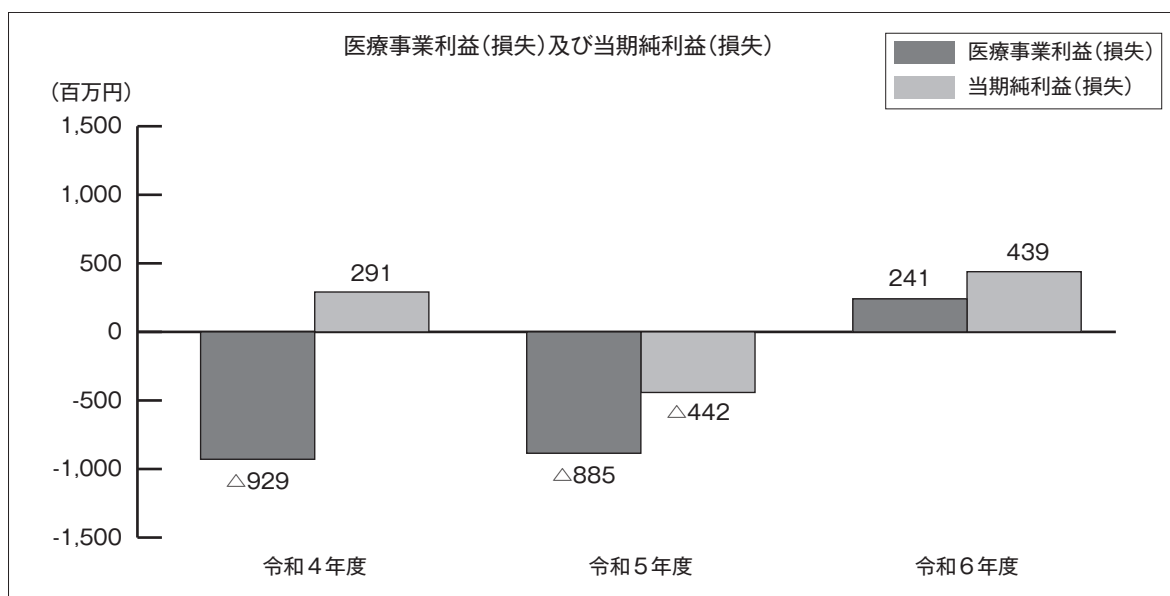
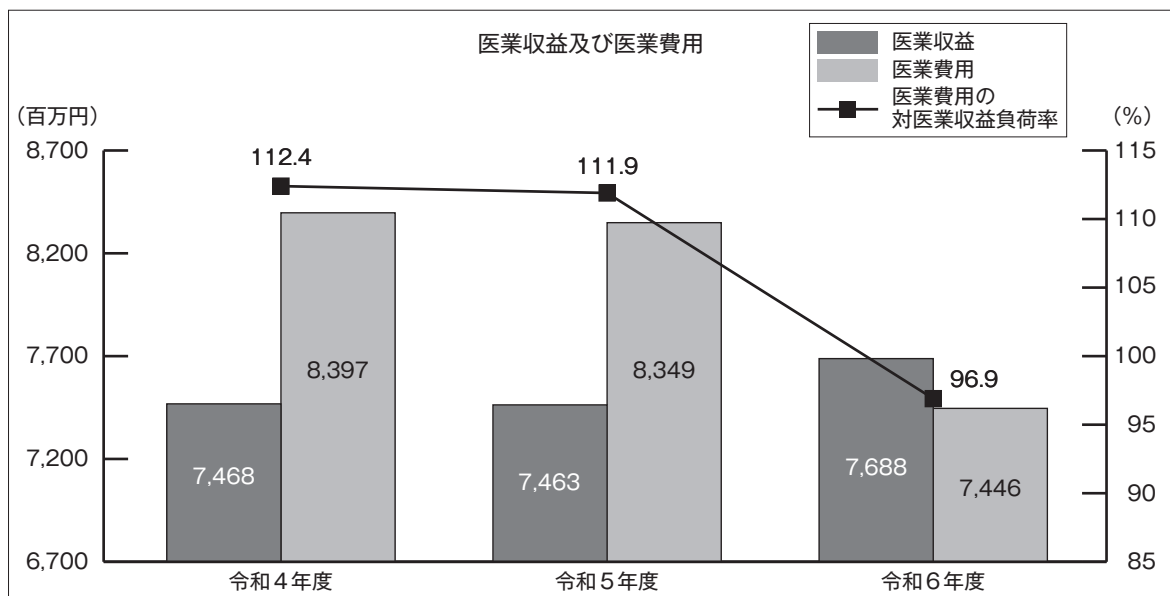
13. 診療科別救急車受入件数



(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内 科	14	3	0
リウマチ・膠原病内科	79	51	54
消化器内科	546	701	764
糖尿病・代謝内科	50	13	26
小 児 科	35	39	47
外 科	118	193	127
整形外科	535	584	664
脳神経外科	739	826	832
皮 膚 科	16	12	16
泌尿器科	65	82	64
産 婦 人 科	26	11	9
眼 科	1	1	2
耳鼻咽喉科	109	74	95
麻 酔 科	5	5	9
精 神 科	26	12	6
心臓血管外科	29	27	2
循環器内科	583	624	637
形成外科	1	3	0
脳神経内科	296	342	336
呼吸器外科	63	84	65
放射線科	0	1	0
腎臓内科	-	-	8
救 急 科	332	473	440
合 計	3,636	4,138	4,203

14. 損益推移



(単位：円、%)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
医療収益	7,468,059,967	7,463,300,264	7,688,109,793
医療費用	8,397,367,990	8,349,250,710	7,446,265,833
医療事業利益(損失)	△ 929,308,023	△ 885,950,446	241,843,960
医療費用の対医療収益負荷率	112.4	111.9	96.9
医療外利益(損失)	1,324,817,292	577,695,286	326,040,054
医療社会利益(損失)	△ 88,809,153	△ 137,657,217	△ 117,990,427
付帯事業利益(損失)	△ 5,467,140	△ 5,401,572	4,054,268
特別利益(損失)	△ 9,415,833	8,838,843	△ 14,757,297
法人税等	0	0	0
当期純利益(損失)	291,817,143	△ 442,475,106	439,190,558

15. 比較損益計算書

(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	(5年度～6年度)	
			前年比	増減率
医療事業損益計算				
医療収益	7,463,300,264	7,688,109,793	224,809,529	3.0%
入院診療収益	5,563,989,769	5,805,615,866	241,626,097	4.3%
室料差額収益	107,547,200	103,853,200	△ 3,694,000	-3.4%
外来診療収益	1,631,323,429	1,629,749,028	△ 1,574,401	-0.1%
保険予防活動収益	134,841,491	120,209,970	△ 14,631,521	-10.9%
受託検査・施設利用収益	3,835,975	4,470,178	634,203	16.5%
その他の医療収益	37,444,032	35,420,607	△ 2,023,425	-5.4%
保険等査定減	△ 15,681,632	△ 11,209,056	4,472,576	-
医療費用	8,349,250,710	7,446,265,833	△ 902,984,877	-10.8%
材料費	2,038,768,856	2,055,235,491	16,466,635	0.8%
給与費	4,188,102,004	3,307,855,792	△ 880,246,212	-21.0%
委託費	598,245,255	626,189,155	27,943,900	4.7%
設備関係費	1,179,761,753	1,104,676,320	△ 75,085,433	-6.4%
研究研修費	43,109,851	44,708,888	1,599,037	3.7%
経費	301,262,991	307,600,187	6,337,196	2.1%
医療事業利益(損失)	△ 885,950,446	241,843,960	1,127,794,406	-
事業損益計算				
医療外収益	611,964,960	375,944,213	△ 236,020,747	-38.6%
医療外費用	34,269,674	49,904,159	15,634,485	45.6%
医療外利益(損失)	577,695,286	326,040,054	△ 251,655,232	-43.6%
医療社会事業収益	1,654,176	1,654,176	0	0.0%
医療奉仕費用	139,311,393	119,644,603	△ 19,666,790	-14.1%
医療社会事業利益(損失)	△ 137,657,217	△ 117,990,427	19,666,790	-
事業利益(損失)	△ 445,912,377	449,893,587	895,805,964	-
経常損益計算				
付帯事業収益	39,333,048	39,226,017	△ 107,031	-0.3%
付帯事業費用	44,734,620	35,171,749	△ 9,562,871	-21.4%
付帯事業利益(損失)	△ 5,401,572	4,054,268	9,455,840	-
経常利益(損失)	△ 451,313,949	453,947,855	905,261,804	-
当期純損益計算				
特別利益	10,422,560	41,649	△ 10,380,911	-99.6%
特別損失	1,583,717	14,798,946	13,215,229	834.4%
特別利益(損失)	8,838,843	△ 14,757,297	△ 23,596,140	-267.0%
税引前当期純利益(損失)	△ 442,475,106	439,190,558	881,665,664	-
法人税等	0	0	0	-
当期純利益(損失)	△ 442,475,106	439,190,558	881,665,664	-
前期繰越利益(損失)	△ 2,998,996,223	△ 3,441,471,329	△ 442,475,106	-
当期未処分利益(未処理損失)	△ 3,441,471,329	△ 3,002,280,771	439,190,558	-

IV

活動実績

1. 内科、呼吸器内科	43	19. 眼科	65
2. 消化器内科	43	20. 耳鼻咽喉科	65
3. 糖尿病・代謝内科	46	21. 放射線科	67
4. 循環器内科	47	22. 麻酔科	70
5. リウマチ・膠原病内科	49	23. リハビリテーション科	71
6. 腎臓内科	50	24. 救急科	74
7. 脳神経内科	51	25. 病理診断科	75
8. 精神科	52	26. 薬剤部	76
9. 小児科	52	27. 医療技術部	78
10. 外科	53	28. 看護部	81
11. 心臓血管外科	56	29. 検査部	105
12. 呼吸器外科	57	30. 事務部	108
13. 整形外科	58	31. 医療安全推進室	119
14. 脳神経外科	59	32. 感染管理室	121
15. 皮膚科	62	33. 診療支援室	123
16. 形成外科	62	34. 地域医療連携室	123
17. 泌尿器科	63	35. 福島赤十字訪問看護ステーション	129
18. 産婦人科	64		



1. 内科、呼吸器内科

【医師】 福島県立医科大学からの派遣医師による外来診療

<診療内容>

・一般内科

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や喘息、アレルギー疾患の診療をしております。

・呼吸器内科

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺癌、縦隔腫瘍、胸腺疾患などの呼吸器疾患に対して診断・治療をいたします。



2. 消化器内科

【主任部長】 児玉 健太(兼 内視鏡センター長)

▪ 専門

消化器病

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 認定内科医

日本消化器病学会 消化器病専門医

日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医

日本消化管学会 胃腸科専門医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本大腸検査学会 評議員

【部長】 菅野有紀子

▪ 専門

肝科、消化器科、肝臓疾患

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 総合内科専門医

日本消化器病学会 専門医・指導医・評議員

日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医

日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医

日本リウマチ学会 専門医 指導医

日本門脈圧亢進症学会

【部長】 紺野 直紀

▪ 専門

消化器内科(特に胆・膵疾患)

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 総合内科専門医

日本消化器病学会 専門医

日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医

日本膵臓学会 指導医

日本胆道学会
日本門脈圧亢進症学会
日本臨床腫瘍学会
日本肝臓学会 専門医

【副部長】 入江 大樹

- 専門
消化器全般(特に胆膵疾患)
- 資格・所属学会等
日本内科学会 認定医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本肝臓学会
日本胆道学会
日本膵臓学会
日本門脈圧亢進症学会
JMECC インストラクター

【医師兼健診センター長】 黒田 聖仁

- 専門
肝炎、肝臓がん
- 資格・所属学会等
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本肝臓学会 肝臓指導医
日本消化器病学会 指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医
福島県立医科大学臨床教授・客員講師

【医師】 石崎 優斗

- 専門
消化器内科
- 資格・所属学会等
日本内科学会 内科専門医
日本消化器病学会 消化器病指導医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本肝臓学会

【医師】 亀岡 英介

- 専門
消化器内科
- 資格・所属学会等
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本内科学会

【医師】 後藤沙由里(～令和6年12月)

- 専門
消化器内科
- 資格・所属学会等

日本救急医学会
日本集中治療医学会
日本臨床救急医学会

【外部医】 引地 拓人

▪ 専門

消化器内視鏡の診断・治療

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医・東北支部評議員
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医・指導医
日本カプセル内視鏡学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 肝臓専門医
日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
日本門脈圧亢進症学会 技術認定医(内視鏡治療)
日本膵臓学会 専門医
日本胃癌学会
日本高齢消化器病学会
日本消化器がん検診学会
PEG・在宅医療学会
福島医学会
America Society of Gastrointestinal Endoscopy (ASGE) 国際会員

【外部医】 中村 純

▪ 専門

消化管癌の内視鏡診断・治療

食道アカラシアの診断・治療

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医・支部評議員
日本消化器病学会 消化器病専門医・東北支部評議員
日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医
日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
日本門脈圧亢進症学会 技術認定医(内視鏡治療)
日本胃癌学会
日本がん検診学会

<令和6年度実績>

当科は消化管(食道、胃、十二指腸、大腸)、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓疾患の診断、治療を行っている。コロナ下で検査件数の減少がみられたが、低侵襲で安全な内視鏡検査、治療を心掛けており、食道、胃、大腸のESD(粘膜下剥離術)治療やEMR(粘膜切除術)の施行件数も年々増加している。吐血や下血に対する止血処置や総胆管結石へのEST(内視鏡的乳頭切開術)、閉塞性黄疸への内視鏡的ドレナージ、大腸癌によるイレウスへのステント留置等を緊急で施行できる体制を整えている。また、病理部の協力を得ながら、主に膵腫瘍の組織診断を目的に超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)を開始している。肝疾患専門医療機関であり、ウイルス性肝炎や自己免疫性肝疾患の治療の他、肝細胞癌には年間約50例にラジオ波焼灼療法、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的治療薬による治療、肝動脈塞栓療法を施行。また難治性腹水には腹水濃縮再注入療法を行っている。

上部消化管内視鏡検査	3,308件
下部内視鏡検査	712件
上部内視鏡粘膜切除術・ESD	46件
下部内視鏡粘膜切除術・ESD	635件
内視鏡的乳頭切開術	63件
内視鏡的胆道ステント留置術	125件
内視鏡的膵管ステント留置術	28件
下部消化管ステント留置術	39件
内視鏡的消化管止血術	74件
小腸結腸内視鏡的止血術	48件

<令和7年度目標>

肝胆膵、消化管領域とある程度全ての消化器領域に対応できるソフト・ハードが備わっており、救急を含め今まで以上に臨床での症例数を増やしていきたい。また、当院は健診のニーズも高いため可能な限り健診内視鏡の対応件数を上げられるようにスタッフともども業務を向上していきたい。

+

3. 糖尿病・代謝内科

【医師】 佐藤 義憲

▪ 専門

糖尿病

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本糖尿病学会 専門医・指導医

【医師】 加藤 瞳(令和6年4月～9月)

▪ 専門

糖尿病・内分泌代謝

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会

日本糖尿病学会

日本内分泌学会

【医師】 加藤 瞳(令和6年10月～令和7年3月)

▪ 専門

糖尿病・内分泌代謝

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会

日本糖尿病学会

日本内分泌学会

<令和6年度実績>

外来予約診療 1,112名

入院 88名

学会発表 2回

論文発表 -

<令和7年度目標>

専攻医の着任を受け、引き続き内分泌疾患の診療に注力していきたい。

4. 循環器内科

【副院長】 大和田尊之

▪ 専門

循環器一般、虚血性心疾患、冠動脈疾患

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 総合内科専門医

日本循環器学会認定 循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定 心血管カテーテル治療専門医・指導医

日本高血圧学会認定 高血圧専門医・指導医

福島県立医科大学臨床教授

【主任部長】 渡部 研一(兼 医療技術部長 兼 臨床研修センター長 兼 院長補佐)

▪ 専門

循環器一般、不整脈

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 総合内科専門医

日本循環器学会認定 循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定 心血管カテーテル治療認定医

HEPT(心不全緩和ケアトレーニングコース)修了者

日本DMAT隊員

日赤災害医療コーディネーター

福島県災害医療コーディネーター

【部長】 阪本 貴之(兼 医局長)

▪ 専門

循環器一般、心血管インターベンション

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 総合内科専門医 指導医

日本循環器学会認定 循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定 心血管カテーテル治療専門医

HEPT(心不全緩和ケアトレーニングコース)修了者

【医師】 石橋 信幸(令和6年7月～)

▪ 専門

循環器一般、救急医療

▪ 資格・所属学会等

日本救急医学会認定 救急科専門医

日本内科学会

日本循環器学会

【医師】 草野 亮太

▪ 専門

循環器内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会 総合内科専門医

日本循環器学会

日本心血管インターベンション治療学会

【医師】 佐藤 洋太

▪ 専門

循環器内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会

日本循環器学会

【外部医】 中里 和彦

▪ 専門

循環器一般、心血管インターベンション、肺高血圧症の診断と治療

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定専門医・指導医

日本循環器学会認定専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定専門医

<令和6年度実績>

令和6年度は専攻医2名を含む5人の診療体制でスタートし、7月より専攻医が一人増員となり6人体制となった。今年度も急患対応を断らない姿勢を貫き当科の救急車搬送件数や入院患者延数は昨年度よりさらに増加、手術・処置件数も高いレベルを維持し稼働に貢献できた。治療面では冠動脈インターベンションにおいて高度石灰化病変に対するロータブレードやIVL・ダイヤモンドバック360などの最新治療を取り入れ、難しい症例にも対応することができた。クリニック訪問やホームページでのアピールなど、紹介患者増加への取り組みも先頭をきって積極的に協力し行なった。福島県が進めている救急車12誘導伝送システム運用も、昨年度に続き市内で最大の伝送依頼を受けるなど救急隊からの信頼も得ることが出来た。

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

外来受診患者延数 15,696名

入院患者延数 13,742名

救急車搬送患者総数 653名

緊急検査・処置・手術 133例

カテーテル関連

冠動脈造影 420例

右心カテーテル 56例

電気生理学的検査 4例

経皮的冠動脈インターベンション(PCI) 225例(うち緊急PCI 83例)

下肢末梢血管インターベンション(EVT) 7例

PCPS 2例

IABP 11例

経静脈一時ペーシング 28例

心嚢ドレナージ 5例

ペースメーカー移植術・交換術 52例

その他

経食道心エコー 7例

PSGによる睡眠時無呼吸症候群精査、CPAP/ASV治療・管理

ペースメーカー等デバイス管理

デバイス植え込み患者MRI撮像対応・他科手術時デバイス管理対応

その他、今年度も他の内科系診療科同様、コロナウイルス感染症患者の入院対応や内科新患を含む一般内科診療・高齢者当番入院対応、呼吸器内科入院当番対応など内科医としての役割も多く果たす事となった。

教育面では専攻医の成長と学会発表・資格取得を進めるだけでなく、初期臨床研修医教育や指導を積極的に行い学会発表もサポートした。院内では他の職種に対する勉強会も積極的に行いレベルアップをはかることが出来た。また医学生見学を積極的に受け入れたり、救急隊との勉強会で講義をするなど初期研修医の獲得・地域の循環器医療のレベルアップに協力出来た。

<令和7年度目標>

令和7年度も患者様中心の医療を実践し地域の循環器医療に貢献するため、救急症例について例年通り盤石の受け入れ体制を維持し対応していくことに加え、手術を質・量とも高いレベルで維持しつつ新しい検査・治療に積極的に取り組んでいきたい。また、入院患者数および手術件数をさらに増やすべく、地域の先生方に気軽に御相談いただける関係づくりに努め病診・病病連携を強化するとともに、県北の循環器診療医療の中心として情報発信にも注力しアピールしていきたい。医師の働き方改革においては、積極的な業務の効率化・シフトの明確化による勤務間インターバルの確保および有給取得率の上昇を目指しつつも、質の高い医療の継続のための学会発表・参加等必要な自己研鑽を重ねて、安心・安全な高度医療を提供していく所存である。

5. リウマチ・膠原病内科

【医師】 宮田 昌之(リウマチ・膠原病センター長)

▪ 専門

リウマチ、膠原病、アレルギー疾患

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医

日本リウマチ学会認定 リウマチ専門医・指導医

日本アレルギー学会認定 アレルギー専門医・指導医

日本プライマリ・ケア連合学会認定 認定医・指導医

日本消化器病学会認定 消化器病専門医

日本肝臓学会認定 肝臓専門医

アメリカ内科学会認定 専門医

福島県立医科大学臨床教授

診療情報管理士

【医師】 松本 聖生(令和6年7月～)

▪ 専門

リウマチ、膠原病

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 内科専門医

日本リウマチ学会認定 リウマチ専門医

日本免疫不全・自己炎症学会
日本臨床免疫学会
日本シェーグレン症候群学会

<令和6年度実績>

令和6年度の新規患者数は228名、入院患者数は199名であった。新規のリウマチ・膠原病疾患の中でも罹患率の高い関節リウマチにおいては、新規患者数が155名であった。また、希少疾患の診療にも尽力しており、第34回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会において、研修医2名による症例報告を行った。

<令和7年度目標>

令和7年度は、松本聖生、二武弘樹の2名で診療を行う。外来診療に関しては、福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科学講座より診療応援をいただく。今まで以上に大学との連携を深め、重症度の高い患者層、希少疾患患者の診療をより充実させていきたい。

6. 腎臓内科

【医師】 佐藤 孝紀

▪ 専門

腎臓内科

▪ 資格・所属学会等

日本内科学会認定 内科専門医

日本腎臓学会

日本透析医学会

<令和6年度実績>

当科は令和6年度1月に佐藤が常勤として赴任し、腎臓内科の立ち上げをした。専門外来を週1日→4日に拡大し、病棟でもスタッフの教育を行うなど当院で多くの腎臓病患者を診療できる体制作りを行った。赴任当初から末期腎不全、血管炎といった症例も経験し、当院でも専門的な診療を行うことがすでに出来つつある。また、最も当科に求められている血液透析患者の受け入れについては、器材・人材・システムなどあらゆる面で整備が必要であり、同年度は準備に終始した。

<令和7年度目標>

令和7年度は2人体制となり、本格的に血液透析患者の受け入れを推進していく。当科でも末期腎不全患者の血液透析開始を予定する。今後、透析機器の増加に伴って受け入れ可能人数も増加するため、対応可能な体制作りが必要である。腎臓病患者についても、近医・院内の紹介患者も今まで積極的に受け入れていき、地域の腎臓診療の拠点の一つとなっていきたい。まだまだ専門外来に受診していない慢性腎臓病(CKD)患者は多く、患者数の増加が見込まれる。透析の回避、先送りに少しでも繋がる診療ができるよう心がけていきたい。

また、将来的には十分な初期研修も行えるような教育体制を整備していきたい。



7. 脳神経内科

【主任部長】 中村耕一郎(兼 感染管理室長)

▪ 専門

神経内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本神経学会認定 神経内科専門医・指導医

日本内科学会認定 総合内科専門医

日本臨床神経生理学会

日本脳卒中学会

福島県立医科大学 臨床教授

【部長】 守谷 新

▪ 専門

神経内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本神経学会認定 神経内科専門医・指導医

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本プライマリ・ケア連合学会

日本医師会認定産業医

【医師】 大島 麻美(令和6年4月～6月)

▪ 専門

神経内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本神経学会

日本神経治療学会

【医師】 土橋 奏恵(令和6年7月～9月)

▪ 専門

神経内科一般

▪ 資格・所属学会等

日本神経学会

日本内科学会

日本神経治療学会

<令和6年度実績>

令和6年度の入院件数は336件(前年比12件増)であった。

<令和7年度目標>

当科入院症例は救急および紹介症例が多数を占めるため、引き続き病診連携に努め神経救急患者の受け入れに努めていく。



8. 精神科

【副 部 長】 山本慎之助

▪ 専門

精神科

▪ 資格・所属学会等

日本精神神経学会認定 精神科専門医・指導医

日本臨床精神神経薬理学会

精神保健指定医

＜令和7年度目標＞

令和4年9月より精神科病棟は休止となった。常勤の精神科医1名での対応となったため、規模を縮小し、現在は身体合併症を有する認知症疾患及び精神疾患への対応を主に行っている。医療連携及び地域連携を大切に、円滑な診療体制を作っていく。



9. 小児科

【主任部長】 清水 裕美

▪ 専門

小児科一般

▪ 資格・所属学会等

日本小児科学会認定 小児科専門医・指導医

日本周産期・新生児医学会認定 新生児専門医

日本小児感染症学会

【部 長】 今野 友貴

▪ 専門

小児科一般

▪ 資格・所属学会等

日本小児科学会認定 専門医

日本小児循環器学会

日本小児救急医学会

日本アレルギー学会

日本小児科医会 子どもの心相談医

JPLS講師

日本DMAT隊員

＜令和6年度実績＞

外来は、感染症が多くを占めるが、特に思春期に多い、不登校のカウンセリングや起立性調節障害などの治療などにも対応している。一般外来のほか、腎臓、神経、心臓疾患の特殊外来や乳幼児健診・予防接種などを行っている。

入院は、気管支炎や胃腸炎などの感染症の治療のほか、食物経口負荷試験や成長ホルモン分泌刺激試験などにも対応している。

また、学校医として健康教育に携わり、子ども虐待対応院内組織(CPT)では、行政機関のほか、

他の医療機関と積極的に連携をはかり、「福島市子ども虐待対応連絡会」の活動を行っている。

<令和7年度目標>

引き続き、救急医療、二次医療の充実を維持する。また、予防接種や乳幼児健診および学校健診での要精検者の二次健診の拡充にも努める。CPT活動では、積極的に定例会や勉強会を開催し、「福島市子ども虐待対応連絡会」の院外連携を充実させることで、手助けを必要としている子どもや親をサポートしていきたい。

10. 外科

【主任部長】 遠藤 豪一

▪ 専門

消化器外科、一般外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科専門医・指導医

日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・指導医

日本消化器外科学会認定 消化器がん外科治療認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定 マンモグラフィ読影認定医

福島県立医科大学臨床教授

日本DMAT隊員

【部長】 大須賀文彦[腹腔鏡外科](～令和6年9月)

▪ 専門

消化器外科、腹腔鏡外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会 外科専門医・指導医

日本消化器外科学会 消化器外科専門医

日本消化器外科学会認定 消化器がん外科治療認定医

日本がん治療認定医機構認定がん治療医

日本癌治療学会

日本臨床外科学会

日本内視鏡外科学会

日本大腸肛門病学会

日本静脈経腸栄養学会

【部長】 佐藤 佳宏(令和6年10月～)

▪ 専門

外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科認定医・専門医・指導医

日本消化器外科学会認定 消化器外科認定医・専門医

日本消化器外科学会認定 消化器がん外科治療認定医・指導医

日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員

日本内視鏡外科学会 技術認定医(胆道)

日本外科感染症学会 外科周術期感染管理認定医・教育医

日本臨床外科学会
日本腹部救急医学会
麻酔科標榜医
インフェクションコントロールドクター

【副部長】 塚田 学

▪ 専門

外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科専門医

日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医

日本消化器外科学会認定 消化器がん外科治療認定医

日本臨床外科学会

日本内視鏡外科学会

【副部長】 山内 直人

▪ 専門

消化管外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科専門医

日本消化器外科学会

日本臨床外科学会

日本内視鏡外科学会

【医師】 中岡 勇貴

▪ 専門

外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会

日本心臓外科学会

<令和6年度実績>

1) 乳腺

乳腺悪性腫瘍

乳房全摘 5例(センチネルリンパ節生検 5例)

部分切除

乳腺腫瘍 1例

2) 胃

胃悪性腫瘍 22例

遠位側胃切除術 7例

腹腔鏡下遠位側胃切除術 6例

胃全摘術 5例

胃空腸吻合術 4例

その他

胃十二指腸潰瘍穿孔 4例

食道裂肛ヘルニア 1例

3) 小腸

腫瘍

腹腔鏡切除術 1例

- 腸閉塞症 12例(絞扼性腸閉塞症 5例)
 - 開腹手術 4例
 - 腹腔鏡下手術 8例
- その他
 - ストマ閉鎖術 3例
- 4)腹膜炎
 - 穿孔性腹膜炎 17例
 - 開腹手術 15例
 - 腹腔鏡下手術 2例
- 5)虫垂炎
 - 虫垂切除術 28例
 - 開腹虫垂切除術 1例
 - 腹腔鏡下虫垂切除術 27例
- 6)大腸
 - 結腸悪性腫瘍 42例
 - 開腹結腸切除術 3例
 - 腹腔鏡下結腸切除術 39例
 - 直腸悪性腫瘍
 - 直腸切除術 19例
 - 開腹直腸切除術 0例
 - 腹腔鏡下直腸切除術 19例
 - 直腸切断 1例
 - 開腹直腸切断術 0例
 - 腹腔鏡下直腸切断術 1例
- 7)肛門疾患
 - 内痔核 2例
 - 腫瘍 1例
- 8)肝胆膵
 - 胆嚢(胆石症、胆嚢炎) 54例
 - 開腹胆嚢摘出術 8例
 - 腹腔鏡下胆嚢摘出術 46例
 - 胆嚢腫瘍(開腹術) 1例
- 9)腹壁
 - 単径ヘルニア 104例
 - 前方(プラグメッシュ法等) 34例
 - 腹腔鏡下ヘルニア修復術 70例
 - 大腿ヘルニア 6例
 - 前方(プラグメッシュ法等) 2例
 - 腹腔鏡下ヘルニア修復術 4例
 - 閉鎖孔ヘルニア 2例
 - 前方、開腹手術 2例
 - 腹壁癒痕ヘルニア 6例
 - 開腹手術 5例
 - 腹腔鏡下手術 1例
 - 臍ヘルニア
 - 開腹手術 2例
- 10)その他
 - CVポート造設術 62例
 - 皮下腫瘍摘出術 2例

リンパ節摘出術 5例
その他 11例

<令和7年度目標>

基本的治療方針として、個々の患者様の状態、患者様の生活環境等にも配慮した適切な治療(手術)を行う事を目標としています。現在は患者様の体への負担の少ない腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。年々腹腔鏡手術の適応は拡大し、大腸癌においては進行大腸癌も含め半数以上の患者様において腹腔鏡手術を施行しています。その他の疾患では胆石症では8割以上、虫垂炎では全例の患者様において腹腔鏡下手術を施行しております。今後も患者様の体への負担が少ない腹腔鏡下手術等の手術適応をさらに拡大し、より多くの患者様に体への負担の少ない治療(手術)を行えるように進めていきます。

11. 心臓血管外科

【部長】 籠島 彰人

■ 専門

成人心臓、血管

■ 資格・所属学会等

日本心臓血管外科学会認定 心臓血管外科専門医

日本外科学会認定 外科専門医

日本脈管学会認定 脈管専門医

腹部ステントグラフト実施医・指導医

浅大腿動脈ステントグラフト実施医

日本血管外科学会

日本胸部外科学会

日本循環器学会

日本心臓血管外科学会

日本冠動脈外科学会

日本下肢救済学会

【医師】 佐戸川弘之(末梢血管病センター長)

■ 専門

心臓血管外科学

■ 資格・所属学会等

日本心臓血管外科学会認定 心臓血管外科専門医・修練指導者

日本外科学会認定 外科専門医・指導医

胸部外科学会認定 胸部外科指導医

日本脈管学会認定 脈管専門医

日本循環器学会 循環器専門医

腹部ステントグラフト実施医

日本心臓血管内視鏡学会

日本静脈学会

下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医・指導医

※令和6年4月をもって、常勤医が退職した。



12. 呼吸器外科

【部長】 塩 豊

▪ 専門

肺の外科治療

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科専門医

呼吸器外科専門医合同委員会認定 呼吸器外科専門医

日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 評議員

日本胸部外科学会

日本肺癌学会

日本がん治療認定医機構認定医

日本呼吸器内視鏡学会

肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定医師

診療研修指導医講習会受講

福島県立医科大学呼吸器外科 臨床教授

【副部長】 井上 卓哉

▪ 専門

呼吸器外科

▪ 資格・所属学会等

日本外科学会認定 外科専門医

呼吸器外科専門医合同委員会認定 呼吸器外科専門医

日本がん治療認定医機構認定医

日本胸部外科学会

日本肺癌学会

日本呼吸器内視鏡学会

日本癌治療学会

日本臨床外科学会

日本バイオセラピー学会

IASLC

日本栄養治療学会

臨床研修指導医講習会受講

<令和6年度実績>

胸腔鏡下気胸手術 37件

<令和7年度目標>

令和6年度初頭に呼吸器外科部長が交代しました。日本気胸・嚢胞性肺疾患学会に所属していますので、気胸の治療の数と治療方法を増やすように努めてまいります。



13. 整形外科

【主任部長】 村上 和也(兼 リハビリテーション科部長)

▪ 専門

足の外科、膝関節外科

▪ 資格・所属学会等

日本整形外科学会認定 整形外科専門医

日本整形外科学会認定 スポーツ認定医

日本整形外科学会認定 運動器リハビリテーション認定医

日本膝関節学会評議員

東北膝関節研究会幹事

【部長】 佐々木信幸

▪ 専門

整形外科一般、手外科

▪ 資格・所属学会等

日本整形外科学会認定 整形外科専門医

日本手外科学会認定 手外科専門医

日本整形外科学会

東北整形外科学会

日本手外科学会

日本マイクロサージャリー学会

【副部長】 佐藤 法義

▪ 専門

整形外科一般

▪ 資格・所属学会等

日本整形外科学会認定 整形外科専門医

日本人工関節学会 認定医

日本股関節学会

骨折治療学会

【副部長】 小平 俊介

▪ 専門

整形外科一般

▪ 資格・所属学会等

日本整形外科学会認定 整形外科専門医・認定スポーツ医

東北整形災害外科学会

東日本整形災害外科学会

日本人工関節学会

日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

<令和6年度実績>

令和6年度の整形外科の年間新入院患者数は713人、一日平均入院数は44.3人であり、平均在院日数は19.6日であった。年間手術件数は727件と、昨年度の616件より111件増加しており、これは佐々木信幸先生の増員に伴い、手の外科関連手術が増加したことが主要因であった。手術の内訳は、人工関節置換術の数が年々増加しており、令和2年度が107件、令和3年度が133件、令

和4年度が160件、令和5年度が150件、令和6年度が163件であった。これは地域連携医療機関からの紹介が増えているためと人工関節手術の治療成績が良好なためと考えられ、引き続き地域の連携を強め、手術成績のさらなる向上に務めていきたいと考えている。また近年増加の一途を辿っている大腿骨近位部骨折の手術症例は人工骨頭置換術が62件、骨接合術が124件の合計186件と福島県北地区では最も多い手術件数となっており、当院の救急治療の主翼を担っていると思われる。

<令和7年度目標>

令和7年度は村上和也が定年に伴い嘱託勤務となるが、昨年度に引き続き、佐々木信幸、佐藤法義、小平俊介の3名のスタッフに加え、当院研修医であった服部芳隆が加わり、常勤5人体制となる。地域の救急医療を担うためには心強いスタッフを得て、救急医療、地域連携医療機関からの紹介に今まで以上に対応していきたいと考えている。

14. 脳神経外科

【院長】 鈴木 恭一

■ 専門

脳卒中の診断と治療

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医

日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医・評議員

日本脳卒中の外科学会 技術指導医・代議員

日本脳神経外科光線力学学会 幹事

日本リハビリテーション医学会 認定臨床医

福島県立医科大学 臨床教授

【部長】 市川 剛(兼 救急科部長 兼 脳卒中センター長 兼 救急センター長)

■ 専門

脳神経外科一般、血管内治療

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医

日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医

日本脳神経血管内治療学会認定 脳神経血管内治療専門医・指導医

日本脳卒中の外科学会認定 技術指導医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

日本脳神経外科コンgres

日本DMAT隊員

統括DMAT

日赤災害医療コーディネーター

福島県災害医療コーディネーター

福島県立医科大学 臨床教授

【副部長】 伊藤 裕平

■ 専門

脳血管障害

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医
日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医
日本脳卒中の外科学会 技術認定医
日本脳神経血管内治療学会 脳神経血管内治療専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医
日本頭痛学会認定 頭痛専門医

【副 部 長】 小祝 萌

■ 専門

脳外科一般

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会認定 日本脳神経血管内治療専門医
日本脳卒中学会
日本脳神経外科コンgres
日本神経内視鏡学会

【医 師】 卯月 大(～令和6年9月)

■ 専門

脳神経外科

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会
日本てんかん学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脳神経外傷学会
日本神経内視鏡学会
日本脳卒中学会

【医 師】 鈴木 啓友(令和6年10月～令和7年3月)

■ 専門

脳神経外科

■ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会
日本脳神経血管内治療学会

<令和6年度実績>

I. 診察

令和6年度の入院患者総数は571名であり、その内訳は、脳血管障害が348例(脳梗塞：174例、脳出血：121例、くも膜下出血：27例、未破裂脳動脈瘤：20例、脳動静脈奇形・硬膜動静脈瘻：4例、もやもや病：2例)、脳腫瘍が15例、頭部外傷が15例、てんかんが37例、水頭症・奇形が5例、機能的疾患が7名、感染症が16例、その他が54例であった。

手術件数は204例で、そのうち開頭手術は34例で、脳腫瘍摘出術：8例、脳動脈瘤クリッピング術：6例、脳内血腫除去術：4例、脳動脈吻合術：4例、外傷性血腫除去術：4例、神経血管減圧術：2例、頭蓋形成術：2例、AVM摘出術：1例、脳膿瘍排膿術：1例、その他：2例であった。血管内手術は89例であり、機械的血栓回収術：30例、脳動脈瘤コイル塞栓術：20例、頸部頸動脈ステント留置術：20例、脳動脈瘤フローダイバーター留置術：5例、腫瘍塞栓術：4例、硬膜動静脈瘻塞栓術：3例、脳血管ステント術：3例、AVM塞栓術：2例であった。それ以外の手術は64例で、慢性硬膜下血腫：54例、水頭症手術：8例、神経内視鏡手術：

12例、その他：10例であった。

II. 教育

リハビリテーションカンファランス：脳卒中急性期リハビリテーションによる更なる機能改善を目指して、医師・リハビリテーションスタッフ・看護師・薬剤師・栄養士による入院患者さんの検討会を2回／月で開催した。

脳神経内科・脳神経外科合同カンファランス：脳疾患治療の進歩に迅速に対応するための勉強会を第2、4月曜に開催した。研修医も参加し、当院における脳疾患治療の底上げを目指している。

回復期リハビリテーション施設との症例検討会：不定期ではあるが開催して、顔の見える関係を構築し、県北地域の脳卒中治療成績の向上を目指している。

III. 社会貢献

令和6年度は病院長の鈴木恭一が日本脳卒中協会福島県支部副支部長を務めており、日本脳卒中協会との共同事業として講演会を例年開催している。令和6年度は市民公開講座を開催し、脳卒中の予防と治療に関する啓蒙を行なった。

IV. 研究

主に脳卒中に関する臨床研究を継続して行い、その成果を国内外の学会で発表した。福島医大脳神経外科を中心に行っている臨床研究にも参加・協力している。

<令和7年度目標>

I. 診察

令和6年度も福島医大脳神経外科から医師を派遣していただいた(令和6年4月から令和6年9月まで卯月大医師、令和6年10月から令和7年3月まで鈴木啓友医師が勤務)。令和7年度も継続して伊藤裕平医師、小祝萌医師、田母神千沙江医師を派遣していただいております、診療のレベルアップを目指したい。

当院の使命として、県北医療圏における重症疾患や緊急手術への対応が挙げられる。新病院移転時(令和元年)に最新式の脳血管装置を導入した。手術用顕微鏡も更新し、併せて手術用ナビゲーションシステムを導入した。ナビゲーションシステムは、病変や重要な神経路の位置を確認しながら顕微鏡手術を進めることを可能とするもので、県北医療圏では福島医大病院と当院のみに設置されている。加えてこれまで積極的に取り入れてきた血管内治療や神経内視鏡手術を組み合わせることにより、従来は対応が困難であった手術をより安全で確実に行うことが可能となった。今後引き続き良好な医療を続けたい。

当院では「脳神経・脳卒中センター」を開設している。県内に5施設ある日本脳卒中学会一次脳卒中センターコア施設の一つであり、他院からの転院も受け入れている。脳卒中はもちろんのこと脳神経疾患全般を脳神経外科医、脳神経内科医が協力して行うことで、神経疾患に対する診療レベルの向上に努めている。

脳神経外科疾患においては、急性期治療のみ上手くいけば良いというものではない。急性期から慢性期まで切れ目のない治療の継続が求められる。地域の医療機関や回復期リハビリテーション病院との連携をより一層強化し、患者さんの満足度が高まることを目指したい。

II. 教育

当院は、日本脳神経外科学会専門医研修連携施設の他、日本脳卒中学会研修教育施設、日本脳神経血管内治療学会研修施設に認定されている。特に日本脳神経血管内治療学会研修施設は福島県内に3カ所のみであり、血管内治療医を目指す若手の教育を継続していきたい。脳卒中の外科認定技術指導医、神経内視鏡学会技術認定医も在籍しており、脳神経外科全般にわたる指導も継続していく。臨床研修指定病院としての役割も担う当院は、初期研修医の教育にも重点を置いていく。脳神経外科治療を院内の多職種で共有出来るような教育の場を増やし、スタッフの学会発表・論文作成を支援することにより、病院全体のレベルアップに努めていきたい。

III. 社会貢献

令和7年度は市川が日本脳卒中協会福島県支部副支部長を引き継ぎ、日本脳卒中協会福島県

支部の活動を継続し、脳卒中の予防、早期治療の重要性などに関する啓発活動を中心として社会貢献に努めていきたい。福島県循環器病推進計画にも記載されているが、救急隊と連携し、県北地域の脳卒中治療の成績向上を目指したい。

15. 皮膚科

【部 長】 元木 良和

▪ 専門

皮膚科一般

▪ 資格・所属学会等

日本皮膚科学会認定 皮膚科専門医

<令和6年度実績>

統計のページを参照。

<令和7年度目標>

福島県立医科大学皮膚科学講座と連携して、診療の質の維持・向上を図る。

16. 形成外科

【部 長】 浅井 笑子

▪ 専門

形成外科一般

再建外科

▪ 資格・所属学会等

日本形成外科学会認定 形成外科専門医・領域指導医

日本形成外科学会認定 皮膚腫瘍外科分野指導医

日本創傷外科学会 創傷外科専門医・分野指導医

<令和6年度実績>

手術件数508件(うち全身麻酔19件)

<令和7年度目標>

患者さんが快適で安心して受けられる医療を、単独で可能な範囲内で提供していく。



17. 泌尿器科

【部長】 片岡 政雄

▪ 専門

泌尿器悪性腫瘍、泌尿器内視鏡手術、女性泌尿器科

▪ 資格・所属学会等

日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医・指導医

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医・泌尿器ロボット支援手術プロクター(前立腺・膀胱) 代議員

日本内視鏡外科学会認定 泌尿器腹腔鏡技術認定医

日本排尿機能学会 代議員

日本癌治療学会

日本泌尿器腫瘍学会

日本女性骨盤底医学会

日本骨盤臓器脱手術学会

福島県立医科大学泌尿器科学講座 臨床准教授

【副部長】 小名木彰史(令和6年4月～9月)

▪ 専門

泌尿器悪性腫瘍

▪ 資格・所属学会等

日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医

【医師】 今井 仁美(令和6年10月～令和7年3月)

▪ 専門

泌尿器悪性腫瘍

▪ 資格・所属学会等

日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医

日本排尿機能学会

日本泌尿器内視鏡学会

日本癌治療学会

日本女性骨盤底医学会

<令和6年度実績>

(1) 活動実績

陰嚢水腫根治術：8件

経尿道の前立腺水蒸気治療：5件

経尿道の前立腺レーザー蒸散術：6件

尿失禁防止術：3件

尿道脱手術：5件

膣閉鎖術：7件

腹腔鏡下仙骨膣固定術：6件

腹腔鏡下尿膜管摘除術：1件

経直腸の前立腺針生検術：32件

MRI/TRUS融合型経会陰式前立腺針生検術：182件

経尿道の膀胱腫瘍切除術：61件

腹腔鏡下腎摘除術：2件

腹腔鏡下腎尿管全摘除術：3件

<令和7年度目標>

質の高い泌尿器科診療の提供。



18. 産婦人科

【部長】 矢澤 浩之

▪ 専門

内視鏡手術
(腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術)
婦人科腫瘍学、不妊症

▪ 資格・所属学会等

日本産科婦人科学会認定 産婦人科専門医
日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
日本生殖医学会 生殖医療専門医
福島県立医科大学 臨床教授

【医師】 小島つかさ(令和6年8月～)

▪ 専門

産婦人科

▪ 資格・所属学会等

日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医
日本産科婦人科内視鏡学会

<令和6年度実績>

総手術件数：257件

悪性腫瘍・境界悪性腫瘍に対する根治手術：4件(卵巣腫瘍3件、子宮腫瘍1件)
腹腔鏡下手術：178件(卵巣腫瘍：74件、子宮全摘：88件、筋腫核出：11件、異所性妊娠：3件、
骨盤臓器脱：2件、など)

子宮鏡下手術：9件

開腹子宮全摘術：36件

開腹子宮筋腫核出術：7件

開腹卵巣腫瘍手術：2件

円錐切除術：23件

骨盤臓器脱手術：2件

<令和7年度目標>

- *学会や研修会に積極的に参加し、最新の診断、治療法の習得や手技の向上に努めます。
- *婦人科診療は、主に良性子宮腫瘍(子宮筋腫等)、良性卵巣腫瘍で手術を要する患者様の治療を中心に行っており、特に、低侵襲手術である内視鏡手術(腹腔鏡・子宮鏡手術)を積極的に取り入れ、これまで通り「より多くの患者様へ、より質の高い内視鏡手術の提供」をモットーとし手術適応の拡大し、手術を受けられる患者さまのQOLの向上に心掛けるべく日々研鑽を重ねていきます。
- *初期研修医、後期研修医がさらに充実した研修を行えるように努めます。
- *産科診療、婦人科悪性腫瘍手術について：

産婦人科医不足の現状を鑑み、当院での産科診療および婦人科悪性腫瘍の手術に付きましては2023年度をもちまして一時休診とさせていただきます。

診療体制が整い次第、産科診療の再開、婦人科診療の再拡大を目指して行く所存であります。

+

19. 眼科

【部長】 山田 文子

▪ 専門

白内障手術

▪ 資格・所属学会等

日本眼科学会 眼科専門医、

日本眼科手術学会

日本眼循環学会

日本コンタクトレンズ学会

福島県立医科大学臨床教授

福島県立医科大学研修指導医

福島県眼科医会副会長

【視能訓練士】 秋山 妙子、湯野川樹理、渡邊 恵、塩田 美弥

<令和6年度実績>

他に周辺虹彩切除術、結膜嚢部分形成術、霰粒腫摘出術、後発白内障切開術、網膜光凝固術、虹彩光凝固術など施行

<令和7年度目標>

白内障手術をより精度高く施行し、患者様にご満足いただけるよう術前の検査・面談・手術手技・術後管理にも磨きをかけて参ります。救急を担う病院故、ベッドコントロールの面から基本的に1泊入院での手術施行となりますが、1度の入院で両眼の手術につきましても徐々に導入を検討したいと存じます。引き続きやや難易度の高い手術手技を要する方、社会的家族的支援の脆弱な方、認知症や精神疾患のため局麻下手術施行が困難な方など病院で対応すべき患者様をご紹介いただければ可能な限り対応させていただきます。急性緑内障発作・ぶどう膜炎発作・視神経炎・涙嚢炎・眼窩蜂窩織炎などの急患対応も積極的に受け入れます。

学会・各種勉強会には積極的に参加しており、最新の診断・治療法を習得し、当院の設備で可能な限り患者様に還元して参ります。

+

20. 耳鼻咽喉科

【主任部長】 多田 靖宏(兼 嚙下・ボイスセンター長

兼 鼻・副鼻腔センター長 兼 医療情報部門責任者)

▪ 専門

耳鼻咽喉科一般、音声外科領域(声帯ポリープ・声帯麻痺)

鼻副鼻腔領域(慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻中隔湾曲症)

気管食道科領域(嚙下障害)、医療情報学領域鼻

▪ 資格・所属学会等

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医・指導医
日本気管食道科学会認定 気管食道科専門医
日本音声言語医学会認定 音声言語認定医
日本嚥下医学会認定 嚥下相談医
日本鼻科学会
日本喉頭科学会
日本耳鼻咽喉科臨床学会
補聴器相談医
喉頭形成手術実施医
福島県立医科大学臨床教授
福島県立医科大学非常勤講師

【部長】 三浦 智広(兼 嚥下・ボイスセンター副センター長
兼 鼻・副鼻腔センター副センター長)

▪ 専門

耳鼻咽喉科疾患一般
耳鼻咽喉科救急疾患
鼻副鼻腔領域、血管性浮腫

▪ 資格・所属学会等

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医・指導医
補聴器相談医
日本鼻科学会
日本頭頸部癌学会
日本頭頸部外科学会
日本嚥下医学会認定 嚥下相談医

【医師】 斎藤 杏

▪ 専門

耳鼻咽喉科

▪ 資格・所属学会等

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
日本咽頭科学会

【外部医】 松井 隆道

▪ 専門

耳鼻咽喉科一般
耳科領域

▪ 資格・所属学会等

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医
日本耳科学会
補聴器適合判定医師

＜令和6年度実績＞

令和6年度の新入院患者数は321名で、その内訳は手術目的の予定入院169名、救急入院は131名であった。手術症例は全身麻酔146名、局所麻酔138名であった。

<令和7年度目標>

1. 国内および国際学会で積極的に発表を行う。
2. 手術研修や講習会に積極的に参加する。
3. 各専門外来を充実させ、より専門的な治療を提供する。
4. 耳鼻咽喉科に関わるコ・メディカルと連携し、チーム医療を充実させる。

21. 放射線科

【部長】 菊田 学(放射線科部長)

▪ 専門

画像診断(特にCT・MRI)

▪ 資格・所属学会等

日本医学放射線学会専門医

【技師長】 佐藤 勝行

【課長】 相澤 浩樹(第1放射線技術課長 兼 一般撮影係長)

阿部 直人(第2放射線技術課長)

【係長】 海藤 隆紀(第2放射線技術課 画像情報係長)

【診療放射線技師】 五十公野純子、三次 鏡太、菅野 徹、伊藤 美穂、明田 充弘
佐藤 竜馬、玉根 勇樹、外山 歩、佐藤 香歩、島田 翔平

【放射線科助手】 八巻 弘美

<令和6年度実績>

1. 検査件数

(単位：件)

	令和5年度	令和6年度
CT検査	12,959	13,251
MRI検査	5,571	6,043
血管撮影	688	661
一般撮影	28,318	29,653
乳房撮影	1,596	1,543
透視撮影	1,278	1,198
骨密度測定	572	629
ポータブル	4,908	5,375
術中透視	350	485
PACS画像取込・複写	5,934	6,292

<令和7年度目標>

1. 院内接遇No.1の放射線科部を目指す
2. 安全な医療の提供に努める
3. 病院を良くするための取り組みを行う
4. 勉強会・研究会等へ積極的に参加する

5. 医療被ばく線量管理の分析と報告を行う
6. スタッフ満足度を向上させる

<研修会・Web研修会>

1. 第58回 福島市肺がん検診精度管理研修会 ～胸部X線読影のコツ～
令和6年5月9日(木) 福島市保健福祉センター 佐藤 勝行、阿部 直人、島田 翔平
2. 令和6年度 日本赤十字社診療放射線技師学術総会 ～医療安全をテーマに～
令和6年5月31日(金)～6月1日(土) 大阪産業創造館 佐藤 香歩
3. 福島市乳がん検診精度管理研修会 ～福島市検診実績・乳がん症例検討～
令和6年6月5日(水) Web 五十公野 純子
4. 第6回 福島県CTテクニカルセミナー ～心臓CTの基礎と未来～
令和6年6月8日(土) コラッセ福島 佐藤 勝行、相澤 浩樹、阿部 直人、海藤 隆紀
五十公野 純子、明田 充弘、玉根 勇樹
5. マンモグラフィ撮影技術ランクアップ講習会
令和6年6月30日(日) 東北大学病院 良陵会館 五十公野 純子
6. 第3回 東北IVR技術研究会 ～災害時のIVR、被ばくについて～
令和6年7月6日(土) Web 海藤 隆紀
7. 第21回 東北MR技術研究会 ～小児のMRに関して～
令和6年7月13日(土) Web 海藤 隆紀
8. 県北地区協議会 夏季勉強会 ～STAT画像報告について～
令和6年8月24日(土) 大原記念ホール 相澤 浩樹、阿部 直人、玉根 勇樹、島田 翔平
9. 第23回 福島県乳腺画像研究会 ～マンモグラフィ画質管理について～
令和6年9月7日(土) Web 佐藤 勝行、五十公野 純子、佐藤 香歩
10. 第1回 新潟・山形・福島合同血管撮影研究会 ～心臓CT・US・IVRについて～
令和6年9月14日(土) 新潟大学 海藤 隆紀
11. 令和6年度 日本赤十字社放射線技師会東北ブロック研修会
令和6年9月28日(土) 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム 2A
佐藤 勝行、相澤 浩樹、阿部 直人、海藤 隆紀、五十公野 純子
三次 鏡太、菅野 徹、佐藤 竜馬、玉根 勇樹、外山 歩
佐藤 香歩、島田 翔平
12. 令和6年度 福島県放射線技術学術大会
令和6年10月20日(日) 星総合病院ポラリス保健看護学院メグレズホール
相澤 浩樹、阿部 直人、五十公野 純子、明田 充弘
13. 第10回 福島県血管撮影技術セミナー(FANTA) ～DIVRに携わる放射線技師の役割～
令和6年11月30日(土) 星総合病院ポラリス保健看護学院メグレズホール
相澤 浩樹、海藤 隆紀、明田 充弘

14. 令和6年度 日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療受援研修会
令和6年12月21日(土) 兵庫県災害医療センター 海藤 隆紀、三次 鏡太
15. 日本赤十字社診療放射線技師会 フレッシュアップ研修会
令和7年1月11日(土) 日本赤十字社本社 島田 翔平
16. 県北地区協議会 冬季勉強会 ～タスクシフトで求められるこれからの技師～
令和7年2月15日(土) 大原記念ホール 佐藤 勝行、相澤 浩樹、阿部 直人
海藤 隆紀、玉根 勇樹

<研修会等発表>

1. 第6回 福島県CTテクニカルセミナー ～心臓CTの基礎と未来～
令和6年6月8日(土) コラッセ福島 4F
「福島県内の心臓CTの現状 64列・80列装置について」 玉根 勇樹
2. 県北地区協議会 夏季勉強会 ～STAT画像報告について～
令和6年8月24日(土) 大原記念ホール
「救急の現状 当院のSTAT画像報告の現状」 島田 翔平
3. 令和6年度 日本赤十字社放射線技師会東北ブロック研修会
令和6年9月28日(土) 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム 2A
「手指骨単純CTにおける空間分解能向上の基礎的研究」 玉根 勇樹
「当院の医療安全への取り組みについて」 外山 歩
4. 令和6年度 福島県放射線技術学術大会
令和6年10月20日(日) 星総合病院ポラリス保健看護学院メグレズホール
「造影剤副作用に対するシミュレーション訓練の報告」 五十公野 純子

<原子力災害関連研修>

1. 福島原子力災害医療セミナー ～災害医療・放射線被ばく医療について～
令和6年7月5日(金)～6日(土) Web
(原子力災害基礎研修の講義内容とプログラムの見直し) 明田 充弘
2. 令和6年度 第1回アドバイザー作業部会
令和6年8月8日(木)～9日(金) 日本赤十字社本社
(原子力災害基礎研修の講義内容とプログラムの見直し) 海藤 隆紀
3. 令和6年度 第1回日本赤十字社 原子力災害時の救護研修
令和6年12月7日(土)～12月8日(日) 鹿児島市 自治会館
(放射線の人体への影響について：海藤隆紀 講師) 海藤 隆紀
4. 令和6年度 第2回アドバイザー作業部会
令和6年10月31日(木)～11月1日(金) 日本赤十字社本社
(原子力災害基礎研修の講義内容とプログラムの見直し) 海藤 隆紀
5. 令和6年度 赤十字看護管理者研修Ⅲ
令和7年1月22日(水) 日本赤十字社本社
(放射線の人体へ及ぼす影響について：海藤隆紀 講師) 海藤 隆紀

6. 令和6年度 福島県原子力災害医療基礎研修
令和7年2月1日(土)～ Web(eラーニング)

三次 鏡太、海藤 隆紀

22. 麻酔科

【部 長】 出羽 明子

▪ 専門

麻酔、緩和ケア、帯状疱疹後神経痛

▪ 資格・所属学会等

日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医・認定医

日本臨床麻酔学会

日本緩和医療学会

日本ペインクリニック学会

福島県立医科大学 臨床教授

【副 部 長】 花山 千恵

▪ 専門

麻酔、緩和ケア

▪ 資格・所属学会等

日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医

日本緩和医療学会

日本ペインクリニック学会

【副 部 長】 江花 英朗(令和6年4～6月)

▪ 専門

手術麻酔

▪ 資格・所属学会等

日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医

周術期経食道心エコー(JB-POT) 認定医

日本臨床麻酔学会

日本集中治療医学会

日本心臓血管麻酔学会

【医 師】 桑名 圭祐(令和6年7月～)

▪ 専門

麻酔

▪ 資格・所属学会等

日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医

日本静脈麻酔学会

【医 師】 安達 守

▪ 専門

麻酔

▪ 資格・所属学会等

日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医

<令和6年度実績>

麻酔科管理件数	1,717件
ペインクリニック	94件
緩和ケア	48件
初期研修医指導	延べ14名

<令和7年度目標>

- ・安全な手術麻酔と緩和ケアの充実
- ・院内急変対応チームによる重症患者への迅速な対応

23. リハビリテーション科

【部長】 村上 和也(兼 リハビリテーション科部長)

▪ 資格・所属学会等

日本整形外科学会認定 整形外科専門医
日本整形外科学会 スポーツ認定医
日本整形外科学会認定 運動器リハビリテーション認定医
日本膝関節学会評議員
東北膝関節研究会幹事

【係長】 大室 祐司(第1リハビリテーション科係長、理学療法士)

▪ 資格・所属学会等

柔道整復師、心臓リハビリテーション指導士、3学会合同呼吸療法認定士、
認定理学療法士(呼吸)、認定理学療法士(循環)、登録理学療法士

藤橋 伸弘(第2リハビリテーション科係長、理学療法士)

▪ 資格・所属学会等

心臓リハビリテーション指導士、認定理学療法士(循環)、登録理学療法士
AHA・BLSプロバイダー、福祉住環境コーディネーター2級

【理学療法士】 近澤久美子

▪ 資格・所属学会等

認知症ケア専門士、認定理学療法士(脳卒中)、登録理学療法士、介護支援専門員

相田 悦子

鈴木かおり

▪ 資格・所属学会等

登録理学療法士

三浦 友輔

▪ 資格・所属学会等

3学会合同呼吸療法認定士、認定理学療法士(呼吸)、登録理学療法士、
AHA・BLSプロバイダー

金子みなみ

▪ 資格・所属学会等

3学会合同呼吸療法認定士、登録理学療法士、福祉住環境コーディネーター2級

淵澤 慎也

▪ 資格・所属学会等

3学会合同呼吸療法認定士

大室 康騎

秋本 礼智

▪ 資格・所属学会等

認定理学療法士(運動器)、登録理学療法士

萩原 幸樹

菅野 颯海

【作業療法士】 高橋 美和

佐藤ゆかり

▪ 資格・所属学会等

AHA・BLSプロバイダー

橋本 楓

▪ 資格・所属学会等

認知症ライフパートナー2級、AHA・BLSプロバイダー、
肝炎医療コーディネーター

菅野 尚之

【言語聴覚士】 齋藤 隆徳

▪ 資格・所属学会等

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

渡部 藍里

▪ 資格・所属学会等

肝炎医療コーディネーター

東海林祐実

▪ 資格・所属学会等

肝炎医療コーディネーター

菅野 信世

【事務】 鈴木真紀子(派遣事務員)

<実績>

1. リハビリテーション業務実績

部 門	実患者数合計	延べ患者数合計	総単位数
理学療法部門	2,291	27,418	34,416
作業療法部門	412	8,434	11,514
言語聴覚療法部門	481	10,074	12,342

2. 耳鼻咽喉科外来業務(音声外来患者対応)

3. カンファランス開催

- ・ 整形外科ケースカンファランス
- ・ 脳血管疾患リハビリカンファランス
- ・ 呼吸器疾患リハビリカンファランス
- ・ 心大血管疾患リハビリカンファランス

4. チーム(委員会)活動への参加

- ・ EAT
- ・ NST
- ・ RST
- ・ 早期離床リハビリテーションチーム
- ・ 褥瘡対策チーム
- ・ 肝炎治療チーム
- ・ 認知症ケア委員会
- ・ 緩和ケア委員会

<目標>

1. 方 針

- (1) 患者満足度と職務満足度の向上
- (2) 質の高いリハビリテーションの提供
- (3) 病院収益への貢献
- (4) 人材育成

2. 具体的目標

- (1) 処方された全ての患者様へ、適切なリハビリテーションを提供する
- (2) ハード面、ソフト面の充実
- (3) 地域連携パスの適切で効果的な運用
- (4) 診療報酬改訂に対応し、規定範囲内で最大限の算定を行う
- (5) 業務改善の提案
- (6) 他部門との連携強化
- (7) 各種リハビリテーション文書の統一化
- (8) 臨床実習の受け入れを行う



24. 救急科

【部長】 市川 剛(兼 脳神経外科部長 兼 脳卒中センター長 兼 救急センター長)

▪ 専門

脳神経外科一般、血管内治療

▪ 資格・所属学会等

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医

日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医

日本脳神経血管内治療学会認定 脳神経血管内治療専門医・指導医

日本脳卒中の外科学会認定 技術指導医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

日本脳神経外科コンgres

日本DMAT隊員

統括DMAT

日赤災害医療コーディネーター

福島県災害医療コーディネーター

福島県立医科大学 臨床教授

【副部長】 大久保怜子

▪ 専門

救急医療

▪ 資格・所属学会等

日本救急医学会認定 救急科専門医

日本集中治療学会

日本外傷学会

日本航空医療学会

日本集団災害医学会

<令和6年度実績>

当院は、県北医療圏における2次救急医療の基幹施設です。核となる部署は救急センターで、内科的疾患や外傷の他、心疾患、脳疾患等の多岐にわたる病態に対応しています。また、救急看護認定看護師を中心に看護体制の強化も図っています。

令和6年度救急車受け入れ台数は4,184件、搬入患者の入院割合は53.6%、Walk-inの救急患者数は1,900名と、地域の急性期医療に大きく貢献しています。

<令和7年度目標>

病院移転の際に、最新設備と医療機器をそろえた救急センターを設置しました。ER(救急外来)、救急病床12床、HCU 8床、脳卒中センターを整備しています。ERアクセスが良く、CT・MRI等の診断医療機器も充実しており、搬入後の検査や処置、治療まで迅速に行うことができます。発症から治療までの経過時間が重要な血管障害に対してはPhilips社製の最新の血管撮影装置を2台導入し、24時間体制で対応しております。感染症等に対応できる陰圧室の他、屋上にはヘリ搬送対応のためヘリポートを投置しています。

また当院ではER型の救急診療を行っております。平日日中は救急科専門医1名が常駐し初期診療を行い、各専門診療科と密接に連携し対応しています。専門性の高い疾患や紹介患者さんにつきましては初療より各専門科が関わり、速やかな診断・治療を進められる体制としています。夜間・休日は当直医師が診療し、院内各科や地域の各病院に適切につなげられる診療を行っております。

今後も円滑な救急車の受け入れと各医療機関や施設からの救急要請への対応を行い、県北医療圏の救急医療に貢献しつづけていきたいと考えております。

25. 病理診断科

【部長】 田崎 和洋(兼 検査部長)

▪ 専門

外科病理学一般
悪性リンパ腫の病理

▪ 資格・所属学会等

日本病理学会認定 病理専門医・指導医
日本臨床細胞学会認定 細胞診専門医・指導医
日本リンパ腫学会
福島県立医科大学 臨床教授

【課長】 根本 浩(検査部病理検査課長)

【係長】 佐藤 由峰(検査部病理検査係長)
石川 梓(検査部病理検査係長)

【技師】 三浦 義喜(臨床検査技師)

<令和6年度実績>

組織診断件数	3,212件
術中迅速組織診断件数	89件
細胞診断件数	3,542件
術中迅速細胞診断件数	148件(EUS-FNA：21件を含む)
病理解剖件数	1件
組織ブロック総数	11,008個

<令和7年度目標>

- ・医療安全上、きわめて重大な問題となる「担当医による病理診断書の見落とし」の根絶を目指すため、週毎に前2週間分の未閲覧症例を抽出し担当医に報告するとともに、毎月開催される報告書確認対策チームのカンファレンスに参加し、集計した未閲覧数を次月の医局会にて報告する。
- ・ルーティンにて提出された病理検体については、免疫染色を要する症例や難解例を除き、可能な限り速やかに報告書を発行するように努める(turnaround timeの短縮)。
- ・報告書に標本のマクロおよびミクロ写真を添付し、診療担当医に理解しやすく、同時に患者様にも説明しやすい報告書の作成を心がける。
- ・外科系(呼吸器外科、乳腺外科、婦人科他)および消化器内科との連携によるコンパニオン診断(外注によるオンコマイン、PD-L1、MSI検査など、および自家検査によるHER2、MMR)を円滑に進める。
- ・細胞診検討会を月に一度開催して診断困難事例や組織診断との乖離を認めた症例等について改めて検討を行い、細胞検査士と病理医両者の問題意識を共有するとともに診断のスキルアップに努める
- ・剖検例を用いたCPC(臨床病理検討会)に向けて、研修医が症例の概要をプレゼンテーションしやすい環境を整える。



26. 薬剤部

【部長】 渡部 寿康(薬剤部長)

- 資格・所属学会等
がん薬物療法認定薬剤師
緩和薬物療法認定薬剤師
ケアマネージャー(福島県介護支援専門員)
日病薬病院薬学認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本DMAT隊員
麻薬教育認定薬剤師
日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト

【課長】 緑上 淳一(薬品管理課長 兼 調剤・製剤課長 兼 調剤・製剤係長事務取扱)

川村 早苗(病棟業務課長)

- 資格・所属学会等
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

【係長】 酒井 亮(薬品管理係長)

- 資格・所属学会等
周術期管理チーム認定薬剤師
医薬品情報認定薬剤師
日病薬病院薬学認定薬剤師
日本DMAT隊員
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

【主任】 佐藤 南

- 資格・所属学会等
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

井上可奈子

- 資格・所属学会等
外来がん治療認定薬剤師

【薬剤師】 武藤 芳和

- 資格・所属学会等
外来がん治療認定薬剤師
日病薬病院薬学認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

菊地 洋平

- 資格・所属学会等
外来がん治療認定薬剤師
日病薬病院薬学認定薬剤師
福島DMAT隊員

大竹麻衣子

- 資格・所属学会等
NST専門療法士
医療情報技師
日病薬病院薬学認定薬剤師

古賀 彩織

- 資格・所属学会等
心不全療養指導士
日病薬病院薬学認定薬剤師

寺内優紀恵

- 資格・所属学会等
日本糖尿病療養指導士

安齋 英里

矢葺 優佳

- 資格・所属学会等
NST専門療法士
日病薬病院薬学認定薬剤師

猪股 育美

- 資格・所属学会等
日病薬病院薬学認定薬剤師

西丸未希翔

太田 昂希

村上 美里

横田 有希

宍戸 若緒

市橋 淳

- 資格・所属学会等
ケアマネージャー(福島県介護支援専門員)

【薬剤助手】 太田 順子、東瀬ちさと、宗像 英美(2024年10月22日～)

<令和6年度実績>

1. 薬剤管理指導件数 月平均：756件
2. 病棟薬剤業務実施加算算定
3. 退院時薬剤情報管理指導数 月平均：417件
4. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
Ⅱ期(令和6年5月20日～8月4日) 2名
Ⅲ期(令和6年8月19日～11月3日) 3名

Ⅳ期 なし

5. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：1,250件
入院実施件数：330件

<令和7年度目標>

1. 薬剤管理指導件数
月平均 770件以上
2. 病棟薬剤業務実施加算の継続
3. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数(予定)
Ⅱ期：1名 Ⅲ期：1名 Ⅳ期：1名
4. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：1,300件以上
入院実施件数：350件以上
5. 学会・研修会・論文発表：3件以上

27. 医療技術部

栄養課

【部長】 渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 医療技術部長)

【課長】 菊地 利恵(栄養課長 兼 第一栄養係長事務取扱)

- 資格・所属学会等
静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士
NST専任管理栄養士

【係長】 小河原貴之(第二栄養係長)

- 資格・所属学会等
NST専任管理栄養士

服部みゆき(調理係長)

【管理栄養士】 野崎 華織

- 資格・所属学会等
NST専任管理栄養士、日本栄養治療学会NST専門療法士
がん病態栄養専門管理栄養士、病態栄養認定管理栄養士

葛城 美貴

- 資格・所属学会等
福島県体育協会認定スポーツ栄養士、NST専任管理栄養士
日本栄養治療学会NST専門療法士

野沢 雅美

丹野 真耀

【栄養士】 齋藤那緒美、蓬田 ゆみ、角田奈々葉、香野 友希、渡辺 龍羅、佐藤 亜美

【調理師】 釜田 雄一、中尾ひろみ、齋藤 蘭、小林 玲子、菅野由香利、丹治 春香

【業務員】 片平 純子、本多由美子、菱沼美佐子、山田 弘美、佐藤 栄寿

<令和6年度実績>

・給食管理業務

項目	区分	年間実績	備考		対前年度増減
食事提供数	一般食	126,065食	特別治療食 (加算有)割合	35.23%	+19,613食
	特別治療食(加算有)	67,571食			-4,883食
行事食回数		29回			—

(1) 4月：新人教育マニュアル作成、運用

(2) 10月：嗜好調査実施

(3) 8・9・10月：管理栄養士、栄養士の実習生を4校(8名)受け入れた

・栄養管理業務

項目	区分	年間実績	備考		対前年度増減
栄養指導件数	外来指導	804件	算定件数	781件	+149件(算定+137件)
	入院指導	1,066件	算定件数	974件	+17件(算定+37件)
NST件数		761件	算定件数	743件	+451件(算定+476件)
個別栄養食事管理加算		921件			+559件
栄養管理計画書		4,679件			+611件
集団栄養相談教室	プレママ	0回			—
個食対応		1,025件			+1件

※緩和ケア診療対象の患者に対して行う個食対応は、個別栄養食事管理加算件数として数える

(1) 目標栄養指導件数1,704件(前年度件数)に対し、1,870件実施。目標達成率約109%

実施件数は前年比で+166件と大幅に増加した。

<令和7年度目標>

1. 栄養管理及び栄養指導の技術向上
2. 調理技術向上
3. 業務改善及び効率化
4. NST加算実施件数UP

臨床工学技術課

【課長】 橋本 健一(臨床工学技士・医療機器安全管理責任者
医療安全推進室員・特定高圧ガス取扱主任者・日本DMAT)

【係長】 早坂美智子・中山 彩

【課員】 塩澤 将太・村上 風太・齋藤 巧・佐久山 歩

<令和6年度実績>

◆臨床業務

- アンギオカテーテル業務 ・心臓 417件(PCI 224件)
 - ・末梢血管EVT 7件
 - ・心嚢ドレナージ術 4件
 - ・IVCフィルター 2件
 - ・脳血管 132件(造影・コイル他)
 - ・肝臓 29件(TACE他)
- 心臓ペースメーカー業務 ・新規埋込み術・電池交換術 52件
 - ・植込み型ペースメーカー外来：指導管理料 2,340回
 - ・体外式ペースメーカー管理料 66日
- 心臓手術(人工心肺業務含む) 6件
- 自己血回収装置業務 10件
- 補助循環装置管理料 ・IABP 16日
- 血液浄化アフェレーシス療法業務 39回(HD・CHDF・DHP・腹水濾過再静注)
- ラジオ波腫瘍焼却術(RFA) 6件

●手術室業務

●内視鏡室業務

◆医療機器管理業務 (医療機器安全管理料1算定)

●中央管理・点検業務

輸注ポンプ・人工呼吸器・除細動器・全身麻酔器・閉鎖式保育器・血液透析装置
補助循環装置(IABP・PCPS)・ペースメーカー・パルスオキシメーター・
生息情報モニター・低圧持続吸引器・電気メス など

●医療機器研修会開催 5回(病棟単位での研修会含む)

◆参加委員会 等

- 医療安全推進室
- 医療安全推進委員会
- 医療ガス安全管理委員会
- 医療機器整備委員会
- HCU運営委員会
- 手術室運営委員会
- ER運営委員会
- 災害対策委員会
- 省エネ委員会
- 医療情報システム委員会
- NESスタッフ

<令和7年度目標>

- 1)管理機器における点検表の整備
- 2)各臨床業務分野における知識・技術の向上



28. 看護部

看護部目標(2024年度～2026年度)

1. 倫理観のある心温まる看護を提供し、看護の質の向上を図る。
2. 急性期医療から生活の場への移行を推進し、地域における役割を果たす。
3. 生涯学習活動を通し、働き続けられる職場を作る。
4. 病院経営に積極的に参画する。
5. 時代の変化に即応できる赤十字看護師を育成する。

2024年度 短期目標

1. 入院時から退院後(生活の場)を見据えた継続的な質の高い看護を実践する。
 - ・多職種カンファレンスの充実
 - ・高齢患者のADLの維持と悪化防止
 - ・退院支援力の向上
 - ・PFMとの連携強化
2. タスクシフト/シェアを推進し、看護の専門性を発揮する。
 - ・効率的な業務改善
 - ・看護補助者の共育と協働
3. 新人教育、現任教育の継続的な支援と評価に取り組み人材育成と定着を図る。
 - ・目標管理および面接を活用した計画的なキャリア支援
 - ・中堅看護師の育成支援

管理者配置

2024年4月

看護部	看護部長	車田 真美
	看護副部長 (ベッドコントロール)	岩崎 睦子
	看護副部長兼看護師長	武井 明美
	看護師長(教育担当)	國分 花子
	褥瘡管理者(看護係長)	佐藤 美絵 (皮膚・排泄ケアCN、特定行為研修修了者)
外来	看護師長 1F外来	渡邊あゆみ(救急看護CN)
	看護師長 2F外来	安達 明美
	看護係長	小林 洋子 萩原 暁美 野地 静香(がん化学療法看護CN)
HCU	看護師長	鈴木 安英 (クリティカルケアCN 特定行為研修修了者)
	看護係長	菅野智恵子
3病棟	看護師長	武田 里美
	看護係長	吉田 和恵(感染制御実践看護師) 國分 朋子 田島 一樹(慢性心不全看護CN)
4病棟 産科・婦人科外来 助産外来	看護師長	柳田 美穂
	看護係長	齋藤 幸恵 大槻 里美 橘 智寿子
5A病棟	看護副部長兼看護師長	武井 明美
	看護係長	佐川奈美子(認知症看護CN) 佐藤 裕子
5B病棟	看護師長	三浦 将克 (脳卒中リハビリテーション看護CN)
	看護係長	八木沼裕子(摂食嚥下障害看護CN) 北原奈緒美(皮膚・排泄ケアCN)
6A病棟	看護師長	清和 彩子
	看護係長	鈴木 牧子 安藤 敦子
6B病棟	看護師長	菅野いづみ
	看護係長	今野 暁子(慢性呼吸器疾患看護CN)
手術室 中央材料室 麻酔科外来	看護師長	泉 弘子
	看護係長	三浦 愛(感染制御実践看護師) 本田 祐子
訪問看護ステーション	所長・看護師長	齋藤 泉

2024年度 看護部委員会・部会 メンバー表

委員会・部会	看護部 相談担当	委員長	副委員長	開催日	HCU	3	4	5A	5B	6A	6B	外来	手入室	訪看
看護記録委員会 重症度、医療・看護必 要度部会	武井副部長	片平 真由	野地係長	第3火	佐藤 智子	高島 恵子	阿蘇由美子	上杉 梢	保住 朋美	箭内 良磨	渡辺 和恵	小林 理恵		
		菅野係長	田島係長	適宜	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長	菅野係長
クリニカルパス部会	武井	野木 拓美	今野係長CN 本田係長 萩原係長	第1金	渋谷七夏海	中村 留美	渡邊 泰昇	佐藤重梨沙	武田 良平	中沢 利樹	近藤 沙織	佐久間由美子	三浦係長	
医療安全リンクナース会	岩崎	北原 麻美	吉田係長 三浦係長 北村CN	第3金	佐藤 典子	菊田 純子	南 栞	菅崎 遼人	菅野 麻衣	金内 杏美	成尾ありさ	本田 賀絵	安田みどり	
感染対策リンクナース会	岩崎	佐々木莉乃	佐藤係長CN 齋藤幸係長	第4火	菅野 陽子	渡邊由美子	野田 康代	近野 直人	佐藤 香葉	本間 香織	梅宮 誠	志賀 慶子	中村 広子	
褥瘡対策リンクナース会	岩崎	高橋 健太	小林係長	偶数第2火	長瀬 海	清野 薫	丹治 悠磨	美咲 金澤	吉田 忠彦	宗像 茜絵	森田 直子	庄子 大志		
災害対策リンクナース会	國分	芳賀 幸奈	橘係長	第3木	菅野 忍	金澤 愛美	高橋 由季	渡邊ちひろ	伊佐見知美	穴戸まどか	寺島真由子	伊藤紗也加		
CSリンクナース会	武井	渡邊 厚子	北原係長CN	奇数第1水	野崎 美砂	赤井みゆき	菅野 綾子	朝倉 恵実	高島 詩織	飛田 依麻	神尾 泰子	今野 歩美	黒沢真由美	
認知症ケア部会	武井	大室美由樹	小松CN 新國CN	奇数第2火	東 由香里	我妻 美咲	三次あやみ	大槻 真里	菅野 里子	小松真由子	新國 智子	八巻 美沙	高橋美千代	
エントドアブライフェケア部会	武井	伊藤 廉	八木沼 係長CN 佐藤裕係長	偶数第2木	伊藤 廉	齋藤 美保	尾形 晴香	佐藤 祐子	齋藤 文子	堀切 智子	佐藤 要子	高橋 潤		
摂食・嚥下障害ケア部会	武井	日黒 奈央	菅野智係長 國分係長	第1木	松野 祥子	渡邊 君枝	菊地悠示郎	長沢 恵	吉田 圭吾	鈴木明香里	吉内 絵美	高野 都		
新人教育委員会 臨床実習指導者会	國分	江畑 聖也	田島係長CN 安藤係長	第2金	江畑 聖也	丹野 彩花	野坂 雄史	布施美奈子	斎藤 祐香	八巻 歩美	菅野 奏	鈴木 直人		
現任教育委員会	岩崎	菅野係長	鈴木牧係長	係長会開催時	菅野係長	齋藤係長	佐川係長	八木沼係長	鈴木係長	今野係長	萩原係長	本田係長		
看護基準・手順	國分	菅野係長	看護部係長	ラダーI：新人教育担当	ラダーII以上：現任教育担当									
キャリア開発ラダー 推進部会	國分	看護部長 教育担当	看護副部長 教育担当											
実践者キャリア開発ラダー 認定委員会	國分	看護部長	看護副部長 師長		鈴木師長	武田師長	柳田師長	武井副部長	三浦師長	清和師長	菅野師長	安達師長 渡邊師長	泉師長	齋藤師長
管理者ラダー認定委員会	岩崎	菅野師長	武田師長	第2木	阿部美代子	伊藤ヒサ子	麻紀 橋	佐藤留美子	高野 遥香	菅野師長	高野 遥香	安達 明美	橋脇 聡美	
看護補助者会	車田	清和師長	安達師長	必要時	安藤 沙紀	角田 恵	岡崎 未紗	佐藤 幸恵	佐久間 彩	高野 遥香	佐久間 彩	安達 明美	橋脇 聡美	
職能団体連絡委員会	岩崎	國分師長	鈴木牧係長	必要時										
看護研究	國分	看護部長 教育担当	看護副部長 教育担当	必要時										
看護部倫理委員会	國分													

看護補助者会担当	菅野いづみ	武田 里美	看護補助者会の運営	研修会の企画運営	夜勤補助者の勤務表作成	補助者採用時の補助
医療監査担当	安達 明美	柳田 美穂	保健所監査、厚生局監査受審に向けての準備・調整、受診後の報告記録			
コスト担当	泉 弘子	清和 彩子	コスト削減に向けての取り組みの発信	SPDの適正な管理の確認	省エネ委員会の出席	

2024年度
師長会担当

2024年度 看護部委員会・部会の目標 最終評価と課題

委員会・部会	目標	最終評価	次年度の課題
看護記録委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患と看護観察項目の一貫性が担保され、継時記録、SOAP 記載によるアセスメントの向上を図る。 2. 入院から退院を見据えた継続看護の必要性を看護サマリーでつなげる。 3. 重症度医療看護必要度の内容を理解し看護ケアに反映できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護記録監査において入力方法、周知方法に問題があると考え、全スタッフへ「看護記録ニュース」としてマイページにて発信した。「看護記録ニュース」計3回発信。 2. SOAP記入に置いて各病棟の事例を検討し委員の中で再度検討を重ねた。SOAP記入の定着ははかれてきているが、アセスメント力が弱い。 3. 転院時にサマリー記入は出来ているが、今後の状況を踏まえ全症例サマリー記入へシステム構築が必要になると考える。 4. 看護必要度 例年2度の研修及びテスト実施。インストラクター研修11名取得。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 業務において看護記録に費やす時間が多く記録の整備が必須である。経過表、テンプレート、エクスセルチャートと重複の見直しを図る。 2) 看護記録監査方法、内容の見直しをシステム課と構築する。 3) SOAP記載内容の検討、アセスメント力向上に繋げる。 4) 看護サマリイの内容及び簡略化 5) クリニカルパスの内容に関しパス部会と協働し取り組んで聞く。
医療安全リンクナース会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を安全に提供するためにリンクナースのリスク感度を高める。 2. 安全な看護を提供するためにスタッフ教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全ラウンドの視点(転倒転落の視点)をリンクナース会メンバーで話し合いチェック表を作成し、毎月各部署をラウンドした。ラウンドの結果をリンクナース会で共有、改善点を話し合い、まためた用紙を配布し各部署で管理者やスタッフと情報共有した。 ・自部署のヒヤリハットの事例からリンクナース会で共有したいものを選び改善策を話し合った。部署共通の食止めの表示作成や正しいダブルチェックの方法をDVDを見て共通理解した。 ・KYTを各部署で一事例行いパワーポイントにまとめ、リンクナース会で発表し情報共有を行った。 ・看護協会の安全に関する研修にリンクナースが参加し内容についてメンバーへ伝達を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全ラウンド、ヒヤリハットの共有、KYT訓練を引き続き行い、リスク感度を高めていく。 ・ヒヤリハットの事例から各部署一事例なぜなぜ分析を実施しリンクナース会で共有する。改善策を一つ以上あげられるようにする。 ・新人研修にファシリテーターとして参加し新人と共に学びを共有したり、院内外の研修に参加し伝達講習や情報共有することでリンクナース個々の安全に関する知識を深めていく。
感染対策リンクナース会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準予防策・感染経路別予防策を行い感染対策の徹底を図る 2. 感染対策教育を通して感染対策の充実を図る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手洗いチェックを2回/年実施(実施率100%)手洗いの重要性を手技の確認を行った。 2. 個人アルコール製剤使用量平均131ml(昨年度より50ml程度減少)また一患者あたりのアルコール製剤の使用回数平均7.62回。 3. 手指衛生の遵守率の直接観察は64.2%、タイミングでは患者に触れる前の実施室が低かった。 4. 環境チェックは前期平均78%、後期92%。同様項目の指摘が多い(ミキシング台、感染性破棄容器の廃棄方法など)。 5. 防護具着脱チェックは実施率100% 6. e-ラーニングの受講率は100% 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手指衛生のスローガンを「～する前に手指衛生」として実践 2. 手指衛生の遵守率の直接観察を継続しリンクナースが指導しアルコール製剤の使用量、使用回数の増加 3. 環境チェック(自部署、他部署)を継続し部署内の改善を目指す

委員会・部会	目 標	最終評価	次年度の課題
褥瘡対策 リンク ナーサス会	<p>1. 安全・安楽な療養環境を提供するため、褥瘡予防・治療ケア実践記録の定期的評価</p> <p>2. 多職種と共に褥瘡予防・治療の実践し、ケアの質を向上</p>	<p>1-1 [週1回の定期評価実施率] 今年度は特に看護計画評価実施率の上昇を目指した。評価日の翌日に対象カルテを確認し周知行った状況で、平均98.3%(前年度98.4%)と昨年度と大きな変化なし。</p> <p>1-2 [DVT予防機器観察記録の実施率] 医師指示確認不備はもちろんだが、着用前の観察不備を無くし安全実践を目指した。医師指示不備(処置算定不備)は40件(前年度108件)、着用前記録不備率は2月現在15.5%(前年度74.9%)と低減できたが、記録不備はまだまだ多い状況。</p> <p>2-1 [部署内の症例提示・検討] 病棟・手術室8部署が、自部署内の症例を委員会内でプレゼンテーションを行い他職種と情報共有を行った。</p> <p>2-2 [除圧ケアの実践] 夜間の体位変換方法にスモールチェンジ法を導入し現状調査中。褥瘡総発件数はやや減少したが、昨年度より踵骨褥瘡発件数が2月現在23件(昨年度20件)と増加。</p>	<p>1. リスクアセスメント・実践記録等の記録実施状況は、毎月の委員会週知と部署内伝達は継続。次年度は褥瘡ケア院内認定看護師養成研修を行い、部署内で実践・指導できる看護師を増やす。</p> <p>2. 褥瘡予防・治療ケアの実践を言語化し伝える能力や、他部署での情報共有を行う場とし症例報告を継続。</p> <p>3. 夜間の安眠等、対象に応じた除圧ケア・排泄ケアを実践する。</p>
認知症 ケア部会	<p>各部署の看護師が認知症ケアに関する学びを共有し、尊厳ある看護が提供できる</p>	<p>・年度末には認知症アセスメントシートフロート通りの作成が100%となった。認知機能低下があってもシートが作成されないことがあった。</p> <p>・患者の視点に立ち言葉をアセスメントすることが出来るようになっていくが、部署によって差がある。適切なアセスメント内容、院内の成功事例を共有し、各部署で身体拘束解除に向けたカンファレンスが実施できるよう取り組みを継続していく。</p> <p>・認知症ケアに関する3項目のeラーニング受講を全職員へ実施した。3月時点で受講、テスト100点実施100%達成はできなかった。</p>	<p>・認知症アセスメントシート兼評価シートをフロート通り作成することが継続できるよう、また認知機能が低下のある患者へのシート作成が抜けのないよう引き続き声掛けを行っていく。</p> <p>・身体拘束最小化に向け、患者の視点に立ったアセスメントができること、身体拘束を第一選択とすることなくケア内容を検討できるように活動していく。</p>

委員会・部会	目 標	最終評価	次年度の課題
エンドオブケア委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期の事例を振り返る事でエンドオブケアの質の向上に繋げる事ができる。 2. エンドオブケアと緩和ケア委員会(緩和ケアチーム)が連携した活動を行う事で質の高いケアが提供できる。 3. 終末期看護ケアの質の向上に向けて、部員が働きかけていける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期患者の事例を作成し、各部署で作成した事例を元にカンファレンスを実施した。各部署で実施したカンファレンスの内容を部会内で情報共有と意見交換を行った。最終的に部署へ伝達し部署での反応を評価する予定だったが、カンファレンス開催の時期が遅く、年度内に来なかった。 ・自部署で困っている事例を部会内で話あい、自部署に伝達することと、部会メンバーが主体となって問題解決を実践できた。 ・新人研修の終末期看護を担当し、新人看護師が終末期の患者に対して普段悩んでいる事や困りごとの共有をすることで対応について学ぶ事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部会が終末期看護の質向上のため、部会メンバーが自部署で主体となり、ケアを実践する力を身に付けられる場になるよう学習の機会を作る。 ・EOL部会メンバーと緩和ケアチームの連携した記録データを収集し、活動内容を可視化しやすくすることとで部会メンバーのやりがいに繋げる。 ・新人研修の終末期看護を目的に沿った内容で継続して開催する。
摂食・嚥下障害ケア部会	食を通して病気と向き合う患者の心身を支えていく <ol style="list-style-type: none"> 1. 摂食嚥下障害看護における知識と技術の維持と向上 2. 食における倫理的感受性を高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・部会メンバーを中心に部署でPOTT伝達研修を行った。各部署100%伝達講習を行うことが出来た。 ・摂食嚥下に関する選定したeラーニング受講を全看護職員へ行った。3月末日時点で100%は達成できなかった。 ・各病棟の事例報告を部会で言い、意見交換・情報共有することが出来た。 	摂食嚥下に関するスクリーニングや食事姿勢など基本的な技術を、根拠をもって安全に提供されるように、継続して周知していくことが重要である。
現任教育委員会	<ol style="list-style-type: none"> I-1. 看護実践者としての能力の向上を目指す 2. IVナースの研修会の運営を行い、適切な知識、技術をもった看護師を育成する 3. 急変時対応に必要な知識技術を習得できる II-1. 3年目看護師が事例を振り返り、自己の看護について学びを深めることが出来る 2. 看護研究を通して看護の質の向上を図る III. 質の高い看護を提供するために院内の看護基準・手順を整備する 	<ol style="list-style-type: none"> I-1、2、3に対して、予定通りの研修内容を実施できた。看護部の目標に沿った研修を実施できた。レベル別研修では、キャリア開発ラダー取得予定者は受講できている。2、3年目の看護師に対してローテーション研修やフォローアップ研修を実施し、救急から病棟、在宅までの継続看護を学ぶ機会とできた。3の急変時対応の研修について、前後期とも予定より遅れて実施した部署が多かった。 II-1について、3年目看護師に対してのケースレポートでは、教育委員メンバーや部署スタッフの指導もあり、一事例の看護過程の展開をまとめ発表でき、学びを共有し看護観を深めることができた。 IIIに対しては今年度看護計画に見直しリストを作成した。来年度作成予定である。 	看護部目標に沿った研修プログラムを実施するにあたり、研修目的・目標の設定や実施方法、頻度、参加対象、成果の評価等を検討していく必要がある。 部署毎に行う勉強会や急変時対応の研修について、教育委員メンバーだけでなく、いかに部署スタッフ全員で学ぶ環境をつくっていくけるかも課題となる。 看護基準・手順について、来年度は看護計画の見直しと指示の紐付け作業を進めていく必要がある。

委員会・部会	目 標	最終評価	次年度の課題
キャリア開発 ラダー 推進部会	<p>推進メンバーが質の高い看護を提供できる看護師を計画的に育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践者ラダー認定者は34名で、申請予定者全員が実際に申請し認定を受けた。 ・I 15名 II 13名 III 6名(管理 I 2名) ・前年度作成した手引きを活用し、実践者ラダー(レベル I)取得を目指すスタッフ支援に繋がることができた。 ・書類提出期限の遅れはあったが、「実践者ラダー申請日程表」をもとに、同僚評価会の86%を予定月に実施できた。 ・推進メンバーへ部署内で相談するよう声掛けし、年度初めに各部署のラダー申請計画を提出し、計画的な申請ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書類提出期限の遅れがあり、引き続き「実践者ラダー申請日程表」を活用し期限内の書類提出を促す必要がある。 ・認定会開催月の偏りがないように、次年度も、提出された各部署のラダー申請計画をもとに院内計画を作成し、計画的な申請を行う必要がある。
新人教育 委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人看護教育計画に沿って教育研修を行い、新人看護職としての基本的姿勢・態度・基礎看護技術の習得を支援する 2. 実習指導に必要な知識・技術・態度を習得し効果的な実習指導ができるよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間教育研修計画に沿って実施し、看護実践能力に活かすことを目的とした看護技術研修、アセスメント能力の向上を目指したフィジカルアセスメント研修、ペア受け持ち制を継続して実施した。 ・新人個々の学習・社会適応状況、心理面の把握に努め、進捗状況を確認しながら指導した。フォロワーアープ研修や自身を振り返る時間を確保し、心理的サポートが出来るよう取り組んだ。 ・新人教育委員会メンバーが基礎看護技術研修に参加し自分の指導方法を振り返ることができた。 ・定期的なプリセプター研修を開催し、指導方法や関わり方についての悩みや不安、情報共有を行った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度の新人看護師の特徴や看護教育、医療体制、福祉の動向を踏まえた集合研修を企画・運営する。 2. 厚生労働省の基準に沿った看護技術項目の見直しとナーシングメソッドの活用方法についての見直しを行う。 3. 新人看護師の精神的サポートを強化するために、支援体制の見直しとフォロワーアープ研修の内容を検討する。 4. 臨地実習の目的、内容、実習指導者が求められる能力や指導方法について研修を行い、教員と連携して実習をサポートする体制作りを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・OJT実施報告書の提出状況が部署によって差があるため、適宜提出を促していく。

委員会・部会	目 標	最終評価	次年度の課題
災害対策 リンク ナーズ会	スタッフの減災意識を高め、災害発生時において患者の安全を図り迅速かつ円滑な対応ができるようにする。減災、救護活動に必要な知識と技術の習得を支援し、常に救護体制を整備する。	常に連絡網は最新のものに更新するように整備し、例年通り伝達訓練を実施し、結果をフィードバックすることが出来た。リンクナーズを中心に、毎月日常における災害対策チェック、防災チェックを実施。災害パトロールを通じて各部署で出来ていなかった箇所を改善するよう啓蒙した。災害用備品の整理整頓、5S活動を実施。院内防災訓練の参加、院外の災害訓練等に多く参加することが出来た。救護員養成研修を計画的に開催し15名の救護員が研修過程を終了し、登録予定である。院内災害訓練では、多数傷病者訓練を実施し多職種と連携して活動した。	継続した防災設備の点検、パトロールを実施する。救護資機材の見直し、整備していく。院内外の救護訓練等の参加の協力をする。令和7年度も救護員養成研修の運営を行う。災害救護活動の要請があれば、看護部救護員の調整を図り活動する。活動後の振り返り、必要時改善策を検討する。院内災害訓練の振り返りから、看護部災害リンクナーズへ周知し実践に生かす。
CS委員会	接遇マナーの向上を図るとともに、患者様やご家族のご意見をもとに優しく安心して病院をめざす	患者サービスマネジメントのご意見をもとに、アメニティーの改善、空気清浄機の設置などの改善を実施した。スタッフの身だしなみチェック、接遇研修を実施し、接遇マナーの啓蒙をすることができた。	今後も継続して、患者様のご意見をもとに改善に取り組み成果を上げる。またスタッフの身だしなみ、接遇マナーの向上と啓蒙活動に努める。
看護補助者会	1. 他職種と協働し、安全で安心な療養環境を提供する 2. 感染対策を徹底した療養環境を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自ナーシングメソッドの聴講とテストを実施し、看護師の指導の下安全で安心な直接ケアを提供できるよう知識の確認を行った。また、集合研修の後レポート提出とし、振り返りを行った。各部署で直接ケアを看護師と共に安全に実施できていた。 ・ タスクシェア/シフトについてグループワークで話し合い、自分たちが出来るタスクシフト/シフトについて考えた。また、それを実践できたか最終で振り返った。 ・ 部署統一の医療材料物品票作成に取り組んでいるが、まだ完成には至っていない。今年度の取り組みをまとめ東北ブロック看護補助者研修で発表した。 ・ 療養環境を整えるため、各部署で5S活動を行い1年間の活動をまとめ発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナーシングメソッド聴講、テスト、集合研修後の振り返りレポートを継続する。必須項目以外の教育内容を検討する。 ・ 看護補助者の教育プログラムに準じて研修や技術チェックを行い個々の知識、技術の向上を図る。 ・ クラーク業務の見直しと医療材料物品票作成、運用を小集団活動で実施する。 ・ 自部署の環境整備に関する課題を見つけ、5S活動を継続する。
コスト削減 省エネ担当	用度施設課と協働しコスト削減・省エネ活動を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月各部署で省エネパトロールを実施し、無駄を指摘された箇所の改善に取り組んだ。 ・ 診療材料の事故伝票の提出データから、無駄になった材料費が減少している事がわかり、コスト削減につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネパトロールの内容や消費エネルギーの現状を部署間で共有し、お互いに省エネに対する意識向上に繋げる。 ・ 診療材料事故伝票の提出を徹底する。

2024年度 看護部各部署の目標 最終評価と課題

部署	目標	最終評価	次年度の課題
HCU	<p>急性期医療・重症集中医療を要する患者に対して、適切な医療・看護を提供する。</p> <p>1) クリテリカル領域における専門的知識・技術の向上を図り、適切な看護を展開できる。</p> <p>2) クリテリカル領域から退院後の生活を見据えチームレスな看護を提供できる。</p> <p>3) クリテリカル領域に則した職場環境を整える。(5S、タスクシェア)</p>	<p>1) 専門的知識の普及として、人工透析(CRRT、HD)、アフエイレインス)、人工呼吸器の基礎、看護、VAP予防、生命維持装置などクリテリカルケアを実施する上で必要な項目だけでなく、リファイディングシンドローム等の新しい研修等も学習した。</p> <p>2) HCU単独の看護だけでなく、チームでケアをしていく上での考えやケアを統一するためカンファレンス方法や、事例検討などの実施方法を作成し実施することが出来た。</p> <p>3) 働きやすい職場環境の整備のため物品配置等を随時変更し周知することが出来た。また、必要物品の見直しを適宜実施し、特殊物品を除く不動態在庫は5%以下とすることが出来た。</p>	<p>クリテリカルケア領域経験年数の若年化に伴い知識・技術の学習を主眼として3年計画の2年目となった。来年度の前半も引き続き、異動者、新人看護師等に対しての学習環境の提供を進め、病棟全体としては学習した内容を患者アウトカムの向上に繋がるようにしていきたい。VAP・VAE発生率の改善・維持、早期リハビリ介入しBI向上、早期栄養の介入などアウトカム向上に繋がるように進めていく。その為にも、働きやすい環境の維持、チーム医療の推進なども合わせて継続していきたい。</p>
3病棟	<p>患者・家族に寄り添った尊厳ある質の高い医療と看護を提供する。</p> <p>1. 個別性のある質の高い看護を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定チームナームシグを理解し、実践する。 ・ 患者、家族の意思決定を支援する。 ・ 倫理的視点を高め、患者の安全、安楽な看護を提供する。 ・ アセスメント能力と看護実践能力向上を図る。 <p>2. 多職種や地域と連携した入退院支援を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カンファレンスを充実させ、協働性・継続性のある看護を提供する。 ・ 職種と協働し、患者、家族のニーズに合わせた退院支援や退院指導を実施する。 ・ 外来と連携し、継続看護を実践する。 	<p>1. 意思決定支援の学習会や事例検討を実施し日々の看護の中で受け持ち看護師の役割を発揮できるようになり、固定チームナームシグの受け持ち看護師の役割についての自己評価が前期から後期で上昇した。</p> <p>チームで事例を振り返り、まとめ、院外で発表したことはスタッフの学びとなり看護の質の向上につながった。</p> <p>計画的に各科の学習会を開催、定期的に変時シミュレーションを実施しアセスメント能力向上を図った。学習会ではメンバーが講師となったことで教える側の学びにもなった。</p> <p>困難な症例に関して、多職種と協働しカンファレンスや退院指導を重ね自宅退院を迎えることができた。また、退院後ZOOMカンファレンスを実施し自宅での様子を確認でき継続看護の必要性の理解とスタッフのやりがいに繋がった。</p> <p>外来スタッフのカンファレンス参加や退院患者の情報共有の場を作り、患者の思いに寄り添う継続看護に努めた。</p> <p>看護補助者とミーティングを密に行い、積極的にコミュニケーションを図り、看護補助者と共に直接ケアを行ったり分りやすく業務依頼をすることで協働できるような努めた。</p> <p>朝のミーティング方法を変更し、夜勤スタッフの時間外業務の減少に取り組んだ。今後データ化して評価していく。</p>	<p>1. 受け持ち看護師の役割についての自己評価で上昇しなかった項目について分析し上昇するよう活動する。特に受け持ち看護師発信のカンファレンスが実施できるようカンファレンスの方法を見直す。事例検討やカンファレンスを重ね看護の振り返りを行い看護の質の向上に努める。変時対応とアセスメント能力の向上のため急変時シミュレーションと学習会を継続する。院外研修にも積極的に参加する。</p> <p>2. 退院支援や退院指導を行った患者に対し外来スタッフと情報共有、カンファレンスを実施し継続看護を実践していく。そのためにも心不全と急性冠症候群の退院指導の質の上昇を図る。</p>

部署	目標	最終評価	次年度の課題
3病棟	<p>3. 効率的な病棟運営を図り、看護ケアの充実と働きやすい職場づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師、看護補助者が協働し、タスクシフト／シエアを実践する。 ・積極的な業務改善と応援体制を整備する。 		<p>3. 自部署を分析し、積極的に業務改善を行い、時間外勤務時間の減少につなげ経営改善に参画する。看護補助者と定期的に話し合い、問題があれば解決できるような取り組み、協働を推進する。</p>
4病棟	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者様と家族の意思決定を支援し、多職種や地域と連携した退院支援をする。 2. 専門的知識の習得と倫理的視点、アセスメント能力の向上を図り、質の高い看護を提供する。 3. 働きやすい職場環境の整備と効果的な業務改善を行い、よりよい療養環境を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師の役割を果たすため、行動基準の作成、周知を実施した。また受け持ち看護師主体のカンファレンスを実施することから、役割行動のアンケートの結果で、後期にはスタッフ全員が役割を理解し行動することが出来ていた。 ・婦人科においては、外来と病棟の連携を図り、患者の情報共有や継続看護を強化することで個別性のある看護を提供した。 ・身体拘束に伴う倫理カンファレンスでは、カンファレンスの定着化とアセスメント能力の向上を目指した事例検討を実施した。 ・婦人科クリニカルパスの見直し、患者指導のリーフレットを作成し、業務の効率化を図った。 ・看護師、看護補助者、クラークの業務内容とタイムスケジュールの見直し、タスクシフトや業務改善を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師の役割意識の向上、カンファレンスを定着させることが出来たため、今後は多職種を含めたカンファレンスの充実を図り、患者家族の意思決定支援を実施する。 ・働きやすい職場環境の整備、安全で質の高い看護を提供するために、現状分析を行い、業務改善と看護補助者やクラークとのタスクシフト・シエアを強化していく。
5A病棟	<ol style="list-style-type: none"> 1) 受け持ち看護師としての役割を實施し、患者の個別性を大事にする。 2) 個々の患者背景を考慮した安全で安心な療養環境を常に心掛け、転倒や感染を予防し、患者が快適な療養生活を送ることができている。 3) 看護師自身の考え、思いを言葉にして伝え、認めあえる職場環境をつくる。 	<p>病棟目標に対し小集団活動として細やかに取り組むことができた。アクションプラン9項目中A評価4項目、B評価4項目とすべてが達成し、それぞれ成果につながる結果となった。これらは受け持ち看護師としての役割を果たすために自己評価・他者評価を行い可視化した点が必要の一つになると考える。今後もカンファレンスの定着など維持、継続しながら取り組んでいきたい。</p> <p>人材育成として多くの研修に参加することができた。その分、日々のマンパワー不足も生じるようになった。業務改善を行いながら協働体制を強化し、運番業務からのこり番業務へ協力が得られ、また看護補助者やクラークとの連携も構築できたことで週休消化、有休6日間は確保できた。</p> <p>医師とのコミュニケーション不足(電子カルテ内でのやりとり)から、信頼関係の構築に支障をきたしている。内容の分析が必要と考える。</p>	<p>現在取り組み合せていた内容を維持継続し、状況に合わせて見直しを定期的に行っていく。</p> <p>チーム会・リーダー会・病棟会において検討を重ねていく。</p> <p>医師をはじめ多職種との対話を増やし患者、家族の思いに支障できるような連携強化を図るための手段を検討する。</p> <p>明るく、楽しく、規律のある働きやすい職場、心理的安全性がある職場環境を目指す。</p>

部署	目標	最終評価	次年度の課題
5 B 病棟	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者、家族の自己決定を尊重した看護を提供する。 2. 受け持ち看護師の意識を高め、個別性のある看護を提供する。 3. 作業効率を考慮した物品の配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援カンファレンスを週間業務にとりいれ、多職種と情報共有をおこない、患者・家族の意向を反映した入退院支援を行った。 ・受け持ち看護師を中心に事例の振り返りを行い、成功体験やジレンマを共有した。前期・後期にアンケート調査を行い、看護のやりがいに関して65%から85%への向上を可視化できた。 ・多職種とケアカンファレンスを行い、個別的看護ケアを看護計画に反映した。入退院時ADLは、受け持ち看護師とセラピストで評価を行うように計画したが、調整がつかないこともあった。 ・泌尿器科短期クリニカルパスの見直しを行い、業務の効率化を行った。アンケートから看護業務の負担軽減になったことが可視化できた。 ・リネン棚の整理を5S活動し、作業動線の向上、効率化を看護師と看護補助者で行うことができた。 	<p>カンファレンス・記録・ケアにかかっている時間を十分に確保できるように業務改善を行っていきたい。</p> <p>小集団の取り組みに対する意欲や努力に差が生じている。関わる担当者主体性をもって行動を喚起できるように意図的に働きかけて行く必要がある。</p>
6 A 病棟	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベッドサイドケアを充実させ、患者の満足度向上につなげる。 2. 医療者間での情報共有を積極的に図り、患者ケアを統一し充実させる。 3. 感染を意識し患者の心に寄り添えるよう傾聴できる心を常に持ち環境整備を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師に対するアンケート調査を実施したが、結果を示すのに留まり評価や今後の実践内容に繋げることが出来なかった。 ・患者レベル0のヒヤリ・ハット報告を推進し、医療安全に対する意識の向上に努めた。内服薬の管理に対するヒヤリ・ハット報告では、患者レベル1以上の報告を減少する事ができた(0)。 ・循環器疾患についての勉強会を循環器の医師に依頼して、今年度4回コースで行った。 ・看護補助者によりナースピットにある物品の整頓を行い、患者が日中活動できるスペースをつくることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師が受け持ち患者と関われる仕組みを考え、受け持ち看護師としての自覚を持ち、受け持ち患者へのケアを意識して行う体制作りが必要と考える。 ・様々な疾患患者に対応できる看護師の育成を考え実践する事が必要である。 ・看護師と看護補助者、クラークとの連携や協働業務をお互いに意識して強化していく必要がある。
6 B 病棟	<p>多様な専門性を持つ職種と連携し、患者の状況に対応した倫理観のある医療と看護を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周術期看護の統一したケアを提供する。 2. 受け持ち看護師の役割を理解し看護を展開する。 3. カンファレンスの充実を図り、退院支援を充実させる。 4. 部署内の教育環境を整え、専門的知識とアセスメント能力の向上を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外科チームでは多職種で検討し術前術後オリエンテーション用紙を作成し運用できた。内科チームでは内視鏡治療前後のチェックリストを作成・運用し統一した説明や指導ができた。新人看護師はストーマケア画像視聴して理解できているが技術チェックは実施できなかった。 2. 各スタッフが前期中期後期1事例ずつ、受け持ち看護師の役割について自己評価・他者評価を実施しスタッフへのフィードバックができた。 3. 外科チーム、内科チーム共にデスカンファレンスと倫理カンファレンスについて理解を深め、計7事例と3事例実施でき、病棟内で共有することができた。 4. 急変時シミュレーション2回・TACE・NPPV・鼠径ヘルニア・術後合併症・抗凝固剤ピロイ・認知症と予定以上に実施できた。他にもクリニカルパス見直し6件、夜間体位変換の業務改善を行うことができた。 	<p>今年度は、外科チーム内科チームで同じ目標に対するアクションプランを作成して取り組み、成果を感じる事ができた。年度末から、部署方針に先駆けて外科患者を両チーム同じように配置した固定チームナーシングに取り組みは始めている。申し送りなが長めで早めの外科回診情報もあって朝のミーティングの効果的な短縮が急がれる。ヒヤリハットでは、麻薬の内服と注射・患者間違い・手術日のインスリン投与・硬膜外持続注入に関するもの等発生している。新しいチーム体制で安全な業務ができるよう病棟運営に取り組みたい。</p>

部署	目標	最終評価	次年度の課題
訪問看護	<ol style="list-style-type: none"> 在宅療養者の個々のニーズを捉え適切なプランを立案し支援する 地域や病院多職種との連携を強化し総合的なケアを提供する 継続的な教育と業務の効率化を図り看護の質を向上させる 	<ol style="list-style-type: none"> 今年度は意思決定支援のための倫理カンファレンス開催と意思決定支援が十分に反映される看護計画の標準化を行うことができた。倫理カンファレンスは5例実施でき、病院認定看護師・地域の多職種参加が各1例実施できた。利用者の問題点を明確に抽出し、様々な視点から実現可能な解決策を見出し意思決定支援につなげることができた。 施設利用者への訪問看護の需要が高まっている現状があり、施設職員や地域の多職種との情報共有や連携強化を図るため、連携用紙を作成し運用し、成果を上げることができた。 看護マニュアルを新たに2項目作成した。業務改善については申し送りに焦点をあて、申し送り時間の短縮につなげることができた。継続的な教育については、自己研鑽での研修会参加や学習をすすめた。 	<ul style="list-style-type: none"> 倫理カンファレンスを継続する。 看護連携や地域多職種連携を強化し、カンファレンスを有意義なものとし、利用者の支援につなげていく。 地域包括ケアシステムの役割を果たすため終末期支援を充実させる。 業務改善やマニュアル作成を行い、質の高い訪問看護の提供に努める。 特定行為研修を受け、専門管理加算取得をめざす。
手術室・サプライ	<ol style="list-style-type: none"> 安全・安楽な医療・手術を提供する。(医療安全の強化・感染予防対策・多職種連携を図る) 手術看護記録の質の向上。チーム間での情報共有・アセスメント能力の向上を図る。 現任教育・新人(異動者)の教育支援。 コストを意識した物品管理を行う 働きやすい職場環境を整える。目標管理と労務管理。 正しく滅菌物を管理し、安全な医療材料を提供する。(中材) 	<ol style="list-style-type: none"> 手術室看護師の個々の差が出やすい知識や技術について部署内勉強会・シミュレーションを実施すること、急変時等の対応を迅速かつ安全に実践できるようにした。また、神経ブロックについて麻酔科医や手術看護CNによる勉強会を開催し、術前・術後訪問を通して、患者への安全な看護の提供を行った。SSIサーパーラランス継続実施し、結果を数値化した。院内の感染管理CNと情報共有し、ICT内で報告した。視能訓練士とのタスクシフト・シェアではマニュアルを作成し、手術室看護師と協働して遅延なく手術を遂行することができた。医療機器を安全に使用するために、MEと情報共有し、マニュアルを作成した。器械のセット内容を見直し、必要な器械をセット化できた。 自己・他者を対象に実施する元々全看護師が手術看護記録監査を昨年年度作成した監査記録を元に全看護師が手術看護記録監査を自己・他者を対象に実施することができた。 新しい術式(泌尿器科・外科)に対する勉強会や多職種とともにカンファレンスを実施した。医療機器・器材についても医療メーカーに依頼して、説明会を実施した。 医師変更に対応して、医療材料を見直し定数変更を行った。また使用(滅菌)期限を確認して、医師と情報共有することで、コスト削減へ繋げることができた。 曜日・科ごと・呼び出しの時間外の集計を行った。夜間・休日呼び出し等で連続勤務にならないよう可能な範囲で勤務調整を行った。 滅菌バッグの大きさを統一することで、決められた包装ができようになるようになった。 	

部署	目標	最終評価	次年度の課題
外来	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者様の退院支援、自宅療養を見据えた、倫理観の高い継続看護を提供する 2. 働きやすい職場を整え、患者様へ質の高い接遇マナーを実践する 3. 救急隊等との連携を強化し、質の高い救急看護を提供する 4. 思いやりの気持ちで、業務改善と応援体制の整備をする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の場や帰宅患者に対しても継続看護ができるような取り組み(セルフケアのためのパンフレット作成など)を行うことを行った。 2. 平均10日の有給休暇を取得するなど勤務体制の整備とともに働きやすい環境改善につとめた。 3. 救急隊との勉強会を2回開催、救急車同乗実習を実現させ、救急隊との連携を強化した。 4. 20件の業務改善を実施。曜日ごとの応援体制の強化、整備によって日々のERが運営されている。 	<p>今年度実施したことを継続させて、患者様中心の質の高い看護の提供に努めていく。そのために多職種連携やタスクシフトシェア、業務改善をさらに促進する。倫理観と接遇を意識し、丁寧であたたかい看護を提供するとともに迅速さを心がける。医師や病棟、ベッドコントロールラーとの連携も強化していく。</p>

令和6年度新人教育研修

新人看護師 22名 担当：新人教育委員会

NO.	研修名	開催日	参加人数
1	職場になじむための心構え 新人教育プログラム	4月8日(月)	21名
2	1ヶ月フォローアップ研修	4月30日(火)	21名
3	プリセプター研修	4月4日(木)	17名
4	基礎看護技術①	5月18日(土)	22名
5	NPPVの管理と看護	5月22日(水)	15名
6	他部門ローテーション研修	5月30日(木)	21名
7	3ヶ月フォローアップ研修	6月6日(木)	22名
8	基礎看護技術②	6月22日(土)	22名
9	基礎看護技術③	7月6日(土)	22名
10	医療安全研修	8月2日(金)	22名
11	基礎看護技術④	8月3日(土)	22名
12	基礎看護技術⑤	8月24日(土)	22名
13	基礎看護技術⑥	9月14日(土)	22名
14	プリセプター研修	10月10日(木)	16名
15	6ヶ月フォローアップ研修	10月10日(木)	20名
16	急変時シミュレーション	12月6日(金)	20名
17	第1期ローテーション研修	12月～1月(1名/日)	21名
18	終末期の看護	1月10日(金)	22名
19	他部署研修(内視鏡)	2月6日(木)	14名
20	他部署研修(手術室)	2月19日(水)	14名
21	1年の振り返り	3月6日(木)	22名

令和6年度(2024年度)看護部教育研修実績

1. ラダーレベルⅡ・Ⅲ相当研修

令和7年3月31日

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
急変時対応	急変時に素早く対応する能力を高める	現任教育委員会(各部署毎)	6月～3月	各部署内、シミュレーション等	162
2年目フォローアップ①	ナラティブを通して学んだ自己のケアを振り返り修正することができる	現任教育委員会	7月20日	研修棟3階 2年目看護師	14
第Ⅱ期ローテーション研修	救急医療の実際を経験することで、救急医療施設としての役割を知り、自部署での臨床看護実践に活かす	現任教育委員会	11月～1月	E R 2年目看護師	14
2年目フォローアップ②	ERローテーション研修を振り返り、メンバーシップについて学びを深める。ケースレポートをまとめることで自己の看護観を深める	現任教育委員会	3月14日	研修棟3階 2年目看護師	14
第Ⅲ期ローテーション研修	在宅医療の実際を経験することで、在宅医療の役割を知り、自部署での臨床看護実践に活かす	現任教育委員会	6月～7月	訪問看護 3年目看護師	8
3年目フォローアップ	訪問看護ローテーション研修を振り返り、メンバーシップからリーダーシップに向けて、リーダーシップスキルの理解を深める	現任教育委員会	9月27日	研修棟3階 3年目看護師	8
Ⅳナース養成研修	安全に静脈注射を実施できる看護師を育成する	現任教育委員会	6月～3月	e-ラーニング 演習	36
フィジカルアセスメント呼吸編	身体的健康上の問題を明らかにするために必要な基本的なフィジカルアセスメント能力を高める	現任教育委員会	6月14日	研修棟3階	13
フィジカルアセスメント循環編	身体的健康上の問題を明らかにするために必要な基本的なフィジカルアセスメント能力を高める	現任教育委員会	7月12日	研修棟3階	14
フィジカルアセスメント脳神経編	身体的健康上の問題を明らかにするために必要な基本的なフィジカルアセスメント能力を高める	現任教育委員会	9月13日	研修棟3階	9
フィジカルアセスメント臨床推論	身体的健康上の問題を明らかにするために必要な基本的なフィジカルアセスメント能力を高める	現任教育委員会	11月8日	研修棟3階	15
看護倫理	患者の意思が尊重され最善の意思が決定されるよう支援する能力を高める	現任教育委員会	8月9日	研修棟3階	25
グローバルヘルス	グローバルな保健医療の課題と取り組みを理解しアセスメント能力を高める	現任教育委員会	10月～12月	マイページ	249
固定チームナーシングリーダー・サブリーダー向け	固定チームナーシング小集団活動での、リーダー・サブリーダーとしての役割や自らの行動を振り返り、意見交換、共有することで自己肯定感を高める	師長会	3月18日	多目的ホール	14

2. 全体研修

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
BLS研修 ACLS研修	全職員が一次救命処置法を習得し実践できるBLSを実践するにあたって基本的な知識・技術を習得する	医療安全推進室	12月～1月	研修棟3階	277
重症度、医療・看護必要度(前期)	必要度評価の精度向上を図る	重症度、医療・看護必要度部会	9月	e-ラーニング	233
重症度、医療・看護必要度インストラクター	必要度の正しい評価方法を再確認し、必要度評価の精度向上につなげる	重症度、医療・看護必要度部会	10月28日	研修棟3階 インストラクター向け	16
重症度、医療・看護必要度部署内研修	必要度の正しい評価方法を再確認し、必要度評価の精度向上につなげる	重症度、医療・看護必要度部会	11月	各部署	254
重症度、医療・看護必要度(後期)	必要度評価の精度向上を図る	重症度、医療・看護必要度部会	12月	e-ラーニング	247
看護補助者との協働	看護師が看護補助者と協働するための知識と考え方について学ぶ	看護部	9月～12月	e-ラーニング	259
医療安全	看護師が医療安全の知識を高める	医療安全リンクナース会	9月～12月	e-ラーニング	259
摂食嚥下	摂食嚥下障害看護に関する知識と技術の維持を目指す	摂食嚥下ケア部会	7月～12月	e-ラーニング	235
感染対策	医療施設内で勤務する看護職員として標準予防策を理解し実践するための自己学習とする	感染リンクナース会	5月～6月	e-ラーニング	259
接遇・マナー	より良い看護サービスの提供ができる	CSリンクナース会	12月	e-ラーニング	259
認知症・高齢者看護	認知症について理解を深め、認知症高齢者の安全と尊厳を守り個別性を考慮した看護を実践できる	認知症ケア部会	6月～12月	e-ラーニング	259

3. 赤十字コース

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
救護員養成研修	救護員看護師としての必要となる災害救護活動時の感染対策や知識について実際の事例を通して学習する	災害対策リンクナース会	6月～11月	研修棟3階、支部	14
こころのケア研修	救護員として、災害による被災者および救援者である救護員が被る心理的影響の特性と、こころのケアの重要性について理解を深める	総務課、看護部	2月8日	多目的ホール (全体23名参加、うち看護師9名)	9

4. 専門コース

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	重症度、医療・看護必要度の評価を高め、職場内での評価の推進者となることのできる役割モデルを発揮できる看護師を育成する	重症度、医療・看護必要度部会	6月28日 ～9月30日	e-ラーニング 試験あり	11

5. 成果発表

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
ナラティブレポート発表会	1年間の看護実践を振り返り、自己の看護観を深めるとともに今後の課題を明確にする	新人教育委員会	6月6日 6月19日	研修棟3階	44
認定看護師によるケースレポート発表会	3年目対象看護師の支援として、認定看護師の発表から、ケースレポートのまとめ方や発表態度を学ぶ	現任教育委員会	9月27日	研修棟3階 マイページ	16
3年目ケースレポート発表会	発表を共有することで、看護過程・受持ち看護師の役割について学び合う	現任教育委員会	2月14日	研修棟3階 マイページ	33
固定チームナースング小集団活動発表会	固定チームナースング小集団活動を振り返り学びを共有し、固定チームで行う質の高い看護ケアの提供に活かす	看護部	2月19日	研修棟3階	36

6. 看護補助者研修

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
組織の概要と目標	医療チームの概要及び病院機能と組織を理解する	看護補助者会	4月11日	7F研修室	17
食事のお世話	正しい食事介助と口腔ケアの方法を学び看護師と共に実践できる	看護補助者会	6月13日	7F研修室	15
医療安全	医療安全の基礎知識を学び、看護補助者として安全で安心な療養環境を提供できるようにする	看護補助者会	8月8日	7F研修室	13
感染対策	病院内環境や標準予防策について学び、感染対策の理解を深め実践できる	看護補助者会	10月10日	7F研修室	12
認知症患者への対応	認知症の人の特徴について理解を深め、適切な対応・ケアを実践する	看護補助者会	12月12日	7F研修室	9
守秘義務、個人情報の保護	守秘義務、個人情報保護についての基礎知識を学ぶ	看護補助者会	2月13日	7F研修室	12
1年間の振り返りと次年度に向けて	補助者業務をタスクシフト/シェアの視点で考えられる	看護補助者会	3月13日	研修棟3階	12

7. 看護管理者研修

研修名	ねらい	担当	日時	場所、方法	参加人数
看護のリーダーたちに贈る、先達から学ぶヒント	看護トップリーダーから働き方改革やスタッフ支援を学ぶ	看護部	7月23日 7月25日	看護部カンファレンス室 Webセミナー	13
看護管理者研修 Z世代の人材育成	Z世代の学生や新人看護師の特徴を理解し、臨地実習や新人教育を考える	看護部	8月6日	看護部カンファレンス室 Webセミナー	4
医療メディエーションの推論と技法	コンフリクト・マネージメントについて学び、医療メディエーターのスキルを身に付ける	看護部	8月31日	看護部事務室	5
在宅療養継続支援	入院時から退院後を見据えた在宅療養継続支援について理解を深める	看護部	11月	研修棟2階 Webセミナー	18
避けて通れない高齢者の退院支援	高齢者の退院支援について理解を深める	看護部	12月	研修棟2階 Webセミナー	8
BSC研修会	病院・看護部の方針とリンクしたBSC作成方法を習得し、次年度BSC展開に生かす	看護部	12月14日	多目的ホール	31

令和6年度 院外研修・学会等参加者

院外研修

内 容	開催日	参加人数
24「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	6月28日～9月30日	11
第34回東北ストーマリハビリテーション講習会	8月1日～9月21日	1
第5回NST専門療法士資格獲得のための研修会	9月2日～9月6日	1
第10回福島ストーマリハビリテーション講習会	11月1日～12月8日	1
入院時から退院後を見据えた在宅療養継続支援向上セミナー	11月1日～11月21日	18
東北ブロック赤十字医療施設合同看護係長研修会 講義 問題解決技法(PDP)	9月5日	7
東北ブロック赤十字医療施設合同看護係長研修会 病院見学実習・意見交換会	9月6日	2
赤十字医療施設看護管理者研修会 時短改革は世代間コミュニケーション革命	9月12日	10
赤十字医療施設東北ブロック看護師長交流研修	11月6日	1
赤十字医療施設東北ブロック看護管理者研修会	12月21日	24
エルゼビア 看護管理者のための学びを深める2Days ～看護のリーダーたちに贈る、先達から学ぶヒント～	7月23日 7月25日	6 7
福島県看護連盟 看護管理者研修 Z世代の人材育成	8月6日	4
医療メデイエーションの推論と技法	8月31日	5
赤十字医療施設東北ブロック看護補助者研修	10月11日	2
福島県病院協会 看護補助者研修会	11月11日	4
BSC研修会	12月14日	31
【福島県】看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	5月21日、28日	2
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	6月4日～7月12日	4
【福島県】新人のための感染対策	6月17日	3
病院、施設・在宅看護師合同交流集会	7月13日	1
令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者フォローアップ研修(令和6年度実施)	7月26日	2
【福島県】新人のための医療安全	8月8日	5
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	9月3日～11月1日	1
【福島県】新人のためのメンタルヘルス	9月4日	4
【日看協】認知症高齢者の看護実践に必要な知識(1回目)	9月11日	1
医療安全管理者交流集会	9月19日	1
看護業務に関する交流集会	9月21日	1
【福島県】新人のための医療現場で実践できるコミュニケーション	9月26日	2
【福島県】新人看護職員研修教育担当者研修	10月1日	1
【福島県】保健師助産師看護師実習指導者講習会	10月1日～12月6日	1
【福島県】福島県がん看護研修	10月10日	5
病院看護師交流集会	10月19日	4
災害支援ナース交流集会	10月23日	1
【日看協】認知症高齢者の看護実践に必要な知識(2回目)	10月29日	3
【福島県】看護職員認知症対応力向上研修	11月5日	1

内 容	開催日	参加人数
【福島県】看護職の働き方フォーラム	11月25日	1
【福島県】新人看護職員研修実地指導者研修	12月24日	3
医療安全管理者フォローアップ研修	5月23日	1
事例を通して考える倫理	5月31日	5
現場で実践する感染予防	6月7日	3
糖尿病患者の看護	6月20日	3
急変させないための気づきと対応	6月25日	9
家族の力を引き出す家族看護	7月24日	1
地域包括ケア時代の看護職の役割	7月25日	4
臨床推論を看護実践に活かそう	7月29日	1
看護職の生涯学習と生涯学習支援	7月31日	1
アドバンス・ケア・プランニングとエンドオブライフ・ケア	8月5日	4
看護に活かすフィジカルアセスメント(呼吸器・循環器編)	8月6日	8
看護職のキャリアデザイン	8月23日	1
助産師研修	8月27日	1
看護職が行う摂食・嚥下ケアとその考え方	8月28日	5
在宅での療養生活を支える外来看護	8月30日	2
成果が出る目標管理の基本	9月5日	1
多職種で取り組むせん妄対策	9月10日	8
多職種協働におけるコミュニケーション	9月13日	3
災害時の看護職の役割	9月20日	5
変化の時代に対応するレジリエンス	9月25日	3
認知症の人の想いに寄り添うケア	10月9日	5
大人の発達障がいの理解と関わり方	10月11日	3
チーム力を高めるリーダーシップ	10月18日	3
慢性腎臓病患者の理解と看護ケア	10月22日	6
看護に活かすフィジカルアセスメント(脳神経系)	10月24日	9
褥瘡予防の最新知識とケアのポイント	10月31日	4
がん看護	11月6日	9
アセスメントに活かす検査・画像データの読み方	11月7日	15
行動変容を導くコミュニケーションスキル	11月15日	1
地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割	11月16日	1
チーム力で成果を上げる医療安全	12月3日	4
慢性心不全患者の支援	12月4日	4
2040年を見据えた新しい看護の形と働き方	12月13日	4
リスクマネジメントに対応する看護記録	1月10日	3
看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア	1月18日	1

学会等参加者

内 容	開催日	参加人数
第29回日本緩和医療学会学術集会	6月14日～15日	1
第9回脳神経看護学会東北地方会	11月9日	5
福島県看護学会	11月20日	9
固定チームナーシング研究会 第19回東北地方会	11月30日	15
第42回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	2月7日～8日	1
第89回日本循環器学会学術集会	3月28日～30日	1

令和6年度 学会発表者一覧

学会名	日付	氏名	タイトル
第99回日本医療機器学会大会	6月20日	佐久間由美子	WD(ウォッシュャーディスインフェクター)における洗浄効果の検証
第25回日本赤十字看護学会学術集会 赤十字の看護－本質を捉える－	7月21日	車田 真美 奈良輪弘美	尊厳ある看護(抑制しない看護)の実践～多職種で連携した病棟ラウンドの取り組み～
福島市医療と介護のネットワーク 全体会	8月10日	三浦 愛	能登半島地震支援活動報告
第12回日本医療マネジメント学会 医療安全とコミュニケーション	9月28日	奈良輪弘美	転倒転落防止対策チームによる内蔵型離床センサーの活用～多職種連携による病棟ラウンドの取り組み～
第60回日本赤十字社医学会総会	10月17日	齋藤 泉	ナラティブから看護ケアを振り返る～在宅療養者の終末期支援～
第9回日本脳神経看護学会東北地方 部会	11月9日	三浦 将克	脳疾患傷病者へのリハビリテーションの概要
固定チームナーシング研究会 第19回東北地方会	11月30日	松野 祥子	チームで取り組むクリティカル領域での早期リハビリテーション
固定チームナーシング研究会 第19回東北地方会	11月30日	原田 瑞穂	本人の望む自宅退院を目指して～末期心不全患者・家族へのチームでの関わり～
令和6年度福島県看護協会県北支部 看護研究発表会	2月8日	芳賀 幸奈	NPPVを装着された患者様への睡眠支援

令和6年度 看護実習受入実績

学校名	領域	期間	日間	人数	延べ人数
福島看護専門学校	健康状態別看護実習	7/16~26	8日間	7名	53名
	地域・在宅の生活を支える看護実習Ⅰ	9/11~13	3日間	6名	18名
	基礎看護学実習Ⅱ	1/21~2/5	10日間	4名	40名
		3/17~26	7日間	1名	7名
	成人の生活を支える看護実習Ⅰ	5/30~6/14	10日間	4名	40名
		6/18~7/3	10日間	3名	30名
	老年の生活を支える看護実習	9/6~24	7日間	7名	49名
		10/2~24	10日間	4名	40名
地域・在宅での生活を支える看護実習Ⅱ	10/2~18	7日間	2名	14名	
	10/25~11/6	7日間	2名	14名	
国際医療看護福祉大学校	小児看護学	7/2、3	2日間	2名	4名
	基礎看護実習	10/8、9	2日間	3名	6名
東北福祉看護学校	成人看護学	7/23、24	2日間	1名	2名
		9/24、25	2日間	1名	2名
	看護の統合	7/25、26	2日間	1名	2名
		9/26、27	2日間	1名	2名
	小児看護学	7/30、31	2日間	1名	2名
		9/19、20	2日間	1名	2名
福島東陵高等学校	小児看護学	5/14~17	4日間	2名	8名
		5/21~24	4日間	2名	8名
		5/27~30	4日間	2名	2名
	母性看護学	5/14~17	4日間	3名	12名
		5/21~24	4日間	2名	8名
		5/27~30	4日間	3名	12名
実習延べ日数・人数			119日間	65名	377名

令和6年度 看護学校講師派遣実績

学校名	領域	派遣者名
福島県立医科大学	助産診断・技術学演習Ⅰ 助産健康教育法	助産師 橋 智寿子
大原看護専門学校	災害看護学	岩崎 睦子、泉 弘子
福島看護専門学校	災害看護学	岩崎 睦子、武田 里美
	医療安全	医療安全推進室 奈良輪弘美
	看護管理	認定看護管理者 車田 真美
	成人の生活を支える看護Ⅰ(循環)	クリティカルケア認定看護師 鈴木 安英
	成人の生活を支える看護Ⅰ(呼吸)	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 今野 暁子
	母性の生活を支える看護Ⅱ	助産師 中村 留美 助産師 赤井みゆき
	看護管理・健康教育	慢性心不全看護認定看護師 田島 一樹 がん化学療法看護認定看護師 野地 静香 國分 朋子
国際医療看護福祉大学校	災害看護	武田 里美 救急看護認定看護師 渡邊あゆみ
福島東陵高等学校	母性看護学	助産師 斎藤 幸恵

令和6年度 院外・地域活動講師派遣実績

内 容	日 程	派遣者名
福島県滅菌業務研究会 パネルディスカッション「洗浄評価を実施して思う事」	6月1日(土)	第2種滅菌技士看護師 佐久間由美子
福島県看護協会 ふくしま助産師実践力向上研修	8月7日(水)	助産師 齋藤 幸恵
福島県看護協会 認定看護管理者教育課程セカンドレベル	9月13日～11月1日の4日間	認定看護管理者 車田 真美
福島県看護協会 医療機関における看護力向上支援事業フォローアップ研修	10月1日(火)	認知症看護認定看護師 佐川奈美子
福島県立福島北高等学校 職業インタビュー	10月16日(水)	看護師 馬場 梓
福島県訪問看護連絡協議会 介護サービス監査対応研修	10月9日(水)	訪問看護師 黒沢真由美
福島県看護協会 看護に活かすフィジカルアセスメント(脳神経系)	10月24日(木)	脳卒中看護認定看護師 三浦 将克
福島県看護協会 褥瘡予防と最新知識とケアのポイント	10月31日(木)	皮膚・排泄ケア認定看護師 佐藤 美絵
福島県看護協会 看護職員 認知症対応向上研修	11月12日(火) 11月14日(木)	認知症看護認定看護師 佐川奈美子
福島県看護学会交流企画「慢性心不全患者さんの看護に困っていませんか？ズバリ！私たちがお答えします」	11月20日(水)	慢性心不全看護認定看護師 田島 一樹
福島県看護協会 慢性心不全患者の支援	12月4日(水)	慢性心不全看護認定看護師 田島 一樹
福島ストーマリハビリテーション講習会	12月8日(日)	皮膚・排泄ケア認定看護師 佐藤 美絵
福島大学附属特別支援学校 いのちの誕生に関すること	12月16日(月)	助産師 伊藤由佳子
医療創生大学看護学部ホームカミングデイシンポジウム	12月21日(土)	渡邊 匠真

令和6年度 認定看護師・認定看護管理者・感染制御実践看護師数

認定看護師	14名
がん化学療法看護	1名
皮膚・排泄ケア	2名
緩和ケア	2名
救急看護	1名
クリティカルケア	1名
摂食・嚥下障害看護	1名
認知症看護	1名
脳卒中リハビリテーション看護	1名
手術看護	1名
慢性呼吸器疾患看護	1名
慢性心不全疾患看護	1名
感染管理	1名

認定看護管理者	1名
---------	----

感染制御実践看護師	2名
-----------	----

特定行為研修修了者	4名
-----------	----

令和6年度 認定看護師・認定看護管理者・感染制御実践看護師

認定看護師 14名		
がん化学療法看護	野地 静香	
皮膚・排泄ケア	佐藤 美絵	北原奈緒美
緩和ケア	小松真由子	新國 智子
救急看護	渡邊あゆみ	
クリティカルケア	鈴木 安英	
摂食・嚥下障害看護	八木沼裕子	
認知症看護	佐川奈美子	
脳卒中看護	三浦 将克	
手術看護	橋脇 聡美	
慢性呼吸器疾患看護	今野 暁子	
慢性心不全疾患看護	田島 一樹	
感染管理	北村 慶	

認定看護管理者 1名	車田 真美	
------------	-------	--

感染制御実践看護師 2名	吉田 和恵	三浦 愛
--------------	-------	------

特定行為研修修了者

特定行為研修修了者 4名	
佐藤 美絵	創傷管理関連 ろう孔管理関連 創部ドレーン管理関連 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
鈴木 安英	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 動脈血液ガス分析関連
北村 慶	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 感染に係る薬剤投与関連
山口 広夢	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 動脈血液ガス分析関連 術後疼痛管理関連



29. 検査部

【部長】 田崎 和洋(病理診断課部長 兼 検査部長)

【技師長】 小林 利美(検査部技師長 兼 臨床検査課長事務取扱
兼 細菌検査課長事務取扱・臨床検査技師)

【課長】 佐藤美千子(生理検査課長・臨床検査技師・超音波検査士)
根本 浩(病理検査課長 兼細胞診係長・臨床検査技師・細胞検査士・認定病理検査技師)

【係長】 佐藤 由峰(病理検査係長・臨床検査技師・認定一般検査技師)
大竹 利典(第1臨床検査係長・臨床検査技師・超音波検査士)
森川 由美(輸血検査係長・臨床検査技師)
中田 悠希(生理検査課長・臨床検査技師・超音波検査士・血管診療技師)
八島重由美(第2臨床検査係長・臨床検査技師)
相楽 孝行(細菌検査係長・臨床検査技師)
石川 梓(細胞診検査係長・臨床検査技師・細胞検査士)

【臨床検査技師】 吉田 憲治、丹野麻木子、吉田 絢香、菊池麻衣子、齋藤 智美、
幕田 高平、三浦 義喜(細胞検査士)、安部みなみ、阿部 里奈、植野 桃佳、
峯 徹次、酒井 克也、菅野千恵美、佐々木一美

【看護師】 佐藤さゆり、岡野真由美

【検査助手】 猪狩 利恵、石井美和子、鈴木 美沙

<令和6年度実績>

1 検査件数

(1)一般検査	入院	4,500件	外来	28,710件
(2)血液検査	入院	35,572件	外来	99,622件
(3)生化学検査	入院	200,537件	外来	680,863件
(4)免疫検査	入院	23,167件	外来	102,231件
(5)微生物検査	入院	2,665件	外来	3,498件
(6)病理検査	入院	2,504件	外来	4,170件
(7)生理検査	入院	2,936件	外来	21,214件

2 参加学会・研修会名一覧

- (1)末吉塾(病理勉強会)
- (2)令和6年度福島県臨床検査技師会 県北支部総会
- (3)第176回光が丘心エコー症例検討会
- (4)2024年度第2回細胞検査士養成勉強会
- (5)末吉塾(病理勉強会)
- (6)末梢血液像の細胞判読とその秘策
- (7)2024年度第1回基礎病理実技講習会
- (8)第55回福島医学検査学会
- (9)末吉塾(病理勉強会)
- (10)みなとみらいフォーラム2024

- (11) 尿定性検査の偽陰性・偽陽性
- (12) 関節エコーハンズオンセミナー in福島
- (13) 県民健康調査甲状腺検査 更新講習会
- (14) 第178回光が丘心エコー症例検討会
- (15) 脳波検査～電極装着から測定のコツまで～
- (16) 尿定性検査の偽陰性・偽陽性
- (17) 第12回東北関節エコー研究会
- (18) 福島県細胞検査士会 呼吸器検体 鏡検実習研修会
- (19) 第179回光が丘心エコー症例検討会
- (20) ホルター心電図解析装置ハンズオンセミナー
- (21) 令和6年度肝硬変及び肝がん医療従事者研修会
- (22) 心アミロイドーシスエコーセミナー ～心アミロイドーシスをエコーで見逃さないで～
- (23) 第110回日本病理組織技術学会
- (24) 鹿児島県臨床検査技師会令和6年度第3回輸血細胞治療部門研修会
- (25) 2024年度第84回細胞検査士教育セミナー
- (26) 血圧脈波検査を学ぶ会2024 ～ Read the Vascular with CAVI/ABI ～
- (27) SEKISUI-CSC基礎セミナー ISO15189改正のポイントと移行上のポイント
- (28) 第24回全国赤十字学術大会
- (29) 肝炎医療コーディネーター養成研修会
- (30) 末吉塾(病理勉強会)
- (31) 第180回光が丘心エコー症例検討会
- (32) 福島県県民健康調査「更新実技研修会」
- (33) 第42回福島県臨床細胞学会総会ならびに学術集会
- (34) 第181回光が丘心エコー症例検討会
- (35) 令和6年度日臨技北日本支部臨床生理部門研修会
- (36) 令和6年度日臨技北日本支部臨床一般部門研修会
- (37) 令和6年度福島県臨床検査技師会県北支部第1回輸血検査研修会
- (38) 第7回さんよ会
- (39) 関節エコーハンズオンセミナー in福島
- (40) 第182回光が丘心エコー症例検討会
- (41) 長崎県南地区血液部会
- (42) 令和6年度福島県臨床検査技師会一般検査部門研修会
- (43) 令和6年度第32回福島県臨床検査精度管理調査報告会及び学術講演会
- (44) 令和6年度日臨技北日本支部医学検査学会
- (45) 第183回光が丘心エコー症例検討会
- (46) 第143回医用超音波講義講習会
- (47) JSS東北第34回地方会学術集会
- (48) 令和6年度福島県臨床検査技師会県北支部臨床化学免疫研修班研修会
- (49) 第184回光が丘心エコー症例検討会
- (50) 令和6年度日臨技北日本支部研修会 臨床血液部門研修会
- (51) 日本消化器がん検診学会東北支部超音波検査研修会第14回福島セミナー
- (52) 令和6年度福島県臨床検査技師会県北支部病理細胞診部門研修会
- (53) 令和6年度地域ニューリーダー育成研修会
- (54) 令和6年度福臨技生理検査部門神経機能検査分野県北支部生理検査班合同研修会
- (55) 令和6年度第2回福島県血液検査分野・染色体分野合同研修会
- (56) 令和6年度福臨技病理検査・細胞検査精度管理フォローアップ研修会
- (57) 令和6年度第2回福島臨床検査技師会県北支部血液検査研修会
- (58) 症例ベースで考えるS2, 3PSA%検査の使いどころ
- (59) 令和6年度都道府県技師会リーダー育成研修会

- (60) 令和6年度福島県内甲状腺検査実施機関連絡協議会
- (61) 第3回ウイルス性肝炎領域における福島県医療安全講習会
- (62) 令和6年度福臨技生理機能検査部門呼吸機能検査分野研修会
- (63) 令和6年度福島赤十字病院輸血研修会
- (64) 令和6年度福臨技生理機能検査部門画像検査分野研修会
- (65) 第15回福島循環器陽圧治療研究会
- (66) 第183回光が丘心エコー症例検討会
- (67) 令和6年度福臨技生理検査部門循環機能検査分野研修会
- (68) 令和6年度医療安全対策研修会

3 学会・研究会発表

- (1) 令和6年度第55回福島医学検査学会
 - 開催日 令和6年6月1日(土)～2日(日)
 - 演題 「ナノピアSP-Dの基礎的検討」
 - 発表者 菊池麻衣子
- (2) 第65回日本臨床細胞学会総会春季大会
 - 開催日 令和6年6月7日(金)～9日(日)
 - 演題 「子宮内膜細胞診」
 - 発表者 三浦 義喜
- (3) 第5回がん研細胞検査士養成所セミナー
 - 開催日 令和6年11月2日(土)
 - 演題 「ROSEについて」
 - 発表者 石川 梓
- (4) 第63回日本臨床細胞学会秋季大会
 - 開催日 令和6年11月16日(土)～17日(日)
 - 演題 「診断に難渋したマントル細胞リンパ腫の1例」
 - 発表者 三浦 義喜

<令和7年度目標>

- (1) 質的向上(赤十字病院の職員としてすべてにおいて)
- (2) 正確かつ迅速な検査結果の提供に努める
- (3) 検査過誤防止に努める
- (4) 健全な職場環境の整理(振休・年休取得率向上)
- (5) 個々のスキルアップ(認定取得・学会発表)
- (6) 人材育成に努める
- (7) 検査業務全般の標準化



30. 事務部

総務課

【部長】 野田 誠

【課長】 富田 夕紀

【係長】 池田 久光(総務係長)
村上 尋美(人事係長)

【主 事】 安田美喜子、佐久間惟代、田嶋 遥香、本田 浩紀、中島 良介

【事務職】 横山 碧、三瓶由紀子

【医局・研修医担当】 大原有香梨、川井茉奈美

【委 託】 電話交換室2名(コムネット)
防災センター7名(キョウワプロテック)

【業務内容】 総務係・人事係・文書係において以下の業務を担当。

人事・労務、給与、全社的福利厚生、医療安全、感染対策、教育研修、各種委員会および研修会、職員健診、医局、医師臨床研修、防災・防火対策、災害対策・原子力災害対策、図書、出張、儀式・慶弔、文書管理・処理、駐車場管理、売店テナント運営、ボランティア、委託派遣他各種契約関係、不在者投票、医師会関連、病院群二次救急輪番制、当直、車両運行、医療紛争、病院開設許認可関連の等々、他課に属さない様々な業務を所管。

<令和6年度実績>

1. 人材確保事業

令和6年度も、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症により、感染状況を見ながらの学校訪問や会場に参集しての説明会開催にできる限り対応した。

(1. 看護師)

養成学校訪問や説明会・インターンシップについては、感染状況を見ながら対応病院や看護部の看護体制等を紹介する動画を作成し、ホームページや外部就職ガイダンスの場にて募集活動を実施。併せて学校への募集要項郵送の方法を例年通り実施。

(2. 医療技術職)

薬剤、リハビリテーション、放射線、検査、栄養の各部門においては、可能な限り実習及び見学を受入し人材確保活動を実施。

(3. 臨床研修医)

臨床研修プログラム委員会を中心とした、指導医の丁寧な指導教育と他職種研修医教育体制との連携強化により研修医師に対する充実した研修について、病院説明会・見学会をオンラインおよび当院内にて開催、またオンライン院外ガイダンス等にて紹介し募集活動を実施。

(4. 障がい者雇用継続確保)

ここ数年、障がいを持つ職員の退職により法定雇用率を下回る状況となっている。よって、公共職業安定所・障害者雇用関連事業所等と連携し、人材確保活動継続するとともに院内での配置部門や業務の洗い出し等の検討を実施。

2. 『医師の働き方改革』への取り組み

2024年より施行となる医師の働き方改革に向けて、また職員の勤務状況を正確に把握するため令和4年12月より全職員へ『就業管理システム』を導入したことから、院内職員の適正な労務管理に努めている。

3. 『手当現況調査』の実施

毎月の給与にて、扶養手当や住居手当等支給している職員の各種手当について、規程沿った支給がされているか改めて確認を実施。今後も毎年行い、手当の不正支給や未支給事例の無いように努める。

<令和7年度目標>

1) 働き方改革(医師の働き方含む)に向けた労務管理体制の推進

- ・ 宿日直許可取得による医師の勤務体制の変更に合わせて、再度医師への周知を行う
- ・ 『就業管理システム』を活用した各所属長への労務管理に対する働きかけを行う
- ・ 休暇取得日数による有給休暇の取得推進、嘱託・臨時職員の休暇付与を変更する

2) 職員の働きやすい環境の整備

- ・ 定年退職を迎える職員への定年後の生活設計、退職後の継続勤務について説明する機会を設ける
- ・ ハラスメント防止対策委員会の設置及び院内周知、所属長への研修を実施する

3) 院内共通の手続きについての手続き簡素化の検討、手続きのマニュアルの整備

- ・ 『現況調査』の実施
- ・ 出張の手続きの見直しと院内への周知
- ・ 総務課の担当者以外の職員も手続きの説明ができるようにする

4) 災害救護体制の整備

- ・ 院内災害訓練の実施
- ・ 各部署での消防訓練の実施

5) 職員の人材育成強化のため、『教育研修推進室』の役割を強化する

- ・ 院内の必須研修の管理、受講率の向上への取り組み
- ・ 職員の資格取得等へのサポート体制の整備

6) 臓器提供体制の整備

7) 医大からの医師の対応

8) 研修医の第三者評価受審対応

9) 担当業務の明文化・システム化・効率化

経営企画課

【課長】 二階堂雄平(兼 医療DX推進室長)

【係長】 佐藤 隆昭(兼 医療情報システム係長)

【主事】 金子 瑛
渡辺 大夢(兼 医療情報システム課)

<令和6年度実績>

- ・ 各種統計、データ分析(本社報告、自治体報告、DPCデータ分析など)
- ・ 診療科・コメディカル部門に対する幹部ヒアリング事務
- ・ 新入院患者獲得に向けた各種施策の立案、実行、進捗管理
- ・ 各種加算の施設基準取得に向けた分析、検討
- ・ 適正な人員配置の検討
- ・ 設備投資に係る方針の検討

- ・ホームページ、広報誌、Facebook等による情報発信
- ・病院機能評価受審・更新に係る事務局
- ・経営部会、医療の質向上部会、総合戦略会議の事務局

<令和7年度目標>

- ・経営部会の運営による収支改善に係る各種施策の立案、実行、進捗管理
- ・データ分析による課題抽出、経営改善活動の推進及び医療の質向上に係る検討
- ・情報発信の強化

医療情報システム課

【課長】 奈良輪大輔

【係長】 佐藤 隆昭(兼 経営企画係長)

【主 事】 横山 剛(兼 医療DX推進室)、渡辺 大夢(兼 経営企画課)、清野 真一

【事務職】 竹田 強

<令和6年度実績>

- ① 医療情報システムの安定運用の継続
(院内全システムのサポートセンター業務)
 - QA・要望対応
 - 障害時調査(復旧対応、一次切り分け)
 - 帳票作成・修正
 - ハード故障交換(プリンタ・端末・その他機器)
 (運用調整)
 - 運用調整・全体説明
 - システム操作説明
 - メーカー対応
 - 掲示板、グループウェアメンテナンス
 (システム管理)
 - 機器管理(サーバ・端末・その他機器)
 - セキュリティ管理(USB、ウイルス対応)
 - ネットワーク管理(新規接続許可、不正接続防止)
 - 本社インベントリ管理・報告
 - 機器・プログラム購入手続き
 - 新規システム導入検討
 - パソコン全般に対する問い合わせ
 (データ抽出・調査)
 - 定期的な統計(病床機能報告、自治体統計等)
 - データ分析・学会、論文データ(検定)対応
 - その他データ調査 等
- ② 次期システム更新に向けた計画の策定
 - 第4次医療情報システム稼働調整・全体周知
 - 次期システム更新にかかる情報収集 等

③ システムに関する技術・専門性を活かした費用削減活動

- 保守費用の削減活動
- システム設定変更対応
- システム帳票カスタマイズ
- 新規システム・ツールなどの開発
- 機器修理(PCが起動しない等)
- 誤って消した重要データ復旧
- 他システムへのデータ移行
- システム端末の複製及び設定 等

④ データを活用したコスト削減、運用適正化の実践

- 医療情報システム以外のデータも活用したデータの分析
- 各種データから見える無駄な費用の削減活動 等

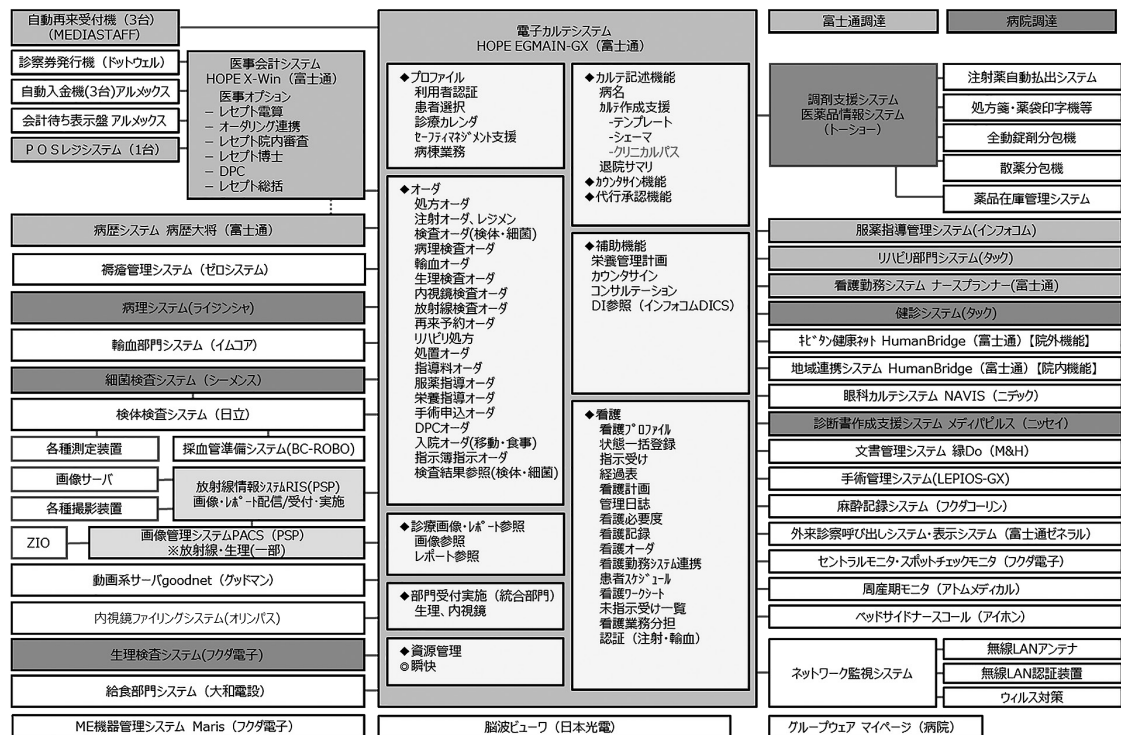
⑤ システム保守料金削減活動

- システムRを活用した保守費用分析とメーカーへの費用削減交渉の実施

<トピックス>

- ・診療・院内業務における課題抽出・改善活動・マクロ開発による業務効率化
- ・院内情報の円滑な共有推進のための活動
- ・医療情報システム全般のメンテナンス、障害・QA対応、ウイルス対策
- ・動画によるコンテンツのアーカイブ化活動
- ・委員会、ワーキンググループのグループウェア利活用の推進
- ・新型コロナウイルスによる院内対応のデータ支援作業 等
- ・【6月】自動精算機更新
- ・【8月】病理検査検体ラベル出力機能追加、POSレジ新紙幣対応、
訪問看護システム用オンライン資格確認対応
- ・【11月】オンライン資格確認端末増設

福島赤十字病院 第3次医療情報システム全体構成図



<令和7年度目標>

- ① 医療情報システムの安定運用の継続
 - ※ 厚生労働省『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』に則した医療情報システムの適正な管理の遂行
- ② システム更新・新規導入に向けた計画の策定
- ③ セキュリティ、バックアップの強化に向けた計画の策定
- ④ システムに関する技術・専門性を活かした費用削減活動
- ⑤ データを活用したコスト削減、運用適正化の実践
- ⑥ 院内の働き方改革を意識した業務改善活動の推進

会計課

【課長】 松本 修

【係長】 葛岡 大輔

【主事】 阿部 宣子、渡邊 千尋

【事務員】 羽田恵津子、高橋 美和

<令和6年度実績>

- 1) 令和5年度医療施設特別会計決算報告書作成
- 2) 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出予算概要書作成
- 3) 令和5年度収益事業決算報告書作成
- 4) 令和5年度消費税収支決算報告書作成
- 5) 令和6年度中の運転資金極度借入手続き及び本社交付書類行使報告
- 6) 令和6年度中の運転資金短期借入金本社承認手続き及び交付書類行使報告
- 7) 令和6年度各運営費補助金及び設備整備事業補助金関係事務処理
- 8) 令和6年度財政調整事業資金借入手続き
- 9) 令和7年度固定資産非課税措置適用申請
- 10) 監査法人による実地監査対応

<令和7年度目標>

「現金取り扱いの削減」

用度施設課

【課長】 野地 幸次

【係長】 濱名 正美(施設係長)

【主事】 菅野八重子、佐藤恵美子、今野 大輝

【技術員】 加藤 仁義(電気)

【委託職員(中央監視室技術員)】 5名

<令和6年度実績>

- 1) 診療材料、医薬品の価格交渉
- 2) 診療材料、一般消耗物品等の在庫適正管理
- 3) 施設設備及び電気設備の無事故運転維持管理
- 4) 電力購入単価削減、維持点検費用の削減交渉
- 5) 省エネルギー推進によるエネルギー使用量削減対策
- 6) 感染性医療廃棄物排出量削減対策
- 7) エネルギー施設設備の無事故運転維持管理及び建物設備の適宜修理と迅速対応
- 8) 電気設備の更新計画の策定
- 9) 病院建設工事における不具合是正早期解決(設計会社及び施工会社等と定例会開催)
- 10) 診療材料等調達支援業務委託(MCH,NHA)の導入による費用削減

日付	品名	規格・型式	台数	設置場所
06.04.15	卓上遠心機	S500T	1	臨床検査部
06.04.30	汎用分光光度分析装置	ESアナライザー	1	臨床検査部
06.05.08	赤血球沈降速度測定装置	Quick eye 8	1	臨床検査部
06.05.17	膀胱用超音波画像診断装置	Biocon-900s	1	泌尿器科
06.05.17	ハンドヘルドオートレフラクトケラトメータ	レチノマックスK	1	眼科
06.05.28	電動油圧手術台	MOT-VS600Dj	1	手術室
06.06.10	卓上遠心機	S500T+スイングロータST-724M	1	病理検査室
06.06.25	超音波プローブ	3Sc-RS	1	手術室
06.07.09	テルフュージョン輸液ポンプ28型	TE-281A アンチフロー機能有	15	臨床工学技術課
06.07.29	薬用冷蔵ショーケース	MPR-S150H-PJ	1	5A病棟
06.08.06	特殊浴槽装置	スカイコート SB5000A	1	介助浴室
06.08.23	全身麻酔装置	Atlan350	1	手術室
06.09.12	内視鏡検査台	EX-CS6N	1	内視鏡室
06.09.27	バイポーラ凝固止血器	GN160	1	手術室
06.09.30	人工呼吸器	Elisa300	5	臨床工学技術課
06.11.15	補助循環用バルーンポンピング駆動装置	コラートBP3 HBP3	1	IVRセンター
06.12.20	テルフュージョン輸液ポンプ28型	TE-281A アンチフロー機能有	1	臨床工学技術課
06.12.26	テルフュージョン輸液ポンプ28型	TE-281A アンチフロー機能有	1	臨床工学技術課
07.01.16	婦人科検診台	メグジョイ EX1146675	1	産婦人科
07.01.21	テルフュージョン輸液ポンプ28型	TE-281A アンチフロー機能有	5	臨床工学技術課
07.01.31	エネルギープラットフォーム	バリーラブFT10	1	手術室
07.03.21	電動ベッドメーテイスPRO	KA-75121A	6	感染症病室
07.03.24	薬用冷蔵ショーケース	MPR-S500RH-PJ	1	薬剤部
07.03.24	高周波手術装置	VIO3 5ソケットモデルE125000	1	手術室
07.03.26	電動リモートコントロールベッド	KA-H7410A	4	HCU
07.03.27	ICカード式麻薬保管庫	SB-609RFEK	1	手術室
07.03.28	外科用X線テレビジョン装置	OPESCOPE ACTENO FD type	1	放射線科
07.03.31	ベッドサイドモニタ	DSC-8430	4	HCU

<令和7年度目標>

- 1) 診療材料費の費用削減対策及び診療材料、一般消耗物品等の在庫適正管理
- 2) 医薬品費の価格交渉による前年度比1%削減
- 3) 施設設備及び電気設備の無事故運転維持管理推進及び維持点検費用の削減推進
- 4) 省エネルギー推進によるエネルギー使用量前年度比1%削減
- 5) 感染性医療廃棄物排出量前年度比1%削減
- 6) 病院建設工事における不具合是正早期解決(設計会社及び施工会社等と定例会開催)
- 7) 委託業者の業務内容・費用の検証および見直し
- 8) 用度施設課内における事業継続計画(BCP)の対策

医事課

【課長】 菊田 基晴(医事課長)

【係長】 野地 美佳(医事係長兼外来係長)
金原 昭世(入院係長)

【主事】 加藤 菜月、三浦 有樹、小野 真珠、大槻 理佳、大橋 佳純

【事務職】 志田 沙織、鈴木奈美子、芳賀 瑞樹、横山 光羽、佐藤 郁美、大橋 睦子
派遣：入院係1名
委託：入院係4名・外来係20名・医事係20名(ニチイ学館)

【業務内容】

医事係・入院係・外来係・診療情報管理係・病歴管理係・施設基準管理係において、下記の業務を担当。

診療に関する契約、診療録その他諸記録の整理保存、医事統計、患者受付及び接遇、入院手続き、各種入院保証サービス手続き、入院・外来の料金算定及び支払請求、保険請求(レセプト作成・請求)、DPC対応全般、病歴管理、病歴統計、診療報酬改定における対応、施設基準の届出・管理、各種委員会の運営、その他、コロナ患者の受け入れ、インフルエンザ予防接種受付、外国人患者の取り扱いなど、医事に関して多岐にわたる業務を所管

<令和6年度実績>

1. 適切な保険請求実現のため、項目毎の算定チェックを実施し、査定・返戻の削減を図った
2. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータを、正確かつ遅滞なく提出した
3. 院内共有サイト・マイページによる「保険診療に関する研修会(年2回)」を実施した
4. 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いの情報収集・対策策定・および運営
5. 診療報酬改定における要件変更や点数変更等への対応。施設基準の届出
6. 施設基準管理システム「INX」(株式会社イノシア)にて、正確で適切な施設基準管理を行った
7. マイナンバーカード受付専用端末の増設と専用レーンへの職員配置を行い、マイナ保険証でのオンライン資格確認の推奨を実施(使用率が、年間で5%→38%へUP)

【主な活動】

- 4月：新入職員向け研修会で医事課業務(保険診療・診療報酬、DPC制度、施設基準)の説明を行った
- 4月：ベストタイミングリスト開始(DPCの入院期間Ⅱに合わせた適正な退院時期での退院実施に向け医師等に説明を行った。病棟には、入院期間Ⅱの表示モニターが設置され、患者毎の適正な退院時期についての可視化が図られた)

- 4月：看護職員処遇改善評価料が49点へ変更となるため、施設基準の届出を行った
- 5月：救急医療管理加算、入退院支援加算の算定件数増加に向けアクションプランを作成。
他職種でのWGを立ち上げ対応開始(WG参加：看護部、企画課、システム課、栄養課、薬剤部、医事課)
- 5月：診療情報管理委員会にて、「入院診療計画書」の作成基準や記載内容の変更等について承認
変更点：① 転科のタイミングで都度作成すること
② 他職種が介入している内容へ変更 = 栄養課を追加
- 5月：診療報酬改定に伴う届出が、今回の改定より6月提出へ変更となり、5月に提出を行った
提出実施：ベースアップ評価料（入院63点・外来初診時6点・外来再診時2点）
- 5月：医療の質可視化プロジェクト参加
- 6月：今年度の診療報酬改定において決定された「救急医療医療加算2のシ」の算定割合が5割以上である場合、減算となることについて、医局会で説明し、シ以外の項目へのチェックに協力を依頼
- 6月：病名ロボット(RPA)の導入
RPAによる外来レセプトの疑い病名入力自動で行われることで、外来の紙レセを減らしコスト削減や負担軽減を図ることが目的。
- 6月：今年度の診療報酬改定にて、入院基本料の施設基準の要件に加わった「意思決定の基準」「身体的拘束最小化の基準」について、指針作成や運用検討、同意書変更を目的としたWGが立ち上げられ菊田課長、野地係長が参加
- 6月：第1回保険診療に関する講習会「令和6年度診療報酬改定について」を多目的ホールにて開催。
受講者数66名
- 6月：東北厚生局へ、施設基準「急性期看護補助体制加算の看護補助体制充実加算1(新設)」の届出書の提出を行った
- 7月：先月開催の、第1回保険診療に関する講習会「令和6年度診療報酬改定について」をマイページにて配信を行った
- 7月：事務部2年目研修で、大槻主事、小野主事が発表を行った
- 7月：看護職員処遇改善評価料が55点へ変更となるため、施設基準の届出を行った
- 7月：DPC分析システム「加算だポン」の導入
ゴールドルール社社長と各部門代表者とのキックオフミーティングを実施
- 7月：「人生の最終段階における適切な意志表示の決定に関する指針」が完成
- 7月：東北ブロック会議が仙台赤十字病院で開催され、野地係長が出席
- 8月：事務部新人研修で、大橋(佳)主事が発表を行った
- 8月：施設基準の定例報告を行った(今年度より、8月報告に変更)
- 8月：診療録の質的監査を実施
- 9月：赤十字病院グループの医療の質の評価・臨床評価指標データ集計
- 9月：来年1月から腎臓内科が新設されることが決定し、予約枠の設定等の準備を開始
- 9月：外来運営委員会を開催し、1月からスタートとなる腎臓内科の診察室として、心臓血管外科の診察室であった30番診察室を使用することが承認された。また、診察室変更の際に膨大な変更費用が発生していたことから、呼び込み表示盤の表示内容の修正を行い、院内で変更できる仕様へと変更することについても承認された(診察室表示からブロック表示へと変更)
- 9月：診療情報管理室へ保健所による立ち入り調査が実施された
- 9月：東北厚生局へ3つの施設基準の経過措置の届出書の提出を行った
「ハイケアユニット入院医療管理料1」・「一般病棟入院基本料」・「入退院支援加算1」
- 10月：入院ベースアップ評価料が70点へ変更となるため、施設基準の届出を行った
- 10月：インフルエンザ予防接種、コロナ予防接種の受付業務開始(受付担当：ニチイ)
- 10月：入院時支援加算1の算定とPFMの機能強化を目的として入院時支援加算WGが立ち

- 上げられ、菊田課長・野地係長が参加
- 10月：入院時支援加算1の算定とPFMの機能強化を目的として、星総合病院を見学。
(菊田課長)
- 10月：福島県医事研修会が磐梯熱海にて開催され、菊田課長・野地係長・大槻主事・小野主事が出席
- 10月：「身体的拘束を最小化するための指針」「身体的拘束最小化マニュアル」が完成
- 10月：今年度の診療報酬改定にて、入院基本料の施設基準の要件である「栄養管理体制の基準」において栄養評価の見直しが行われ、GLIM基準導入に向け、WGが立ち上げられ金原係長が参加
- 10月：東北厚生局へ、施設基準「後発医薬品使用体制加算2→1への変更」の届出書の提出を行った
- 10月：今年度診療報酬改定にて在宅療養指導料の対象に新たに加わった「慢性心不全患者」についての運用検討、算定開始に向けたWGが立ち上げられ野地係長が参加
- 10月：入院時のネームプレート有無や面会の有無等の個人情報の確認書の内容について、長期間見しを行っていなかったため、WGが立ち上げられ内容の検討等を行い、新書式へ変更となる
- 10月：入院時支援加算1の算定とPFMの機能強化を目的として、星総合病院を見学。
(菊田課長)
- 11月：病床・外来機能報告実施
- 11月：マイナンバーカード専用端末(Caora)が3台増設された。それに伴い、マイナンバーカード啓蒙チラシを作成し各科外来受付より配布。また、ボランティア・医事課職員により再来受付機前にて、同チラシを配布し利用推奨を行った
- 11月：第1回DPCコーディング委員会を開催し、「急性、慢性の表記」について説明
- 11月：入院時支援加算1の算定とPFMの機能強化を目的として、仙台赤十字病院を見学
(菊田課長・野地係長)
- 12月：診療情報管理委員会にて、「診療記録作成指針の内容変更(カルテ記載方法)」について以下の2点が承認された
- ① 記録事項の追記修正について
 - 旧：カルテに変更理由を記録する
 - 新：特別な理由があり追記/修正を行う場合、現記録を残し別に修正理由と日時を併記する
 - ② 臨床研修医への指導記録記載について
 - カウンターサインは100%入力されているが、指導記録については口頭指導は行っているが、診療録への記載が未記載
 - 臨床研修医へ指導を行った場合は、電子カルテの「指導記録ツール」を用いて指導内容を記録すること。指導医は、研修医に指導した内容を必ず記録に残すこと
- 12月：医療DX推進体制整備加算の施設基準の届出書の提出を行い算定開始(加算3)
- 12月：東北厚生局へ、施設基準「感染対策向上加算1」の経過措置届出書の提出を行った
- 1月：在宅療養指導料の「慢性心不全患者」において、第1回目の指導介入が行われ算定を行った
- 1月：診察券のリニューアルを行い、1/20より配付開始。変更希望者には、1度のみ無料で配付を行うこととした。リニューアルの内容は、裏面に「休日のお知らせ」、「HPの外來診療予定表を表示させるバーコードを添付」、「HPのURLの表示」、「マイナ受付の推奨案内」を記入
- 2月：オンライン資格確認の生保対応開始
- 2月：医科歯科連携始動に向け、菊田課長が南東北病院を視察
- 2月：先の診療情報管理委員会で決議された、入院診療計画書に栄養課の文言を追加することについて、2/17より運用開始

- 2月：第2回DPCコーディング委員会を開催し、「多発病態のコーディング」について説明。医局会で周知を行った
- 2月：入院時支援加算1の算定に向けたPFMの新しい運用として、個人情報保護の観点から、相談室①②を看護面談で使用することに決定。それに伴い、相談室で行っていた栄養指導をホールボディカウンター室で行うことに決定。また、混雑緩和を目的に、多目的室を予約入院受付コーナーとして使用し、薬剤部による持参薬の預かりと事務書類確認を行うことが決定。プレ運用を実施した
- 2月：5月からHCU病床が8床から12床へ増床することが決定され、施設基準の届出準備開始
- 3月：「人生の最終段階における適切な意志表示の決定に関するマニュアル」が完成
- 3月：第2回保険診療に関する講習会「保険診療の理解と入院診療計画」をマイページにて開催
- 3月：第1回身体的拘束の基準に関する講習会「身体的拘束最小化研修」をマイページにて開催

<令和7年度目標>

- ・正しく保険請求を行い、算定漏れをなくし、査定率・返戻率を減らすことを推進する。
- ・診療報酬についての情報を取得するなど自ら学び、理解し、算定項目や算定件数の増加を図るとともに「費用をかけずに収益改善」を目指す。
- ・施設基準を正確に把握し、新規取得、変更届出、定例報告、適時調査等に適切に対応する。
- ・DPCコーディングの精度を上げ、医業収益の向上に貢献する。
- ・マイナンバーカード・電子処方箋等の国が推進する制度に適切に対応し、業務の効率化を図る
- ・適切な医事データの収集及び発信を行うことにより医療の質の向上に貢献する。
- ・令和8年度の診療報酬改定情報を取得し内容を正確に把握。必要事項を正しく整備するとともに関係部署への情報共有等を行う。新設の加算については、費用対効果を算出し新規取得を目指すかの判断を正しく行う。
- ・施設基準、診療報酬改定、データ分析、DPCコーディングに対応できる人材育成。

健診課

【健診センター長】 黒田 聖仁

【健診課長】 田畑 友子

【保健師】 渡辺 由佳、赤間 由美、渡辺 純枝、齋藤かおり

【事務員】 渡辺真奈美(～6月)、美野 陽子、渡邊 幸子、山岸真記子、
鳴原 直美(8月～)

<令和6年度実績>

1. 健診実績

	2023年度	2024年度	前年度比
人間ドック	435名	552名	117名
政府管掌(一般・付加)	999名	1,033名	34名
福島市民検診	477名	420名	△57名
一般健診	526名	538名	12名
健康診断	991名	1,074名	83名
特定健診	224名	226名	2名
その他	689名	618名	△71名
健診件数合計	4,341名	4,461名	120名
健診収益	82,456,904円	91,492,092円	9,035,188円

2. 保健指導実績

	2023年度	2024年度	前年度比
保健指導 人数	440名	479名	39名
収益	4,056,985円	4,054,563円	△2,422円

3. 甲状腺検査実績

	2023年度	2024年度	前年度比
甲状腺検査 人数	66名	48名	△18名
収益	572,088円	417,351円	△154,737円

令和6年度は単価の高い健診予約に心がけ、特に人間ドック受診者増となったことが、健診収益増加の大きな要因であった。

保健指導の実施人数・収益はほぼ前年同様であった。特定健診の継続受診者においては保健指導や受診勧奨の成果により保健指導対象外となる方も多くみられた。

職員健診について、受診報告書の管理・未報告職員に再通知・受診勧奨・統計業務の充実を図り、マイページ等で職員へ周知した。また、安全衛生委員会において二次受診率の状況、継続未受診者への対応方法等について検討を行った。

<令和7年度目標>

(1) 健診・保健指導収益について

① 健診の収益アップ

- 人間ドック・一般健診件数の増加：単価の高いドックや一般健診枠を多く確保することで、限られたマンパワー・スペースでの収益増を目指す。
- 料金改定：胃検査での内視鏡検査差額料金設定、脳ドック・乳癌検診の料金改定により増収を目指す。
- オプション検査検討：受診者のニーズや必要性にあったオプション検査を検討し、新規オプション検査の設定により、疾病予防に貢献するとともに増収を目指す。

② 保健指導の指導内容の充実と収益維持

- 初回面接率100%、脱落率の低下を目指す。

(2) 業務改善について

- 新人職員教育マニュアルの活用：作成したマニュアルに従い、新人職員を育成する。
- 業務マニュアル・業務分担の検討：各種マニュアルに従った業務を遂行する中で、限られたマンパワー下での効率的な業務を常に意識して業務にあたり、改善策に繋げる。また、一回/月のセンターミーティングを継続し、業務について検討・共有する。
- 業務に関する研修会受講：各種研修を受講し伝達講習をすることにより、健診業務・保健指導の全体としてのレベルアップを図る。
- スタッフ間の良好なコミュニケーション：少ない人数で成果をあげるため、良いコミュニケーションで業務にあたる。

(3) 経営改善に対する意識の向上

- センターミーティング等で、全スタッフが目標を共有する。

(4) 職員の健康管理の充実について

- 要精査・要治療者に対する受診勧奨・未受診者に対する受診勧奨を行い、二次検査受診率向上を目指す。また、産業医との連携を密にとっていく。
- 感染管理室業務に協力し、職員のワクチン接種(インフルエンザ・コロナワクチン以外)を引き続き当課で行う。

(5)労働安全衛生活動について

- 安全衛生委員会の活動として、衛生管理者による職場ラウンドを実施し労働安全上のリスクを軽減する。また、職員健診の二次受診率等の情報を安全衛生委員会において共有する。

※労働安全衛生法で、衛生管理者による職場巡視は週1回以上が義務づけられている。

第1種衛生管理者免許保持者：渡辺由佳・渡辺純枝・(新規で細川梨香子を登録予定)

患者サービス推進室

【室長】菅野直樹

<令和6年度実績>

1. 患者相談室一次対応者会議開催(11回)
2. 患者対応相談員カンファレンス開催(29回)
3. 患者相談対応件数(60件)

<令和7年度目標>

「親しまれる病院」として、患者・家族が安心して治療・療養を送ることができるよう相談体制と環境整備を構築する。

31. 医療安全推進室

【医療安全推進室長】出羽明子(副院長)

【医療安全管理者】奈良輪弘美(看護師長)

【医療安全推進室員】
武井明美(看護副部長)
橋本健一(臨床工学技士課長)
川村早苗(薬剤部病棟業務課長)
佐藤美千子(生理検査課長)
海藤隆紀(画像情報係長)
本田浩紀(総務課主事)

<令和6年度実績>

1. 医療安全研修
1)医療メデイエーションについて 資料・動画学習+振り返りテスト
受講人数：567名
2)心理的安全性と医療安全 資料・動画学習+振り返りテスト
受講人数：554名
3)「一次救命処置：BLS研修」
受講人数 看護職：277名 看護職以外：207名
4)新採用職員オリエンテーション：医療安全

2. QCサークル活動

実施月日	項目
5月24日	QCサークル活動キックオフ
7月5日	活動計画書提出
11月15日	中間報告書提出
1月10日	原稿データ提出
1月20日	QCサークル活動発表会
1月21日	QCサークル活動発表会
1月26日	最優秀賞：外来 優秀賞：HCU・3F病棟・5B病棟

3. 医療安全対策および医療安全推進室の活動

実施月	項目	対策等の活動内容
通年	医療安全推進室メンバーによる安全ラウンド	医療安全ラウンド、医薬品・医療機器安全ラウンド及びヒヤリハット・アクシデント発生時のラウンドを実施する。
通年	医療安全研修について	マイページ配信による研修を企画
通年	医療安全推進室カンファレンス	毎週木曜日に前週1週間に報告のあった事例について共有・分析して対策を検討
通年	医療安全推進小委員会チーム活動	①患者誤認防止対策チーム ②転倒転落防止対策チーム ③薬剤管理安全対策チーム
医療安全対策①	ペン型注入器注射針による針刺し事故防止対策	ペン型注入器注射針によるリキャップによる針刺し事故防止のため、より取り付けしやすい針ケース・針キャップのペン型注入器注射針に変更を再度施設課と共同しておこなった。
医療安全対策②	男性用尿失禁管理製品の導入	膀胱留置カテーテル自己除去予防対策の選択用品として、感染管理認定看護師・WOCと検討し、コンビンセキュアーEを導入した。製品について、導入理由・装置の仕方など勉強会を実施した。
医療安全対策③	院内病棟トイレ・シャワー室に禁煙表示	トイレから喫煙臭の報告があり、個室空間において禁煙を表示することで、院内禁煙であることを周知した。
医療安全対策④	手術同意書の書式を変更	手術同意書の記載不備や記載漏れに対し、患者・家族が同意書の内容を理解し、記載しやすいように整えた。

<令和7年度目標>

1. 医療安全ラウンド

- 1) 医薬品・医療機器安全ラウンド・コメディカル部門安全ラウンド・医療安全環境ラウンド・転倒転落ラウンド等、院内各部署のラウンドを実施する。
- 2) ラウンド結果は各部署にフィードバックし必要時改善計画書の提出を求める。
- 3) ヒヤリハット・アクシデント事例発生時には随時ラウンドを実施する。

2. 医療安全研修会開催

- 1) マイページから資料・動画を配信して確認テストを実施する。
- 2) BLS研修を職員対象に行う。

3. 医療安全推進室カンファレンス開催

毎週木曜日に、前週に発生したヒヤリハット・アクシデント事例について分析と対策立案を行ないフィードバックする。

4. ヒヤリハット・アクシデント報告の電子カルテシステムを導入する
5. 医療安全地域連携の相互評価を実施して当院の安全対策向上に努める
6. QCサークル活動の推進

32. 感染管理室

【室 長】 中村耕一郎(神経内科部長 兼 感染管理室長)

【室 員】 北村 慶(感染管理特定認定看護師)

1. 研修会開催

1) 院内感染研修

実施月日	対象者		テーマ	参加人数
4月3日	新人入職者(医師、看護師、薬剤師、事務等)		福島赤十字病院における感染対策	36名
5月23日～7月31日	全職員	第1回	「手指衛生サーベイランス」	567名
12月23日～2月7日	全職員	第2回	「医療関連感染サーベイランス」	559名

- 2) 各病棟 5月 標準予防策
- 3) 看護補助者研修 10月 環境からの感染を防ぐ
- 4) 5B病棟 10月 カテーテル関連尿路感染サーベイランス
- 5) 委託職員 11月 手指衛生
- 6) 地域連携主催研修会 11月 災害時の感染対策
- 7) HCU 11月 人工呼吸器関連肺炎
- 8) 3F 11月 カテーテル関連尿路感染サーベイランス
- 9) 中途採用者 適宜 福島赤十字病院における感染対策

2. 感染対策(感染管理室およびICTの活動)

実施月	項目	対策などの活動内容
通年	感染対策マニュアルの改訂	内容追加・見直し
通年	手指衛生サーベイランス	手指消毒量払い出し量調査、直接観察
通年	耐性菌サーベイランス	JANIS(全入院患者部門、検査部門)
通年	VAEサーベイランス	HCU
通年	CAUTIサーベイランス	HCU、3F、5B
通年	SSIサーベイランス	JANIS
通年	感染対策ニュースレター発信	10回院内グループウェア配信
通年	院内感染対策委員会議事録の配信	12回院内グループウェア配信
通年	ICTラウンド	52回目的別ラウンドを実施(抗菌薬・耐性菌・環境ラウンドなど)
通年	感染研修の実施	1.1)参照
通年	職業感染防止(ワクチン接種)	HBVワクチン、麻疹・風疹・水痘・ムンプス、インフルエンザ、COVID-19

実施月	項目	対策などの活動内容
通年	感染対策向上加算合同カンファレンス	4回開催(藤田病院、わたり病院、第一病院、西部病院、福島市保健所、県北保健所、福島市医師会、伊達市医師会、連携クリニック)
通年	感染対策向上加算相互評価	2回開催(福島県立医科大学病院、済生会福島中央病院)
通年	福島県立医科大学病院主催カンファレンス	4回参加
令和6年 9月30日	令和6年度福島市感染症対策ネットワーク推進会議	福島市保健所
令和7年 2月14日	令和6年度新興感染症対応実践訓練	福島市保健所、講師
令和7年 2月20日	令和6年度福島空港新型インフルエンザ検疫措置訓練	福島空港
令和7年2月	日本赤十字社北海道東北ブロック感染管理ネットワークセミナー主催	アウトブレイクについて
通年	結核接触者調査	結核届出数3件
通年	保健所へ感染届提出	発生届8件(結核届を除く)
通年	院内感染対策事例対応	30件

<令和7年度目標>

1. 院内感染防止
標準予防策の徹底(主に手指衛生)
2. 感染研修の開催
参加者に沿った内容の研修を企画し実施する。
3. 感染対策向上加算1
合同カンファレンス、相互ラウンドの実施
4. 地域連携
地域開催の会議に出席
5. ICT活動を通じて感染対策の充実を図る
 - 1) ICT会議、目的別ラウンドを週1回開催する。
 - (1) 1患者日あたりの手指消毒剤使用量の増加
 - (2) 接触予防策ラウンド等の指導項目が改善される
 - (3) 手術部位感染(SSI)サーベイランスの継続と、フィードバック
 - (4) カテーテル関連尿路感染(CAUTI)サーベイランスの継続と、フィードバック
 - (5) 人工呼吸器関連事象(VAE)サーベイランスの継続と、フィードバック
 - (6) 手指衛生サーベイランスの継続と、感染対策リンクナースと協力し直接観察実施、手指消毒剤使用量の増加
 - (7) 中心ライン関連血流感染(CLABSI)サーベイランスの開始
6. 抗菌薬適正使用支援チーム活動の活発化
 - (1) 届出抗菌薬投与患者ラウンドの定期的な実施(1回/週)
 - (2) 投与患者に対し効果的な各種培養検査を推奨
 - (3) 抗菌薬適正使用関連感染研修の開催(2回/年)



33. 診療支援室

【診療支援室長】 菊田 基晴(兼 医事課長)

【診療支援係長】 高田日出子

【事務員】 樋口 由紀、山岸 優子、菅野 香子、鈴木 幸子、木村 仁美、
齋藤 有沙、根本 美穂、松川いつか、井上 希美、鈴木かおり、
須永万里子、岡崎さゆり、藪内 銀河

<令和6年度実績>

- 1) 「入院総括」作成支援及び作成率向上に貢献
- 2) 病棟入院患者「実施済注射伝票」「実施済配置薬」入力支援
- 3) 「紹介状」入力支援
- 4) 外来診察代行入力支援
(循環器内科、眼科、リウマチ膠原病内科、消化器内科、脳神経外科)
- 5) 問診票入力支援(呼吸器内科、消化器内科、糖尿病代謝内科、リウマチ膠原病内科)
- 6) 指導料・管理料代行入力支援
- 7) 文書作成支援
- 8) 返書作成支援
- 9) 予約入院パス代行入力支援
- 10) NCD症例登録支援
- 11) 福島県循環器疾患発症登録(心筋梗塞、急性死、脳卒中)支援
- 12) JND症例登録支援
- 13) JOANR症例登録支援
- 14) FFN-J症例登録支援
- 15) 緩和ケアチーム症例登録支援
- 16) JANIS症例登録
- 17) がん登録

<令和7年度目標>

- 1) 上記1)～17)を継続し医師の負担軽減に努める。
- 2) 医師事務作業補助体制加算20対1体制の継続



34. 地域医療連携室

【室長】 伊藤 和子

地域医療連携係

【係長】 松田千絵美(地域医療連携係長)

【看護師】 野田 江美

【事務員】 阿部 暁子、高田 淳子

<令和6年度実績>

地域医療支援病院の紹介率算定対象である初診の紹介件数は7,301件(前年度比+690件)と前年度より増加、逆紹介件数は7,455件(前年度比+44件)、紹介率は123.2%、逆紹介率は125.8%と高い率を維持している。紹介率・逆紹介率はともに地域医療支援病院の基準値を上回り、安定した数値で経過している。紹介・逆紹介数上位の医療機関は下記の通りである。

紹介			逆紹介		
1	福島県立医科大学附属病院	629件	1	福島県立医科大学附属病院	1009件
2	わたり病院	235件	2	わたり病院	472件
3	きっかわ皮膚科	184件	3	北福島医療センター	294件
4	うめつL Sクリニック	184件	4	大原医療センター	289件
5	大原総合病院	177件	5	大原総合病院	260件
6	おがたクリニック	161件	6	あづま脳神経外科病院	260件
7	北福島医療センター	153件	7	やざわみほこレディーヌクリニック	174件
8	みみ・はな・のど まついクリニック	143件	8	うめつL Sクリニック	148件
9	むつみ脳神経外科	141件	9	公立藤田総合病院	140件
10	桑名医院	140件	10	南東北福島病院	137件
11	皮フ科丹治クリニック	124件	11	西口クリニック婦人科	132件
12	おおたけ内科循環器科クリニック	122件	12	桑名医院	120件

共同利用については、CTは13医療機関より計273件(前年度比+0件)、MRIは14医療機関より計108件(+13件)、脳波は5医療機関より46件(-1件)、関節エコーは2医療機関より88件(+69件)、骨塩定量は4医療機関より71件(+13件)、神経伝導速度測定は1医療機関より5件(-1件)であった。CT・MRI共同利用の上位の医療機関は下記の通りである。

CT			MRI		
1	君島乳腺クリニック	85件	1	西口クリニック婦人科	30件
2	さくま内科クリニック	65件	2	わたり病院	24件
3	村上耳鼻咽喉科	43件	3	ライフ・ナビクリニック	17件
4	スリープ呼吸器内科クリニック	34件	4	かわかみ整形外科クリニック	9件
5	新浜町脳神経外科・内科クリニック	17件	5	後藤整形外科	7件

地域医療従事者研修会は、主にハイブリッド形式にて下記の通り開催した。

	内容・講師	対象	日時	参加者数
1	シリーズ『災害に備えて』第一弾 総論 講師：日本赤十字社福島県支部 野崎 謙司	地域の医療従事者 ・介護職員等	5月29日(水) 18:00~	院外17名 院内3名
2	シリーズ『災害に備えて』 第二弾 非常食と平時食 講師：福島赤十字病院栄養課 管理栄養士 野沢 雅美	地域の医療従事者 ・介護職員等	10月10日(木) 18:00~19:00	院外12名 院内9名
3	シリーズ『災害に備えて』第三弾 感染対策 講師：福島赤十字病院 感染対策室 感染管理特定認定看護師 北村 慶	地域の医療従事者 ・介護職員等	11月27日(水) 18:00~19:00	院外4名 院内7名
4	シリーズ『災害に備えて』 第四弾 スキンケア 講師：福島赤十字病院 皮膚・排泄ケア認 定看護師 佐藤 美絵	地域の医療従事者 ・介護職員等	12月12日(木) 18:00~19:00	院外5名 院内3名
5	シリーズ『災害に備えて』第五弾 認知症 講師：福島赤十字病院 認知症看護認定看 護師 佐川 奈美子	地域の医療従事者 ・介護職員等	1月17日(金) 18:00~19:00	院外7名 院内5名
6	シリーズ『災害に備えて』 第六弾 メンタルケア 講師：福島赤十字病院 地域医療連携室 医療福祉係長 PSW 菅野 直樹	地域の医療従事者 ・介護職員等	2月20日(木) 18:00~19:00	院外2名 院内4名

	内容・講師	対象	日時	参加者数
7	BLS(Basic Life Support) 一次救命処置について+実技 講師：救急看護認定看護師・外来師長 渡邊あゆみ	地域の医療従事者 ・介護職員等	7月30日(火) 18:00~19:00	院外8名
8	脳外科救急疾患と現在の県北医療圏の体制 について 脳神経外科部長 脳卒中センター長 救急科部長 市川 剛	救急隊	7月12日(金) 17:30~18:30	院外46名 院内20名
9	講義 1)めまいと鼻出血の基本 耳鼻咽喉科部長 三浦 智弘 医師 2)循環器疾患の救急搬送 循環器内科部 草野 亮太 医師 症例検討 1)判断を迷った事案 伊達地方消防組合 高橋 亮輔 様 2)脳血管疾患を疑ったら・・・ 福島市消防本部 武山 智和 様 3)胆管炎によって敗血症を呈していた事例 福島赤十字病院 看護師 近藤 沙織 4)発症後、迅速なカテーテル治療によって 症状改善が得られた脳梗塞の一例 福島赤十字病院 看護師 梅宮 誠	救急隊	1月24日(金) 17:30~18:30	院外43名 院内32名
10	1)脳梗塞超急性期医療の進歩 手術で治る顔面の痛み・痙攣 講師：脳神経外科副部長 伊藤 裕平 2)呼吸器外科の最新の情報 講師：呼吸器外科部長 塩 豊	登録医・地域の医療従事者・介護職員等	11月6日(水) 18:30~	院外81名 院内90名
11	福島赤十字病院地域胃用連携講演会 「知っておきたい漢方薬～急性期での使い方～」 講師：安斎外科胃腸科医院 院長 安斎 圭一 先生	地域の医療従事者	6月20日(木) 18:15~19:30	院外16名 院内29名
12	こども虐待対応勉強会	大原綜合病院・わたり病院スタッフ他	11月12日(火) 17:30~19:00	院外16名 院内30名
13	こども虐待対応勉強会	大原綜合病院・わたり病院スタッフ他	2月18日(火) 17:45~19:00	院外13名 院内10名

<令和7年度目標>

1. 地域医療支援病院としての役割を果たす。
 - ①安定した紹介率・逆紹介率を維持する。
 - ②地域医療従事者研修会を開催し、地域の医療のレベルアップに寄与する。
 - ③地域医療支援委員会を開催し、地域の中での当院の課題を明らかにして対応に生かす。
2. 紹介患者のスムーズな受け入れに心がける。
 - ①近隣医療機関への協力を依頼し、可能な限り予約での来院をうながす。
 - ②即日診療依頼の不应需数を減少させる。
 - ③開業医訪問を定期的に行い、信頼関係を構築していく。

退院支援係・医療福祉係

【係 長】 高根 晴美(入退院支援係長・看護係長 退院支援担当)
菅野 直樹(医療福祉係長 精神保健福祉士)

【看護 師】 佐藤美智子(退院支援担当)

【社会福祉士】 丸山 絢子(退院支援担当)
助川智恵子(退院支援担当)
岡崎 美紀(退院支援担当)
渡邊 真衣(医療相談・患者サポート窓口担当)

<令和6年度実績>

患者の抱えている問題に対して相談員が対応した件数は下記の通りであった。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により患者数の減少と共に相談件数も減少していたが、昨年度の相談支援件数は大幅に増加した。退院支援においては、高齢・独居に加え認知症や悪性疾患等多問題のために退院を困難にしている入院患者増加の傾向は変わらず、問題解決のために、院内多職種との協働、また地域の医療機関・福祉・介護スタッフとの連携を密にし、合同カンファレンスの開催等を開催した。

相談員は看護職と福祉職が混在しているが、得意不得意分野を補い合える体制としている。また、勉強会を定期的に行うことにより、情報共有や学び合う機会を持ち、支援の質向上に努めてきた。

対応ケース実人数・・・3,996名(延べ相談件数10,644件)

主な相談援助調整内容・・・

退院支援に関するもの 3,542名(延べ相談件数9,578件)

他の病院転院 841名

* 連携バス利用：脳卒中165件 大腿骨頸部骨折120件

施設入所 352名

自宅退院 827名

* 在宅スタッフとの合同カンファレンス・・・212回

在宅療養・介護に関すること 228件

制度活用に関すること 96件

受診・受療に関すること 99件

経済的問題に関すること 13件

その他 389件

<令和7年度目標>

丁寧な面接と院内他職種との協働、地域の関係医療・福祉・介護スタッフとの連携に心がける。(常に患者の「生活」を柱に支援する。)

入退院支援センター

【看護師】 霜山 千秋、眞山 美里、石黒 理子(7/19～産休・育休中)

【事務】 ニチイスタッフ 2名 アメニティスタッフ 1名

<令和6年度実績>

入院が必要になった患者が安心して治療を受けながら入院生活を送ることができるよう支援することを目的としている。看護師が中心となり看護面談を行って患者情報を取得し、必要時には薬剤師やMSW等他職種との連携を図ることで、入院が予定された時から退院後の療養生活を見据えて必要な支援を早期に開始することができる。それにより、患者が一日も早く健康を回復し、住み慣れた生活の場に戻ることができることを目指している。また、事務担当者は、入院日までに必要な手続きや書類等についての説明を行い、準備をスムーズに行うことができるように支援している。入院当日は当センターに来室し、書類の確認の後に病棟からの迎えを待つが、入院前に関わりを持ったスタッフが迎えることで、患者の安心感につながるのではないかと考える。外来、病棟との情報共有が課題であったが、看護部との定期的な打ち合わせを行い、電子カルテ上

の伝達についてルール化した。

看護面談の対応は2,897件(予定2,113件、外来からの依頼即日対応784件)であった。

<令和7年度目標>

1. 患者が、入院後の治療・療養生活をイメージでき、安心して入院当日を迎えることができるようにする。
2. 入院前から退院後の生活を見据えた必要な支援につなげることができるようにする。
3. 外来、病棟との情報共有を行うことで、スムーズな入院支援を行うことができるようにする。

医療DX推進室

【室長】 二階堂雄平(兼 経営企画課)

【主事】 横山 剛(兼 医療情報システム課)

<業務内容>

□RPAの開発・導入・運用・管理

- ・定型業務をRPA化
- ・開発したロボットの運用設計と導入
- ・稼働中のロボット監視、障害対応、改修
- ・削減効果の可視化

□業務効率化とデジタル化の推進

- ・各部門と連携し、業務フローの見直しや改善を実施
- ・定型的・反復的な作業の自動化を推進
- ・新ツールやシステムの情報収集、導入、検証

<令和6年度実績>

□稼働中のロボットと人件費削減状況(※人件費：給与+賞与+社会保険料による概算)

年間人件費削減費用：¥17,895,550

Bizrobo!

ロボット	削減人件費	作業明細
疑い病名登録	¥12,784,200	電子カルテへの疑い病名登録作業を自動化 ※職員で行った場合
DPCベストタイミングリスト更新	¥1,219,416	DPCベストタイミングリストの自動更新
病棟別病床利用状況	¥203,236	病棟利用状況の自動更新
状態一括登録集計_身体拘束	¥203,236	身体拘束集計の自動更新
摂食機能療法コメント自動入力	¥406,472	脳卒中の既往歴がある患者に対し、患者伝言板へのコメント入力を自動化
入退院支援患者リストアップ	¥262,240	入退院支援加算を算定するための対象患者のリスト化を自動化
リハビリ実施計画書リマインドコメント	¥449,736	患者伝言版へリハビリ実施計画書の作成に関する催促コメント入力を自動化
病院ダッシュボード自動更新	¥1,625,640	システム掲示板に掲載するダッシュボードのデータ更新作業を自動化

UWSC

ロボット	削減人件費	作業明細
点数マスタ自動更新	¥44,799	医事システムの点数マスタ登録作業を自動化
患者プロフィールリカバリー	¥191,217	電子カルテの患者プロフィール修正作業
医事システム介護保険登録	¥341,458	医事システムへの介護保険登録作業を自動化
手術システムへマスタ更新	¥163,900	手術システムへのマスタ登録作業を自動化

他院から当院への病院見学実績(当院のRPAの取り組みについて)

日付	見学病院名	見学内容
2024年12月13日	古河赤十字病院	当院のRPAの取り組みについて
2025年1月23日	国際医療福祉大学	当院のRPAの取り組みについて
2025年3月14日	那須赤十字病院	当院のRPAの取り組みについて

発表

日付	発表者	イベント名
2024年12月11日	二階堂雄平	令和6年度 日赤版DX Webセミナー

〈令和7年度目標〉

ロボットの質向上

現場の要望やニーズに応えられるようロボットの開発技術向上を目指す。

生成AIによる議事録作成の推進

LINE Works AInoteを活用し、事務職を中心に会議の議事録作成を効率化する。

SMSを活用した患者連絡の導入

KDDI Message Castを利用し、これまで電話で行っていた診断書・各種文書連絡をショートメール化し、業務負担軽減を図る。

動画による患者説明の推進

MediOSを活用し、麻酔科・眼科での患者説明時間を大幅に短縮。
(従来の15~20分を約5分に削減し、年間数百万円規模の工数削減を見込み)

AI OCRによる伝票処理の自動化

AI OCRを導入し、請求伝票取り込みおよび勘定科目仕分けを自動化しバックオフィス全体の効率化を推進する。



35. 福島赤十字訪問看護ステーション

【スタッフ】 5名

【所 長】 齋藤 泉

【看護師】 高橋美千代、安田みどり、黒沢真由美、古関 梢

<令和6年度活動実績>

利用者数(のべ人数)	介護保険916人・医療保険108人	合計1,024人
新規利用者数	介護保険34人・医療保険22人	合計56人
訪問件数(のべ件数)	介護保険4,419件・医療保険584件	合計4,554件
介護保険単価(介護保険の収益/介護保険件数)	8,400円	
医療保険単価(医療保険の収益/医療保険件数)	11,900円	
在宅看取り数	15件	

- ・利用者数、新規利用者数ともに前年を下回った。訪問看護終了者が少なく、長期利用者が増加しているため新規利用者の受け入れが減少した。また、今年度はスタッフ1名が退職になり、3月より実質4名で業務にあたるため、新規利用者の受け入れを制限したためと考えられる。利用者のうち、母体病院又は主治医である利用者は4～6割であった。また、退院カンファレンスに積極的に参加し、入院中の患者が安心して在宅療養に移行できるよう支援していった。
- ・意思決定支援に焦点をあて、小集団活動を実施した。
- ・在宅サービスの需要は増加傾向にあると思われるが、市内に新規訪問看護ステーションの増加等の要因もあり新規利用者の獲得が厳しい状況にある。病院地域連携室との連携を密にし、新規利用者の受け入れを継続する。
- ・診療報酬改定に対応し、適切に加算の取得や管理を実施した。
- ・サービス内容については多様性であり、個別性のある支援が求められた。スタッフは、研修会等に積極的に参加しスタッフ1人1人の看護力やサービスの質向上に努めた。

<令和7年度目標>

- 1) 利用者の医師と人権を尊重し居宅で質の高い訪問看護の提供ができる
意志決定支援を充実させ療養者の意志を尊重した看護の提供をおこなう
倫理カンファレンスを充実させることで、個々のニーズを捉えた支援の提供をおこなう
- 2) 地域多職種と連携を強化し住み慣れた地域で療養生活を送れる
地域多職種とスムーズに情報共有できる体制を整え統一したケアの提供を実施する
病院多職種と連携し総合的なケアを提供する
- 3) 訪問看護の診療報酬を理解し健全なステーション運営ができる
看護業務内容とマニュアルを見直し、修正・作成を行う。新任看護師の教育を計画的に実施する
研修会に参加し看護力の向上を図る
看護体制強化加算1の取得をし、管理する

V

会議・委員会活動

1. 会議…………… 131
2. 病院運営に関する委員会…………… 143
3. 医療安全管理に関する委員会…………… 157
4. 診療に関する委員会…………… 162
5. 教育・研究に関する委員会…………… 172
6. 労務および安全管理に関する委員会… 175



1. 会議

1. 幹部会議	
開催日	議題
1：原則、毎週月曜日(祝日の場合は火曜日) 2：時間 8時15分から	1：病院および幹部週間行事予定等の確認 2：病院における経営方針及び業務の運営・管理に関する重要事項の審議 3：病院全体および各部門における運営等に関する報告、検討、協議事項の掌握 4：各部門(医療安全、感染他)情報共有伝達
令和6年4月	2日(火) 8日(月) 15日(月) 22日(月)
5月	7日(火) 13日(月) 20日(月) 27日(月)
6月	3日(月) 10日(月) 17日(月) 24日(月)
7月	1日(月) 8日(月) 16日(火) 22日(月) 29日(月)
8月	5日(月) 13日(火) 19日(月) 26日(月)
9月	2日(月) 9日(月) 17日(火) 30日(月)
10月	7日(月) 15日(火) 21日(月) 28日(月)
11月	5日(火) 11日(月) 18日(月) 25日(月)
12月	2日(月) 9日(月) 16日(月) 23日(月)
令和7年1月	7日(火) 14日(火) 20日(月) 27日(月)
2月	3日(月) 10日(月) 17日(月) 25日(火)
3月	3日(月) 10日(月) 17日(月) 24日(月)

2. 病院管理会議	
第1回	令和6年4月3日(水)
1. 収支状況及び令和6年度の予算 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より ・院内感染対策委員会 ・医療安全管理委員会 ・医療情報システム委員会 ・診療情報管理委員会 4. その他 ・教育研修推進室 ・総務課 ・医療情報システム課 ・医療の質向上委員会 5. 院長 ・令和6年度福島赤十字病院年間目標(重点事項) ・令和6年度副院長・院長補佐の所掌業務とセンター長体制について	
第2回	令和6年5月7日(火)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より 4. その他 ・教育研修推進室	

第3回	令和6年6月3日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・総務課 ・教育研修推進室 ・経営部会 ・診療情報管理委員会 ・医療情報システム検討委員会 	
第4回	令和6年7月1日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・医事課 ・教育研修推進室 ・総務課 ・医療DX推進室 	
第5回	令和6年8月1日(木)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システム課 ・教育研修推進室 ・総務課 	
第6回	令和6年9月2日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より <ul style="list-style-type: none"> ・診療材料購入等審議委員会 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・医事課 ・教育研修推進室 ・総務課 	
第7回	令和6年10月1日(火)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 救急・紹介患者お断り事例検討 4. 委員会より <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システム検討委員会 ・診療材料購入等審議委員会 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・医事課 ・教育研修推進室 ・総務課 ・経営企画課 	

第8回	令和6年11月5日(火)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 救急・紹介患者お断り事例検討 4. 委員会より ・外来委員会 ・コーディング委員会 ・診療材料購入等審議委員会 5. その他 ・教育研修推進室 ・経営企画課	
第9回	令和6年12月2日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 救急・紹介患者お断り事例検討 4. 委員会より ・災害対策委員会 5. その他 ・教育研修推進室 ・総務課 ・健診課 ・経営企画課 ・医療DX推進室	
第10回	令和7年1月6日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 救急・紹介患者お断り事例検討 4. 委員会より ・医療情報システム委員会 5. その他 ・教育研修推進室	
第11回	令和7年2月4日(火)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より ・医療安全管理委員会 ・診療情報管理委員会 ・教育研修推進委員会 ・災害対策委員会 4. その他 ・薬剤部 ・診療体制について	
第12回	令和7年3月3日(月)
1. 収支状況 2. 救急車収容状況等 3. 委員会より ・教育研修推進委員会 4. その他 ・用度施設課 ・経営企画課	

3. 総合戦略会議	
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営部会および医療の質向上部会から挙げられた議題の協議 ・ 病院の経営改善戦略の立案と推進
委員 長 副委員長	鈴木 恭一(院長) 大和田尊之(副院長 兼 地域医療連携責任者) 出羽 明子(副院長 兼 医療安全推進室長)
第 1 回	令和 6 年 4 月 30 日 (火)
1. 幹部より挨拶(鈴木院長) 2. 令和 6 年度議員の確認 3. 令和 6 年 3 月度収支状況 4. 医療の質向上部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネームカードのレイアウト変更について ・ 芽吹きの意見箱の投稿について ・ 満足度調査について 5. 経営部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度取り組み事項について ・ 令和 5 年度第 2 回経営改善説明会レポート 6. 事務局からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合戦略会議発足後の成果について ・ 院長補佐 4 名体制に関する院長コメントの発信と ・ 令和 6 年度病院目標の職員向けアナウンスについて 	
第 2 回	令和 6 年 5 月 31 日 (金)
1. 幹部より挨拶(出羽副院長) 2. 経営部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニックへの情報発信 ・ 健診課の収益増加 ・ HCUの診療報酬改定対応 ・ 加算の収益増加について ・ 令和 5 年第 2 回経営改善説明会アンケートから次回に向けて ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用削減 3. 医療の質向上委員会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員満足度調査結果を受けての対応について ・ 芽吹きの意見箱へのご意見について ・ 芽吹きの意見箱の優秀賞選出方法について ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会組織図の更新について 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ DPCベストタイミングリストWGで作成した運用案について 	

第3回	令和6年6月26日(水)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幹部より挨拶(大和田副院長) 2. 収支について 3. 医療の質向上部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの見解箱の表彰について ・芽吹きの見解箱への意見について ・次回機能評価受審対応について 4. 経営部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・開業医訪問について ・クリニックへの情報発信について ・健診課の収益増加について ・加算の収益増加について ・システム保守の削減について ・経営改善説明会について ・ゴールデンルース ・ベストタイミングリスト稼働の報告 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・福島県立医科大学 竹之下誠一先生の講演会開催について 	
第4回	令和6年8月8日(木)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幹部より挨拶(車田看護部長) 2. 令和6年6月度収支状況 3. 医療の質向上部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの見解箱の2023年度優秀賞について ・芽吹きの見解箱へのご意見について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの見解箱へのご意見について ・職員満足度調査について 4. 経営部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・クリニック訪問 ・クリニックへの情報発信 ・自費項目の見直しについて ・加算の収益増加について ・診療材料費の削減について ・システム保守料の削減 ・令和6年度第1回経営改善説明会について ○新規提案事項 <ul style="list-style-type: none"> ・「市民向けの広報」による、さらなる新入院患者数増加への取り組み ・救急医療管理加算 その他振り分けについて 5. 事務局からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度向上プロジェクトチームの立ち上げについて 6. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・8月2日 姫路赤十字病院 名誉院長の講演について 	

第5回	令和6年8月30日(金)
1. 幹部より挨拶(野田事務部長) 2. 収支報告 3. 医療の質向上部会からの報告 ○報告事項 ・芽吹きの見解箱へのご意見について ・新ネームカードの進捗について ・病院機能評価について ○協議事項 ・芽吹きの見解箱へのご意見について 4. 経営部会からの報告 ○報告事項 ・アクションプランの進捗について ・RPAの進捗状況について ・令和6年度第1回経営改善説明会について ・システム掲示板ダッシュボードの進捗状況について ・システム掲示板への高齢者当番表の掲載について 5. 事務局からの報告 ・職員満足度向上プロジェクトチームの立ち上げについて ・9月以降の総合戦略会議の議事次第について 6. その他	
第6回	令和6年9月30日(月)
1. 幹部より挨拶(渡部薬剤部長) 2. 収支報告 3. 医療の質向上部会 ・病棟マップの改修について 4. 経営部会からの報告 ○報告事項 ・アクションプランの進捗について ・システム掲示板への高齢者当番表の掲載について ○協議事項 ・令和6年度第1回経営改善説明会について 5. 事務局からの報告 6. その他	
第7回	令和6年10月31日(木)
1. 議員より挨拶(多田院長補佐) 2. 収支報告 3. 医療の質向上部会からの報告 ○協議事項 ・栄養評価の見直しについて ○報告事項 ・芽吹きの見解箱 3件 4. 経営部会からの報告 ○報告事項 ・クリニックへの情報発信 ・ステークホルダーへの広報・当院のブランディング強化 ・新入院患者数増加の取り組み ・加算の収益増加について ・診療材料費の削減について ・HCU稼働率の向上 ・令和6年度第2回経営改善説明会について ・ベストタイミングリストについて ・ダッシュボードについて 5. その他	

第8回	令和6年11月20日(水)
<p>1. 議員より挨拶(渡部院長補佐)</p> <p>2. 医療の質向上部会からの報告</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度調査の追加設問について <p>3. 経営部会からの報告</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニック訪問のWG作成について ・クリニックへの情報発信について ・広報、ブランディング強化について ・加算の収益増加について ・外来化学療法の入院移行について ・救急医療管理加算について ・経営改善説明会について <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ支援病院の指定について(野田事務部長) ・病棟ひっ迫時のベッドコントロールについて 	
第9回	令和6年12月26日(木)
<p>1. 議員より挨拶(渡部院長補佐)</p> <p>2. 医療の質向上部会からの報告</p> <p>○協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの見直しのご意見について ・職員満足度のフリー設問について <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの見直しのご意見について ・栄養評価の見直しについて ・医科歯科連携の進捗報告について <p>3. 経営部会からの報告</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニック訪問 ・クリニックへの情報発信 ・ステークホルダーへの広報、ブランディング強化 ・加算の収益増加について ・加算だポンの取り組みについて ・診療材料費の削減について ・HCUの増床について <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床ひっ迫に向けた会議の途中経過報告 	

第10回	令和7年1月31日(金)
1. 議員より挨拶(市川院長補佐) 2. 医療の質向上部会からの報告 ○協議事項 ・体重筋力測定WGより2月からの検証目的の運用開始について ○報告事項 ・2月5日 南東北病院郡山への医科歯科連携の見学について 3. 経営部会からの報告 ○報告事項 ・クリニック訪問 ・クリニックへの情報発信 ・市民、医療機関、その他ステークホルダーへの広報 ・加算の収益増加 ・診療材料費の削減について ・年末年始の稼働状況について ・直近の新入院患者分析 ・今後の救急需要について ・内科系1～2人医師診療科稼働について 4. 事務局からの報告 ・令和7年度の日程について 5. その他	
第11回	令和7年2月27日(木)
1. 議員より挨拶(中村院長補佐) 2. 医療の質向上部会からの報告 ○協議事項 ・芽吹き意見箱へのご意見 ・来年度の会議・委員会組織図について ○報告事項 ・芽吹き意見箱へのご意見について ・患者、職員満足度調査について ・医科歯科連携の進捗について ・病院機能評価「期中の確認」対応について ・体重・筋力測定WGからの進捗報告について 3. 経営部会からの報告 ○協議事項 ・加算の収益増加(入院時支援加算について) ○報告事項 ・アクションプランの進捗について ・経営改善説明会の実施報告 ・物価高騰対策支援金について ・2025年度紹介患者数目標について ・新入院患者数分析	
第12回	令和7年3月28日(金)
1. 議員より挨拶 岩崎看護副部長 2. 経営部会からの報告 ○協議事項 ・6Aの室料差額について ○報告事項 ・アクションプランの進捗について ・その他 3. 事務局からの報告 ・4月の日程について ・4月からの事務局について 4. その他	

4. 医療の質向上部会	
目 的	<p>当院のビジョンである「地域の人々から選ばれる病院」になる為に病院ブランドの向上を目的に次の事項を所掌する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社が定める臨床評価指標改善に向けた取り組み ・患者満足度、職員満足度向上の対策立案と実行および評価 ・委員会での取り組み結果のPR(患者及び職員向け) ・病院機能評価への対応および準備
委員 長 副委員 長	<p>出羽 明子(副院長 兼 医療安全推進室長) 多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者) 武井 明美(看護副部長)</p>
第 1 回	令和 6 年 4 月 15 日 (月)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 新委員の紹介 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの意見箱の進捗について ・外来患者満足度調査の結果報告 ・入院患者満足度調査の進捗報告 3. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ネームカードのレイアウト変更について ・職員満足度に関する意見交換 ・職員の評価制度について 4. その他 	
第 2 回	令和 6 年 5 月 20 日 (月)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度調査結果を受けての対応について ・職員間での表彰について ・芽吹きの意見箱へのご意見について ・芽吹きの意見箱の表彰について 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・看護部委員会について ・ネームカードデザインの変更について ・委員会組織再編について 3. その他 	
第 3 回	令和 6 年 6 月 17 日 (月)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの意見箱の表彰について ・芽吹きの意見箱へのご意見について ・次回病院機能評価受審対応について 2. その他 	
第 4 回	令和 6 年 7 月 12 日 (金)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの箱の表彰について 2. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・芽吹きの意見箱へのご意見について ・職員満足度調査について ・ネームカードの件 3. その他 	

第5回	令和6年8月19日(月)
1. 協議事項	・芽吹きの見解箱へのご意見について
2. その他	・病院機能評価について
第6回	令和6年10月21日(月)
1. 協議事項	・芽吹きの見解箱へのご意見について ・職員満足度調査のフリー設問について
2. 報告事項	・病院機能評価受審時の課題について
第7回	令和6年12月16日(月)
1. 協議事項	・芽吹きの見解箱へのご意見について ・職員満足度調査のフリー設問について
2. 報告事項	・栄養評価の見直しについて(WGの進捗報告) ・医科歯科連携の進捗について
3. その他	
第8回	令和7年2月17日(月)
1. 協議事項	・芽吹きの見解箱へのご意見について ・患者向け説明動画に関するアンケートについて ・来年度の会議・委員会組織図について
2. 報告事項	・患者、職員満足度調査について ・医科歯科連携の進捗について ・病院機能評価「期中の確認」対応について
3. その他	・来年度の委員、日程について

5. 経営部会	
目的	良質な医療の提供、及び健全な病院経営を行うには収益の改善が必須であることから、次の事項について検討を行う。 ①新入院患者数の増加/病床稼働率の向上 ②診療単価の向上 ③費用削減(材料費、医薬品費、保守費用など) ④職員の経営に対する意識の向上
部会長	二階堂雄平(経営企画課長)
第1回	令和6年4月18日(木)
1. アクションプラン進捗確認および令和6年度の取り組み事項について	経営企画課、医事課、用度施設課
2. その他	・第2回経営改善説明会のアンケート結果について

第2回	令和6年5月16日(木)
1.	アクションプラン進捗確認および令和6年度の取り組み事項について 経営企画課、医事課、用度施設課
2.	その他 ・令和5年度第2回経営改善説明会のアンケート結果より ・令和6年度第1回経営改善説明会の説明者について
第3回	令和6年6月19日(水)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療情報システム課
2.	その他 ・令和6年度第1回経営改善説明会について
第4回	令和6年7月18日(木)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療情報システム課
2.	その他 ・病院HPの活用「〇〇の日」コラボレーションについて ・さらなる新入院患者数増加の取り組み
第5回	令和6年8月15日(木)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療DX推進室
2.	経営改善説明会のアンケート結果について
3.	その他 ・【2019～2024年度】収支および科別稼働 ・システム掲示板掲載ダッシュボード途中経過について ・クリニック訪問より)「一般内科的な肺炎・尿路感染・腎盂腎炎などの紹介が行いづらい」への対応策について
第6回	令和6年9月19日(木)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療情報システム課、医療DX推進室
2.	その他 ・【2019～2024年度】診療科別稼働 ・令和6年度第2回経営改善説明会について(案)
第7回	令和6年10月24日(木)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療DX推進室
2.	その他 ・令和6年度第2回経営改善説明会について
第8回	令和6年11月14日(木)
1.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、医療情報システム課
2.	その他 ・令和6年度第2回経営改善説明会について
第9回	令和6年12月23日(月)
1.	HCUの増床について
2.	アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、医療情報システム課
3.	その他

第10回	令和7年1月16日(木)
1. アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課 2. その他 ①年末年始の稼働状況について ②直近の入院患者分析 ③今後の救急需要について ④腎臓内科について	
第11回	令和7年2月13日(木)
1. アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課、医療情報システム課 2. 令和5年度アクションプランの振り返り 3. その他 ①経営改善説明会アンケート結果報告 ②月別の新入院患者数目安と実績 ③直近の入院患者分析 ④補助金について	
第12回	令和7年3月17日(月)
1. アクションプラン進捗確認 経営企画課、医事課、用度施設課 2. その他 ①経営改善説明会アンケートについて ②HCUについて ③最近の入院患者分析 ④2月の入院稼働が高かった診療科 ⑤2025年4月以降の価格改定状況 ⑥ヒアリングで出た経営に関する検討事項 ⑦来年度の経営部会日程について	



2. 病院運営に関する委員会

6. 倫理委員会	
目的	本院及びその職員が人を対象とした医学の研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究及び医療行為を行う場合において、医の倫理に関するヘルシンキ宣言(1964年)の趣旨に添った倫理的配慮を図る。
委員長 副委員長	出羽 明子(副院長) 大和田尊之(副院長)
第1回	令和6年5月9日(木)
医薬品適正使用にかかる審議 1. 「血清レボフロキサシン点眼液」 2. 「0.5%バンコマイシン点眼液」 3. 「0.1%フルコナゾール点眼液」 4. 「5%塩化ナトリウム点眼液」 倫理審査申請 1. 「当院における胃液を用いたPCR法によるH.pylori診断について」 2. 「当院における頸部内頸動脈狭窄に対する血行再建術の治療成績」 3. 「当院における未破裂脳動脈瘤の治療成績」 4. 「当院におけるくも膜下出血の治療成績」 5. 「当院における急性期脳主幹動脈閉塞に対する治療成績」 新規医療技術実施申請 1. 「尿管摘出術」 2. 「経皮的エタノール注入療法用剤」 3. 「仙骨硬膜外腔神経破壊薬微量連続注入法」	
第2回	令和6年7月4日(木)
医薬品適正使用にかかる審議 1. 「ルゴール液1%」 2. 「点墨」 3. 「インフリキシマブ(レミケード)」 4. 「ベドリズマブ(エンタイビオ)」 5. 「ミコクエノール酸モフェチル(セルセプト)」 倫理審査申請 1. 「当院における脂肪肝症例のグラフ化体重記録の長期有用性についての検討」 2. 「令和6年度感染症流行予測調査」 3. 「日本産科婦人科内視鏡学会症例登録システムへの症例登録について」	
第3回	令和6年9月5日(木)
医薬品適正使用にかかる審議 1. 「ウロキナーゼ静注用6万単位」 倫理審査申請 1. 「経尿道的水蒸気治療」	
第4回	令和6年11月8日(金)
申請なし	

第5回	令和7年1月9日(木)
新規医療技術実施申請 1. 小児女児の鼠経ヘルニアに対する腹腔鏡下経皮内鼠経輪縫縮術(LPEC) 2. 術中迅速体腔液細胞診におけるLBCの検討 3. カフ型緊急時ブラッドアクセス用留置カテーテル挿入 倫理審査申請 1. 「消化器疾患に対する内視鏡診断の診断能ならびに周術期管理に関する研究」	
第6回	令和7年3月6日(木)
新規医療技術実施申請 1. 「経会陰的放射線治療用材料局所注入」	
迅速審査	
第1回	令和6年4月3日(水)
倫理審査申請 「膵・胆道癌疾患による悪性胆管狭窄に対する内視鏡的逆行性膵胆管造影検査および関連手技の治療成績に関する研究」	
第2回	令和6年5月27日(月)
医薬品適正使用にかかる審議 1. 「ルゴール液1%」 2. 「点墨」 3. 「インフリキシマブ(レミケード)」 4. 「ベドリズマブ(エンタイビオ)」 5. 「ミコクエノール酸モフェチル(セルセプト)」 倫理審査申請 1. 「当院における脂肪肝症例のグラフ化体重記録の長期有用性についての検討」 2. 「令和6年度感染症流行予測調査」 3. 「日本産科婦人科内視鏡学会症例登録システムへの症例登録について」	
第3回	令和6年8月20日(火)
医薬品適正使用にかかる審議 1. 「ウロキナーゼ静注用6万単位」 倫理審査申請 1. 「経尿道的水蒸気治療」	
第4回	令和6年9月3日(火)
申請事項なし	
第5回	令和6年9月6日(金)
新規医療技術実施申請 1. 小児女児の鼠経ヘルニアに対する腹腔鏡下経皮内鼠経輪縫縮術(LPEC) 2. 術中迅速体腔液細胞診におけるLBCの検討 3. カフ型緊急時ブラッドアクセス用留置カテーテル挿入 倫理審査申請 1. 「消化器疾患に対する内視鏡診断の診断能ならびに周術期管理に関する研究」	
第6回	令和6年10月22日(火)
新規医療技術実施申請 1. 「経会陰的放射線治療用材料局所注入」	
第7回	令和6年10月24日(木)
新規医療技術実施申請 1. 「腹腔鏡下ヘルニア修復術(腹膜外経路法、TEP)」	

第8回	令和6年11月11日(月)
新規医療技術実施申請 1. 「多関節鉗子(ARTISENTIAL®)を用いた腹腔鏡手術の導入	
第9回	令和6年12月18日(水)
新規医療技術実施申請 1. 「光学的診断(PDD: Photodynamic Diagnosis)補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術)	
第10回	令和7年1月15日(水)
倫理審査申請 1. 「液状化細胞診検体によるHPV遺伝子型とp16タンパク発現による子宮頸がん検査における有用性の検討」 2. 「非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法における、TCRレパトアの予後予測マーカーとしての有用性を検討する他施設共同研究」	

7. 治験審査委員会	
目的	「治験審査委員会標準業務手順書」参照
委員長	大和田尊之(副院長)
副委員長	児玉 健太(消化器内科部主任部長 兼 内視鏡センター長)
令和6年度会議開催実績なし	

8. 栄養管理委員会	
目的	本院の給食計画及び給食全般の改善実施について、検討並びに院長の諮問に応える。
委員長	渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 医療技術部長)
副委員長	大須賀文彦(外科部長)
	4月16日(火)
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理委員会委員変更 ・栄養指導件数、個別栄養食事管理加算件数 	

9. 診療材料等購入審議委員会	
目的	健全な業務運営に資することを目的として、本院において使用する診療材料の購入、使用及び管理等の適正化を図る。
委員長	渡部 研一(循環器内科部主任部長)
副委員長	大須賀 文彦(外科部長)
第1回	令和6年4月25日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会(委員紹介) 2. 診療材料の新規採用品(在宅自己注射・ペン型注入器用注射針) 3. 診療材料の新規採用申請品(アンイーブンダブルルーメンカニューレ) 4. 診療材料調達支援について(エム・シー・ヘルスケア株式会社) 5. 共同購入支援委託会社のご紹介(一般社団法人日本ホスピタルアライアンス(NHA)) 6. 定例会について 	
第2回	令和6年5月23日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(液状化検体細胞診(LBC法)の材料・ルナキャスト) 2. 価格削減交渉活動について(【診療材料品】2024年度削減目標金額、【2024年6月】ターゲット品目、【共同購入品】2024年度削減目標金額、【同種同効品】への切替提案) 3. NHA(共同購入)加盟による経費削減効果試算について 4. 委員会の令和6年度開催予定について 	

第3回	令和6年6月27日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(3M Microfoamサージカルテープ、エンドパスステイプラー Powered ECHELON FLEX3) 2. 医療消耗器具備品の新規採用申請品(整復用鉗子、腱誘導鉗子、開創器、鉗子) 3. 商品切替の提案(プラスチックエプロン、ゴーグルレンズ) 4. 価格削減交渉活動について(メディコン) 	
第4回	令和6年7月25日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(ワンウェイ検査用スカート、エスアイ・メッシュ) 2. 商品切替の提案(コネクティングチューブ ロールタイプ、オープン_輸液セット、脳波センサー) 3. 価格削減交渉活動について(メディコン、サンセイ、シバタインテック、三陽) 	
第5回	令和6年8月22日
<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプル結果の報告(プラスチックエプロン、ゴーグルレンズ) 2. 商品切替の提案(滅菌ガウン、プラスチック手袋、人工鼻、水硬化性スプリント) 3. 価格削減交渉活動について 4. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 5. 今後の委員会・見本市の開催予定 	
第6回	令和6年9月18日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員紹介 2. 診療材料の新規採用申請品(コンビーンセキュアE、LigaSure XP Maryland) 3. サンプル結果の報告(コネクティングチューブ ロールタイプ、オープン_輸液セット、脳波センサー) 4. 商品切替の提案(ディスポーザブルSpO2センサ、皮膚縫合器、ドレープ_四角巾) 5. 価格削減活動について 6. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 7. 見本市の開催予定 	
第7回	令和6年10月16日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(エンドクリップⅢ) 2. サンプル結果の報告(滅菌ガウン、プラスチック手袋、人工鼻、水硬化性スプリント) 3. 商品切替の提案(洗浄吸引管_電極付き、麻酔用マスク_エアークッション、携帯型ディスポ注入ポンプ_PCA型) 4. 価格削減活動について 5. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 6. 見本市の開催予定 	
第8回	令和6年11月21日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(タイレーンメッシュ、ハンドピース) 2. サンプル結果の報告(滅菌ガウン、ディスポーザブルSpO2センサ、皮膚縫合器、ドレープ_四角巾) 3. 商品切替の提案(スプリント材、エコプローブカバー、眼科キット) 4. 価格削減活動について 5. 共同購入見本市(10月22日、23日開催)について 6. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 7. 見本市の会場予約 	
第9回	令和6年12月18日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(ArtiSentialバイポーラプリアイスダイセクタ、ArtiSentialニードルホルダー) 2. サンプル結果の報告(滅菌ガウン、ディスポーザブルSpO2センサ、皮膚縫合器、ドレープ_四角巾、麻酔用マスク_エアークッション、携帯型ディスポ注入ポンプ_PCA型) 3. 商品切替の提案(滅菌ラップ、器械台カバー、麻酔回路・バッグ、手術用キット、フィルムドレッシング) 4. 価格削減活動について 5. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 	

第10回	令和7年1月23日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(ブラッドアクセスUKカフ付カテーテル) 2. サンプル結果の報告(ディスプレイSpO2センサ、麻酔用マスク_エアークッション) 3. 商品切替の提案(吸引チューブ) 4. サンプル評価進捗報告 5. 価格削減活動について 6. 第2回共同購入見本市について 7. 師長会報告事項(サンプル商品検討依頼実施) 	
第11回	令和7年2月20日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(Dr.HUBYポートクリーナー医療用綿棒、シリコンソラシクカテーテル、ラッププロテクター、サクシオンボール・コアギュレーター) 2. サンプル結果の報告(スプリント材、洗浄吸引管_電極付き、器械台カバー) 3. 商品切替の提案(CVポート穿刺針、ラリングマスク) 4. サンプル評価進捗報告 5. 価格削減活動について 6. 第2回共同購入見本市の結果報告 	
第12回	令和7年3月27日
<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療材料の新規採用申請品(サクシオンボール・コアギュレーター、包埋カセット、経腸用輸液セット) 2. サンプル結果の報告(洗浄吸引管_電極付き、携帯型ディスポ注入ポンプ_PCA型、エコプローブカバー、滅菌ラップ、形成外科キット、吸引チューブ) 3. 商品切替の提案(酒精綿、イメージカバー、顕微鏡カバー) 4. サンプル評価進捗報告 5. 価格削減活動について 6. その他(令和7年度委員会、見本市 開催予定) 	

10. 災害対策委員会	
目的	災害発生時における医療救護及び被害の拡大防止・災害復旧並びに災害・火災から職員、患者の生命、身体及び施設等を守るため、災害・防火対策に関する必要な事項を定める
委員長 副委員長	市川 剛(脳神経外科部長 兼 救急科部長) 渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 医療技術部長) 中村耕一郎(脳神経内科部主任部長)
第1回	令和6年5月30日(木)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の災害対策委員会委員について 2. 今年度の救護班編成・DMAT隊員の状況等について 3. 昨年度の訓練等実施状況、今年度の災害救護訓練・研修会について 4. 日本赤十字社福島県支部災害救護訓練について 5. 今年度の院内災害訓練について 6. その他 	
第2回	令和6年10月16日(水)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の災害対策委員会委員について 2. 令和6年7月25日からの大雨災害にかかるこころのケア班の派遣について 3. 訓練・研修参加報告 4. 日本赤十字社福島県支部災害救護訓練について 5. 災害対策マニュアルの見直しについて 6. 今年度の院内災害訓練について 7. その他 	

第3回	令和6年11月27日(水)
1. 訓練・研修参加報告 2. 訓練・研修予定 3. 日本赤十字社福島県支部災害救護に関する打ち合わせについて 4. 災害対策マニュアルの見直しについて 5. 今年度の院内災害訓練について 6. その他	
第4回	令和7年1月22日(水)
1. 訓練・研修・会議予定 2. 救護倉庫の片付けについて 3. 災害対策マニュアルの見直しについて 4. 今年度の院内災害訓練について 5. その他	
第5回	令和7年3月19日(水)
1. 訓練・研修・会議予定 2. 令和7年度の災害対策委員会スケジュール 3. 令和6年度院内災害訓練振り返り 4. その他	

11. 医療情報システム検討委員会	
目的	病院の医療情報の一元化を図り、総合的な医療情報システムの確立、段階的に診療システム導入としてオーダリングシステム、電子カルテシステムの構築など将来的なシステムに関する事項を調査検討して、導入の可能性の有無及び導入時期・システム規模等について審議する。
委員長 副委員長	多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者) 渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 医療技術部長)
第1回	令和6年5月22日(水)
1. 委員会規定について ○既定の変更、委員の確認 2. 【報告事項】 (1)システムの機能変更の報告 ○感染症画面への項目追加(HBs抗体、HBc抗体) ○深部静脈血栓・肺血栓塞栓症リスク評価表テンプレートへの一括なしボタン追加 3. 【協議事項】 (1)機能追加・変更について ○栄養管理システムの食材の検収に係る帳票のカスタマイズ(栄養課)【有償】 ○病理検査用検体ラベルの発行について(検査部病理検査課)【有償】 ○患者バーへの免疫チェックポイント阻害薬投与患者のアイコン表示について(化学療法検討委員会より) 4. 【各部署より定例報告】 5. 【その他連絡事項】 ○診療報酬改定に係る電子カルテの変更点について(5/31(金)適用 停止なし) ○ホームページサーバ移行に伴うメール設定変更作業のお知らせ ○各部署システム担当者連絡用のLINEグループ作成について	

第2回	令和6年10月1日(火)
1. 報告事項 (1) 診療報酬改定について ○長期収載品のオーダー方法について (2) システムの機能変更の報告 ○患者プロファイルへの項目追加 免疫チェックポイント阻害薬使用歴、及び患者バーへのアイコン表示 ○病理検査ラベルの印刷機能追加 ○病棟マップレイアウト変更差額部屋の料金表示及びトイレシャワーの表示 2. 協議事項 (1) 機能追加・変更等について ○手術術式の科別マスタ整備について (2) BCP対策について ○システム停止時の業務継続(IT-BCP)の検討および承認について 3. 各部署より定例報告 4. その他連絡事項	
第3回	令和6年11月8日(金)
1. 協議事項 (1) 機能追加・変更等について (2) BCP対策について ○サイバー攻撃を受けた場合の事業継続計画(IT-BCP)の検討および承認について 2. 各部署より定例報告 3. その他連絡事項	
第4回	令和7年1月23日(木)
1. 【報告事項】 (1) 健診システムのオンライン資格確認対応について (2) HCU稼働率増加の取り組みに関するシステム改修 HCU稼働率増加に向けて、以下2点のシステム改修を行いました。 ・テンプレートのER_トリアージ記録にHCU入室を促すガイドの表示 ・文書作成の入院診療計画書にHCU入室を促すガイドの表示 2. 【協議事項】 (1) 外来表示盤の科とブロックの組み合わせを自由にする対応について	

12. 地域医療連携運営委員会	
目的	本院と地域の医療機関が診療に関して緊密な連携を図ることにより、地域医療により良い環境を整える。
委員長 副委員長	鈴木 恭一(院長) 伊藤 和子(地域医療連携室長)
	令和6年7月24日(水) 16:30~17:20
1. 委員の変更について 2. 規約の改定 3. 報告事項 1) 実績報告 ①紹介率・逆紹介率 ②不応需件数 ③キビタン健康ネット利用状況 4. 検討事項 1) キビタン健康ネット利用者のID取得について 2) 令和6年度地域連携懇話会について	

13. 地域医療支援委員会	
目 的	本院と地域の医療機関が診療に関して緊密な連携を図ることにより、地域医療により良い環境を整える。
委 員 長 副委員長	鈴木 恭一(院長) 大和田尊之(副院長)
第 1 回	令和 6 年 5 月 16 日(木) 17:30~18:45
	1. 令和 6 年度地域医療連携運営委員の変更 委嘱について 2. 令和 5 年度実績報告 1) 紹介率・逆紹介率 2) 共同利用件数 3) 救急外来患者状況 4) 地域医療従事者研修会 3. 令和 6 年度目標数値・医療従事者研修会予定 4. 情報提供 1) 県北医療圏MDC別退院患者数について 5. その他 1) 当院からのお知らせ ①脳卒中センター、副鼻腔センター、IVL治療について ②2週間ホルター心電図について 2) 働き方改革の影響について
第 2 回	令和 6 年 8 月 21 日(水) 17:30~18:45
	1. 令和 6 年度地域医療連携運営委員の変更 委嘱について 2. 実績報告(令和 6 年 4 月~6 月) 1) 紹介率・逆紹介率 2) 共同利用件数 3) 救急外来患者状況 4) 地域医療従事者研修会予定と実績 3. 福島市における医科歯科連携について 4. 地域連携懇話会について
第 3 回	令和 6 年 11 月 6 日(水) 18:00~18:30
	1. 委員の委嘱 2. 実績報告(令和 5 年 4 ~ 9 月) 1) 紹介率・逆紹介率 2) 共同利用件数 3) 救急外来患者状況 4) 地域医療従事者研修会予定と実績
第 4 回	令和 7 年 2 月 19 日(水) 17:30~18:30
	1. 実績報告(令和 5 年 4 月~12 月) 1) 紹介率・逆紹介率 2) 共同利用件数 3) 救急外来患者状況 4) 地域医療従事者研修会予定と実績 2. 最近の地域連携の状況について
14. 病床管理委員会	
目 的	ベッドコントロールの円滑化と病床の有効活用
委 員 長 副委員長	大和田尊之(副院長) 車田 真美(看護部長)
令和 6 年度活動実績なし	

15. 外来運営委員会	
目 的	外来診療の適正な管理、運営を図ることを目的とする
委 員 長 副委員長	大和田尊之(副院長) 多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者) 安達 明美(外来看護師長)
第 1 回	令和 6 年 6 月 28 日(金) マイページ開催
【報告事項】 診察室変更についてのお知らせ	
第 2 回	令和 6 年 8 月 2 日(金) マイページ開催
【報告事項】 1. Eブロック診察室運用変更について 2. 「検査結果等の複写依頼」の取扱いについて	
第 3 回	令和 6 年 9 月 25 日(水)
【決議事項】 1. 「診察室の運用変更について」と「運用変更時の今後の対応方法」について 2. 紹介状作成時の宛先選択について	
【報告事項】 1. マイナ保険証の利用促進に向けて 2. 「在宅療養指導料」の算定対象患者拡大について	
第 4 回	令和 6 年 12 月 13 日(金) マイページ開催
【報告事項】 1. 「患者呼込表示盤」のシステム改修の詳細について	

16. 診療報酬適正化委員会	
目 的	本院における適正算定及び査定防止を図る。
委 員 長 副委員長	大和田尊之(副院長) 遠藤 豪一(外科部主任部長)
第 1 回	令和 6 年 4 月 25 日(木)
1. 令和 5 年 11 月、令和 5 年 12 月診療分保険査定について 2. その他	
第 2 回	令和 6 年 6 月 20 日(木) (マイページ開催)
1. 令和 6 年 1 月、令和 6 年 2 月診療分保険査定について 2. その他	
第 3 回	令和 6 年 8 月 15 日(木) (マイページ開催)
1. 令和 6 年 3 月、令和 6 年 4 月診療分保険査定について 2. その他	
第 4 回	令和 6 年 10 月 17 日(木) (マイページ開催)
1. 令和 6 年 5 月、令和 6 年 6 月診療分保険査定について 2. その他	
第 5 回	令和 6 年 12 月 25 日(水)
1. 令和 6 年 7 月、令和 6 年 8 月診療分保険査定について 2. その他	
第 6 回	令和 7 年 2 月 26 日(水)
1. 令和 6 年 9 月、令和 6 年 10 月診療分保険査定について	

17. 薬事委員会	
目的	本委員会は、福島赤十字病院における医薬品の適正な管理と効率的な運用を目指すために設立された。その目的は、医薬品管理の標準化を達成することによって、診療部門における医療の質を保つことに貢献すると共に、病院経営上のコストベネフィットを向上させる事である。そのために本委員会では、有効性、安全性、経済性、合理性、フェアネスを基準として採用可否を審査している。
委員長 副委員長	渡部 寿康(薬剤部長) 中村耕一郎(脳神経内科部主任部長)
第1回	令和6年5月13日(月)
	1. 臨時採用、新規採用、及び左記に対する削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延・再開、販売中止) 4. 産科部門の閉鎖に伴う関係薬剤の削除薬の検討 5. 後発品の変更 6. 期限間近の医薬品について
第2回	令和6年7月8日(月)
	1. 臨時採用、新規採用、院外限定採用、及び左記に対する削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延・再開、自主回収、販売中止) 4. 直近6ヶ月間の未使用薬剤に対しての削除候補薬の検討 5. 後発品への変更
第3回	令和6年9月9日(月)
	1. 臨時採用、新規採用、院外限定採用、及び左記に対する削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延・再開、自主回収、販売中止) 4. 院内フォーミュラーの改訂(骨粗鬆剤の追加) 5. 令和6年度インルエンザワクチン株の決定・供給について 6. 副作用報告
第4回	令和6年11月15日(金)
	1. 臨時採用、新規採用、及び左記に対する削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延・限定出荷解除) 4. 医薬品の新規・臨時申請について 5. 副作用報告
第5回	令和7年1月15日(水)
	1. 臨時採用、新規採用、院外限定採用、削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延、販売中止、限定出荷解除) 4. 後発品の変更
第6回	令和7年3月10日(月)
	1. 臨時採用、新規採用、院外限定採用、削除品の検討 2. DI情報(添付文書改訂) 3. 薬剤流通に関する情報(供給遅延・再開、販売中止) 4. 後発品の変更 5. 院内フォーミュラーの改訂(眠剤部門の追加)

18. 顧客サービス・広報委員会	
目的	療養環境・職場環境・接遇の改善等により、顧客(患者)の満足度を向上させ、顧客(患者)を意識した正確な情報発信を検討する。
委員長 副委員長	野田 誠(事務部長) 市川 剛(脳神経外科部長 兼 医局長) 渡邊あゆみ(看護部外来看護師長)
第1回	令和6年4月26日(金)
	1. 来月の主な行事等 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について Facebook更新 病院ホームページ更新 ・診療科の医師紹介ページの更新 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等

第2回	令和6年5月24日(金)
1. 来月の主な行事等 ・6/14 福島高校医療現場体験があります ・6/25 防災訓練 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第3回	令和6年6月28日(金)
1. 来月の主な行事等 ・7/9 福島県立医科大学 竹之下理事長による講演 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ・内視鏡紹介ホームページのリニューアル 4. 患者満足度調査の結果と今後の取り組みについて 5. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第4回	令和6年7月26日(金)
1. 来月の主な行事等 ・8/2 姫路赤十字病院名誉院長による経営改善講演 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について 4. シニアカー及び電動車いすの院内利用について 5. 各部署で検討した患者満足度調査の今後の取り組みについて 6. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第5回	令和6年8月23日(金)
1. 来月の主な行事等 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ※“少ないご意見数”、“特段の審議事項なし”等で、マイページにて開催	
第6回	令和6年9月27日(金)
1. 来月の主な行事等 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ・病院ホームページのバナー更新 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第7回	令和6年10月25日(金)
1. 来月の主な行事等 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第8回	令和6年11月22日(金)
1. 来月の主な行事等 ・12/10(火) 消防訓練 ・12/24(火) クリスマスコンサート 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第9回	令和6年12月20日(金)
1. 来月の主な行事等 ・1/6 院長の新年のあいさつ 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	

第10回	令和7年1月24日(金)
1. 来月の主な行事等 ・2/3 接遇研修 ・2/20 接遇研修 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ・ホームページに腎臓内科のページを作成 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第11回	令和7年2月28日(金)
1. 来月の主な行事等 ・3/1 院内災害訓練 ・3/10～3/21 看護師インターンシップ 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ・プレスリリース済 院内災害訓練 4. その他 各部門からの情報提供、懸案事項等	
第12回	令和7年3月21日(金)
1. 来月の主な行事等 ・4/1 辞令交付式 ・4/1～4/3 新入職員オリエンテーション 2. ご意見箱について 3. 広報業務(Facebook、Webサイト等)について ・ホームページ リウマチ・膠原病内科のページ作成 ・Facebook 辞令交付式、オリエンテーションの様子を掲載予定 4. 患者満足度調査の実施について 5. その他 ※“少ないご意見数”、“特段の審議事項なし”等で、マイページにて開催	

19. 日赤通り編集小委員会	
目 的	当院広報誌「日赤通り」の内容を考案する。
委 員 長	渡部 研一(循環器内科部主任部長)
第1回	令和6年4月16日(火)
1. 日赤通り編集小委員会について 2. 日赤通りの今後の方向性 3. 検討事項について 4. 次号内容(案)について	
第2回	令和6年7月10日(水)
1. 検討事項について 2. 次号内容(案)について	
第3回	令和6年9月17日(火)
1. 次号内容(案)について 2. 検討事項について	
第4回	令和6年12月12日(木)
1. 次号内容(案)について 2. 検討事項について	
第5回	令和7年2月14日(金)
1. 次号内容(案) 2. 検討事項 3. その他 ・来年度の見積もりについて ・日赤通りのマイページ上などでの配布方法の移行について ・広報アワードへのエントリーについて	

20. 個人情報保護委員会	
目 的	患者様、職員の個人情報を適正に管理するための規則の取り決め、周知、教育を行う。
委 員 長	野田 誠(事務部長)
第 1 回	10月30日 多目的ホール②
報告事項 (1)個人情報保護委員会名簿について(資料①) (2)個人情報本社報告案件について(難病受給者証渡し間違い事案)当日口頭説明 (3)職員間での患者情報の不適切な取り扱い事案について 協議事項 (1)職員間での患者情報の不適切な取り扱い事案による対応策について (2)患者向けの面会に関する同意書の様式・運用の見直しについて	
	8月27日
マイページで個人情報保護研修を実施	

21. 省エネルギー推進委員会	
目 的	本委員会は福島赤十字病院の省エネルギー活動を効果的に推進することを目的として、省エネ法に適合したエネルギー管理方針を定め運用する。
委 員 長 副委員長 エネルギー管理 企画推進委員	野地 幸次(用度施設課長) 野田 誠(事務部長) 濱名 正美
第 1 回	令和6年5月17日(金)
1. 委員の名簿について 2. 令和5年度エネルギー使用量まとめ 3. 令和6年4月エネルギー使用量について 4. ES事業者から ・エネルギー使用状況報告について ・省エネ施策の結果 5. 空調管理規定、電気機器管理規定について 6. 省エネパトロールについて 7. クールビズのご協力について	
第 2 回	令和6年7月17日(水)
1. 令和6年5月、6月のエネルギー使用量について 2. ES事業者から ・エネルギー使用状況報告について ・省エネ施策の結果 3. 空調管理規定、電気機器管理規定について 4. 啓蒙、啓発活動について (1)省エネパトロールについて (2)省エネのお願いの放送について	
第 3 回	令和6年12月5日(木)
1. 令和6年7月～11月のエネルギー使用量について 2. ES事業者から ・エネルギー使用状況報告について ・省エネ施策の結果 3. 空調管理規定、電気機器管理規定について 4. 啓蒙、啓発活動について ・省エネパトロールについて	

第4回	令和7年2月10日(月)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年12月、令和7年1月エネルギー使用量について 2. ES事業者から <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用状況報告について ・省エネ施策の結果 3. 空調管理規定、電気機器管理規定について 4. 日本赤十字社における気候変動対応基本方針について 5. 啓蒙、啓発活動について <ul style="list-style-type: none"> ・省エネパトロールについて 	



3. 医療安全管理に関する委員会

22. 医療安全管理委員会	
目的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委員長 副委員長	出羽 明子(副院長 兼 医療安全推進室長) 野田 誠(事務部長)
第1回	令和6年4月25日(木)
	1. 医療安全管理委員会規程変更 2. 医療安全管理マニュアル変更 3. アクシデント報告 4. 深部静脈血栓・肺血栓塞栓症リスク評価表について 5. 医療安全推進小委員会報告 6. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 7. 3月分死亡患者カルテ確認結果報告 8. 令和5年度RRTチーム報告 9. 医薬品等の適応使用説明書・同意書の申請
第2回	令和6年5月23日(木)
	1. アクシデント報告 2. カルテ表記の黄色い付箋の付け方について 3. 令和6年度QCサークル活動について 4. 医療安全推進小委員会報告 5. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 6. 4月分死亡患者カルテ確認結果報告
第3回	令和6年6月27日(木)
	1. アクシデント事例検討 2. 同意書マニュアルの追加 3. 医療安全推進小委員会報告 4. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 5. 5月分死亡患者カルテ確認結果報告
第4回	令和6年7月25日(木)
	1. アクシデント事例検討 2. バイオシミラーの説明・同意書 3. 仙骨硬膜外腔神経破壊薬微量連続注入に関する説明・同意書の申請 4. 救急搬送された患者の誤認防止対策について 5. 日本赤十字社 医療安全・知恵の輪 6. 患者・家族からの暴言・暴力に対する対応について 7. 医療安全推進小委員会報告 8. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 9. 6月分死亡患者カルテ確認結果報告
第5回	令和6年8月22日(木)
	1. アクシデント事例検討 2. 院内における写真・動画撮影・録音等の案内について 3. 医療安全管理マニュアルの改訂について 4. 医療安全推進小委員会報告 5. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 6. 7月分死亡患者カルテ確認結果報告
第6回	令和6年9月27日(金)
	1. アクシデント事例検討 2. 医薬品適応外使用説明・同意書の申請 3. 手術同意書について 4. 医療安全推進小委員会報告 5. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 6. 8月分死亡患者カルテ確認結果報告
第7回	令和6年10月24日(木)
	1. 身体的拘束最小化チームより申請 2. アクシデント報告 3. 胃バリウム検査問診兼同意書申請 4. 医療安全推進小委員会報告 5. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 6. 9月分死亡患者カルテ確認結果報告 7. RRT・RSTチームカンファレンス報告 8. 輸血療法委員会より輸血中の観察ルール見直しと輸血副作用発生時のフローについて

第8回	令和6年11月28日(木)
1. 部門システムの代行入力・承認について 2. 医薬品適応外使用説明書・同意書の変更 3. 「レベル3b以上事例の外部専門家の意見」依頼 4. 包括同意書関連とオプトアウト 5. CT・MRI読影及び病理・細胞診レポート未閲覧報告 6. 医療安全推進小委員会報告 7. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 8. 10月分死亡患者カルテ確認結果報告	
第9回	令和6年12月24日(火)
1. アクシデント報告 2. 医薬品適応外使用同意書の改訂 3. 医療安全推進小委員会報告 4. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 5. 11月分死亡患者カルテ確認結果報告 6. QCサークル活動について 7. 医療安全対策地域連携加算相互ラウンドについて 8. クレーム対応のポイント・ハードクレームの対応フローについて	
第10回	令和7年1月29日(水)
1. DNARに関する説明書の申請 2. 化学療法委員会より「悪性腫瘍に対する薬物療法の説明及び同意書」の申請 3. アクシデント報告 4. 医療安全推進小委員会報告 5. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 6. 12月分死亡患者カルテ確認結果報告 7. QCサークル活動報告発表会評価結果 8. ヘパリンロックシリンジの流通減少に伴う対応	
第11回	令和7年3月5日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 意志決定支援に関するマニュアルについて 3. 院内における写真・動画撮影、録音等の掲示内容追加 4. 保険外負担料金同意書の変更 5. クレーム対応のポイント・ハードクレームの対応フローについて 6. 医療安全推進小委員会報告 7. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 8. 1月分死亡患者カルテ確認結果報告	
第12回	令和7年3月27日(木)
1. 意志決定支援に関するマニュアルについて 2. 身体拘束最小化チーム整備による抑制帯に関する運用変更について 3. 輸血拒否と免責に関する同意書について 4. 室料差額同意書の変更につて 5. カスタマーハラスメント対策について 6. 包括同意書について 7. 医療安全推進小委員会報告 8. 一次対応者および重症患者サポート・カンファレンス報告 9. 2月分死亡患者カルテ確認結果報告	

23. 医療事故調査委員会

令和6年度開催なし

24. 医療安全推進委員会

目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	中村耕一郎(脳神経内科部主任部長)
副委員長	奈良輪弘美(看護師長 医療安全管理者)
第1回	令和6年4月19日(金)
1. 医療安全推進小委員会メンバーについて 2. 医療安全推進小委員会規程 3. 3月の医療安全管理委員会報告 4. 患者相談カンファレンス報告 5. チーム活動計画	
第2回	令和6年5月17日(金)
1. 4月の医療安全管理委員会報告 2. QCサークル活動について 3. チーム活動	

第3回	令和6年6月21日(金)
1. 5月の医療安全管理委員会報告 2. チーム活動	
第4回	令和6年7月19日(金)
1. 6月の医療安全管理委員会報告 2. チーム活動	
第5回	令和6年8月16日(金)
1. 7月の医療安全管理委員会報告 2. チーム活動	
第6回	令和6年9月20日(金)
1. 8月の医療安全管理委員会報告 2. 第1回医療安全研修報告 3. カルテ表記 黄色い付箋の付け方について 4. チーム活動報告・活動	
第7回	令和6年10月18日(金)
1. 令和6年度医療安全推進小委員会委の変更 2. 9月の医療安全管理委員会報告 3. 令和6年度QCサークル活動中間報告 4. チーム活動	
第8回	令和6年11月15日(金)
1. 10月の医療安全管理委員会報告 2. チーム活動	
第9回	令和6年12月20日(金)
1. 11月の医療安全管理委員会報告 2. 第2回医療安全研修報告 3. 令和6年度院内BLS研修について 4. 医療安全対策地域連携加算相互評価 5. チーム活動	
第10回	令和7年1月17日(金)
1. 12月の医療安全管理委員会報告 2. チーム活動	
第11回	令和7年2月21日(金)
1. 1月の医療安全管理委員会報告 2. 令和6年度QCサークル活動評価結果 3. ヘパリンロックシリンジ流通減少に伴う対応 4. チーム活動	
第12回	令和7年3月21日(金)
1. 2月の医療安全管理委員会報告 2. 令和6年度チーム活動報告	

25. 院内感染対策委員会	
目 的	院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理の万全を期す。
委 員 長	中村耕一郎(脳神経内科部主任部長 兼 感染管理室長)
副委員長	緑上 淳一(薬品管理課長)
第1回	令和6年4月9日
1. 3月分データ報告 2. 3月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・令和6年度 感染対策向上加算カンファレンス計画	
第2回	令和6年5月7日
1. 4月分データ報告 2. 4月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・感染対策マニュアル COVID-19追加について	

第3回	令和6年6月11日
1. 5月分データ報告 2. 5月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・2023年医療関連感染サーベイランス報告について ・令和6年度第1回感染対策向上加算合同カンファレンス参加報告	
第4回	令和6年7月9日
1. 6月分データ報告 2. 6月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・夜間休日感染管理担当看護師不在時の感染発生届マニュアルについて ・血液培養ボトル出荷制限について	
第5回	令和6年8月13日
1. 7月分データ報告 2. 7月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・COVID-19 ワクチン接種について(一般患者・職員)	
第6回	令和6年9月10日
1. 8月分データ報告 2. 8月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・インフルエンザワクチンの納品について ・コロナワクチン(コミナティシリンジ)について	
第7回	令和6年10月8日
1. 9月分データ報告 2. 9月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・感染症法に基づく医療措置協定の締結等について ・職員のインフルエンザワクチン接種について	
第8回	令和6年11月12日
1. 10月分データ報告 2. 10月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・コミナティの液漏れの件について ・一般患者のインフルエンザ予防接種の件について ・院友会より小旅行(バスを使用)の希望があった件について	

第9回	令和6年12月10日
1. 11月分データ報告 2. 11月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・消毒液の採用メーカーについて	
第10回	令和7年1月12日
1. 12月分データ報告 2. 12月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・高齢者新型コロナウイルス・インフルエンザ定期予防接種期間延長について	
第11回	令和7年2月10日
1. 1月分データ報告 2. 1月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・「感染対策マニュアル 季節性インフルエンザ」の改訂について	
第12回	令和7年3月11日
1. 2月分データ報告 2. 2月分感染症発生届 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4. AST報告について 5. その他 ・2024年 1患者日あたりの手指消毒薬使用量結果 ・院内感染防止のためのCOVID-19抗原定量スクリーニング検査体制について ・職員がコロナになった際の患者のスクリーニング検査について	

26. 医療従事者負担軽減対策委員会	
目 的	医療従事者の負担軽減及び処遇改善に係る計画の策定と実行、評価。
委 員 長	鈴木 恭一(院長)
副委員長	市川 剛(脳神経外科部長 兼 医局長)
第1回	令和6年8月8日(木)
1. 医療従事者の負担軽減及び処遇改善計画 令和5年度目標の達成状況 令和6年度目標 2. 令和6年度委員会委員	
第2回	令和6年12月12日(木)
1. 医療従事者の負担軽減及び処遇改善計画 令和6年度目標の達成状況 2. 医療従事者負担軽減委員会の今後の進め方について	



4. 診療に関する委員会

27. クリニカルパス委員会	
目 的	良質な医療を提供するため各部門参画によるチーム医療の推進を図る。
委 員 長 副委員長	阪本 貴之(循環器内科部長 兼 医局長) 多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者)
第1回	令和6年6月13日
・今年度の委員について ・委員会規約の改定について ・パスの承認について ・パス適用率の推移 ・クリニカルパスの運用について ・診療報酬改訂について ・アウトカム量的監査について ・パス通信について	

28. 輸血療法委員会	
目 的	輸血療法の適応、血液製剤の保管管理、使用状況、適正使用の徹底及び輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策について検討し、適正な輸血療法を推進する。
委 員 長 副委員長	菅野有紀子(消化器内科部長) 出羽 明子(副院長 兼 麻酔科部長)
第1回	令和6年5月29日(水)
1. 血液製剤の使用状況(3月、4月分) 2. 令和5年度まとめ 3. 委員会規程改訂および委員会開催曜日変更について 4. 令和7年福島県輸血懇話会について	
第2回	令和6年7月19日(金)
1. 血液製剤の使用状況(5月、6月分) 2. 令和6年および令和7年福島県輸血懇話会について	
第3回	令和6年9月20日(金)
1. 血液製剤の使用状況(7月、8月分) 2. 令和6年および令和7年福島県輸血懇話会について	
第4回(臨時)	令和6年10月23日(水)
1. 輸血中の観察ルール見直しについて 2. 輸血副作用発生時のフロー作成について	
第5回	令和6年11月15日(金)
1. 血液製剤の使用状況(9月、10月分) 2. 輸血中の観察ルール見直しおよび副作用発生時の対応フローについて 3. 院内輸血研修会について	
第6回	令和7年1月17日(金)
1. 血液製剤の使用状況(11月、12月分) 2. 院内輸血研修会について	
第7回	令和7年3月21日(金)
1. 血液製剤の使用状況(1月、2月分) 2. 院内輸血研修会報告	

29. 臨床検査適正化委員会	
目 的	この臨床適正化委員会は福島赤十字病院臨床検査の管理、運営上の適正化を図るとともに重要事項を審議し、管理運営に万全を期するため、院内各部署と連携を密にし、もって当院の発展に寄与する事を目的とする。
委 員 長 副委員長	小林 利美(検査部技師長) 紺野 直紀(消化器内科部長)
第 1 回	令和 6 年10月30日(水)
	1. 令和 5 年度日本医師会臨床検査精度管理調査結果報告 2. 新規採用検査項目について HE4 UGTA1A
第 2 回	令和 7 年 3 月17日(月)
	1. 令和 6 年度福島県臨床検査技師会精度管理調査結果報告 2. 令和 6 年度医師会臨床検査精度管理調査結果報告 3. 骨髓検査を外注検査へ 4. 梅毒の試薬変更について 5. 尿試験紙変更について 6. パニック値について経過報告

30. 診療情報管理委員会	
目 的	本院における診療情報の適正な保管・管理を図るとともに、診療・調査研究等に対し有効に活用できることを定める。
委 員 長 副委員長	多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者) 渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 医療技術部長)
第 1 回	令和 6 年 5 月22日(水)
	<協議事項> 1. 診療録作成指針の内容変更について 2. 入院診療計画書の見直しについて <報告事項> 1. 診療情報管理委員会規程の見直しについて
第 2 回	令和 6 年11月 8 日(金)
	<協議事項> 1. 指針の変更について 2. オーダー権限の付与について <報告事項> 1. 診療録監査の報告について <連絡事項> 1. 長期収載品の選定療養における入力について 2. 自費診療(インフルエンザワクチン)のカルテ記載について 3. 「入院診療計画書」「退院療養計画書」の仮保存・確定保存について
第 3 回	令和 6 年11月21日(木) マイページ開催
	<報告事項> 1. 「入院病室ネームプレートの掲示や面会の案内について」の様式変更について <協議事項> 1. 入院病室ネームプレートの掲示や面会の案内について 全患者の取得およびスキャン(マトリックスへの取り込み)をすることについての是非

第4回	令和6年12月9日(月) マイページ開催
<協議事項> 1. 電子カルテシステム職種入力権限一覧について 「リハビリ総合実施計画書」を追加し、権限を「医師事務作業補助者」に付与し、備考欄に「プログレスノートで代行・承認記録」と記載することについて	
第5回	令和6年12月25日(水) マイページ開催
<協議事項> 1. 「令和6年度、第2回入院診療記録の監査」実施とその内容について	
第6回	令和7年1月21日(火) マイページ開催
<協議事項> 1. 電子カルテシステム職種入力権限一覧のリハビリ総合実施計画書に「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」の権限を追加することについて <報告事項> 1. 療記録等開示実施要項の一部変更について 2. 入院診療画書の一部追記について	
第7回	令和7年2月10日(月) マイページ開催
<報告事項> 1. 入院診療記録監査結果報告について	

31. 手術室運営委員会	
目的	手術室の円滑な運営を図るため
委員長 副委員長	出羽 明子(副院長 兼 麻酔科部長) 江花 英明(麻酔科副部長) 泉 弘子(手術室看護師長)
第1回	令和6年4月12日(金)
1. 手術室運営委員会の規定 2. 手術室運営委員名簿 3. 手術スケジュールについて 水曜日手術枠の運用の決定 4. 手術室タスクシフト/シェア(眼科手術：視能訓練士の参入) 5. 医療材料(在庫使用協力をお願い) 6. その他	
第2回	令和7年3月19日(水)
1. 手術室枠の変更希望について(外科、整形)外科佐藤佳宏医師より 2. 令和7年度手術室運営委員について 3. 手術室申し込みについて 手術・麻酔科依頼の手順の確認 4. 術後疼痛管理チームの活動について(術後管理チームプロトコル、回診マニュアル) 5. その他	

32. 救急センター運営委員会	
目的	ERを利用する救急患者への対応に関する事項を審議し、ERにおける業務の適正かつ円滑な運営を図る
委員長 副委員長	市川 剛(脳神経外科部長 兼 救急科部長 兼 脳卒中センター長 兼 救急センター長) 渡邊あゆみ(看護部外来看護師長)
	令和6年12月19日
・包括同意書について	

33. ハイケアユニット運営委員会	
目 的	ハイケアユニットの適正な運営を図る。
委 員 長 副委員長	江花 英朗(麻酔科部副部長) 出羽 明子(副院長 兼 麻酔科部長)
第1回	令和6年5月27日(月)
	1. 今年度の役員について 2. 昨年度のHCUの入室状況・収益 3. HCU看護必要度の見直しについて 4. HCUの見直しについて 5. その他
第2回	令和6年10月28日
	1. 上半期の入室状況 2. 2次救急当番日の空き病床について 3. 感染病床配置について 4. 新しい人工呼吸器の説明
第3回	令和7年1月27日
	1. 今年度の加算取得状況 2. 増床計画について 3. 患者受け入れについて 4. 連絡体制について

34. NST委員会	
目 的	入院患者に適切かつ効果的な栄養管理を行い、治療効果の向上を図る。
委 員 長 副委員長	多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長) 三浦 将克(5B病棟看護師長 兼 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師) 野崎 華織(管理栄養士)
第1回	令和6年4月23日(火)
	1. 令和6年度NST委員会メンバーについて 2. NSTチーム、ラウンド報告 3. GLIM基準を用いた栄養診断の導入 4. NST委員会の役割 5. NST採血セットの運用 6. 2024年度の委員会の開催日時について 7. その他
第2回	令和6年5月28日(火)
	1. NST委員会役割分担 2. 委員会運営についての変更事項 3. NST規約の改定 4. 2024年度の委員会の開催日時について 5. その他
第3回	令和6年7月26日(金)
	1. GLIM、院内研修広報チーム活動報告 2. 委員会日程、開催場所変更のお知らせ 3. その他
第4回	令和6年10月4日(金)
	1. NSTフォーラム報告 2. GLIM、院内研修広報チーム活動報告 3. その他
第5回	令和6年11月1日(金)
	1. GLIM、院内研修広報チーム活動報告 2. NST専門療法士の取得に向けて 3. その他
第6回	令和7年2月7日(金)
	1. GLIM、院内研修広報チーム活動報告 2. 第32回NSTフォーラム開催のお知らせ 3. その他
第7回	令和7年3月14日(金)
	■体重測定WGと合同開催■ 1. GLIM、院内研修広報チーム活動報告 2. NST専門療法士研修のお知らせ 3. 来年度のNST委員会予定

35. 化学療法検討委員会	
目的	化学療法を実施するにあたって、施設・設備などのハードウェア面、医師・看護師・薬剤師などのスタッフ面、セーフティーマネジメントなどの運用面など、充足すべき課題を検討し、化学療法を安全に、安心して実施するための基本的な考え方、具体的な方法を審議する。また、外来化学療法を実施するための運用についても審議し、実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し承認する委員会を兼ねる。
委員長 副委員長	菅野有紀子(消化器内科部長) 矢澤 浩之(産婦人科部長)
第1回	令和6年5月21日
	1. 定例報告(外来化学療法実施件数、調製件数、栄養指導件数) 2. 新規、変更申請レジメンの承認 3. ICI歴有患者のカルテへのアイコン新規追加 4. 乳癌初回ホルモン単独療法患者に対するHBVスクリーニングについて 5. ケモ施行患者に対する同意書について 6. irAEに対しての使用適応外薬剤について 7. バイオシミラーの使用について 8. 指導料件数報告と今後の改善施策について 9. 委員の変更について 10. 委員会の運営と委員会規約についての変更事項 11. 診療報酬改定について
第2回	令和6年8月20日
	1. 定例報告(外来化学療法実施件数、調製件数、栄養指導件数) 2. 新規、変更申請レジメンの承認 3. 初回ホルモン単独療法患者に対するHBVスクリーニングについて 4. 診察前の薬剤師面談の開始について 5. ケモ施行患者に対する同意書簡略化について 6. irAE逆引きマニュアルの承認 7. 指導料件数報告 8. 委員の変更について 9. KDP業務改善&見える化プロジェクトについて
第3回	令和6年11月19日
	1. 定例報告(外来化学療法実施件数、調製件数、栄養指導件数) 2. 新規、変更申請レジメンの承認 3. irAEに対しての使用適応外薬剤について 4. 緊急で使用するレジメンの臨時申請について 5. 当院の化学療法の現状の報告 6. 一部化学療法の入院移行検討について
第4回	令和7年2月18日
	1. 定例報告(外来化学療法実施件数、調製件数、栄養指導件数) 2. UGT1A1検査結果報告までの大幅な時間短縮について 3. レジメン内の薬剤変更の承認 4. 抗がん剤オーダーとデカドロン錠の処方オーダーを連動させる運用について 5. 外来栄養食事指導料の算定について 6. 指導料件数と当院の化学療法の現状の報告 7. 化学療法・がん免疫療法の説明及び同意書について 8. 一部化学療法の入院移行検討について

36. 緩和ケア委員会	
目 的	生命を脅かす疾患に直面した全ての患者とその家族に、早期より全人的苦痛に対する適切な緩和ケア提供を推進する。
委 員 長 副委員長	野地 静香(外来看護係長) 花山 千恵(麻酔科部副部長)
第1回	令和6年5月28日(火)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度緩和ケア委員の紹介 2. 今年度のアクションプラン <ol style="list-style-type: none"> 1) 終末期医療の指針作成 2) 緩和ケアマニュアル改訂 3. 緩和ケアチーム活動報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 今年度緩和ケアチームの紹介 2) 今後の活動報告 システム掲示板の掲示更新 4. 院内研修会の開催について <ol style="list-style-type: none"> 1) 「DNAR、意思決定支援について」(WEB配信緩和ケアCNより) 2) 9月の院内研修会開催について テーマ：「がん悪液質について」 3) 来年の院内研修会開催について 福島在宅緩和ケアクリニックの医師による研修会を検討 5. 医事課より <ol style="list-style-type: none"> 1) データ報告 2) 緩和ケア・がん関連の算定要件に関する一覧の作成検討 6. 令和6年度福島県緩和ケア研修会開催について
第2回	令和6年9月17日(火)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の活動報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 終末期医療の指針作成経過報告 2) 緩和ケアマニュアル改訂の更新 3) 院内研修会の開催 2. 緩和ケアチーム活動報告 3. 後期の活動 外部講師による院内研修会の開催について 4. 医事課より、がん・緩和ケア関連データ報告 5. その他
第3回	令和7年2月25日(火)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の活動報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 緩和ケアマニュアル改訂の更新 2) 院内研修会の開催 第1回 「がん患者の栄養管理について」 第2回 「DNAR、意思決定支援について」(WEB配信緩和ケアCNより) 第3回 「スムーズな在宅緩和の導入」 講師：ふくしま在宅緩和ケアクリニック院長 2. 緩和ケアチーム活動報告 3. 来年度の活動について 4. 医事課より、がん・緩和ケア関連データ報告 5. その他

37. 褥瘡対策委員会	
目 的	本院における褥瘡予防対策の確立や褥瘡治癒促進に向けて、褥瘡対策マニュアルの作成、褥瘡に関する情報の収集と共有、褥瘡対策についての教育研修の計画及び実施などを通し、褥瘡対策及び関連する事項について調査・審議する。
委 員 長 副委員長	元木 良和(皮膚科部長) 佐藤 美絵(看護部看護係長、皮膚・排泄ケア認定看護師)
第1回	令和6年4月23日(火)
	1. 診療報酬関連の情報・データ報告 2. 令和5年度活動報告 3. 令和6年度活動案 4. 前月分褥瘡報告 5. ラウンド 6. その他：マットレス管理について
第2回	令和6年5月28日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：マットレス管理について
第3回	令和6年6月25日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：スキンテアのリスクアセスメントについて マットレス管理について
第4回	令和6年7月23日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. ラウンド 3. その他：医事課から「KDP業務改善&見える化プロジェクト」について説明 マットレス管理について
第5回	令和6年8月27日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：令和6年6月発生症例の振り返り 外力保護ケア「安全なケア技術」 安全なスライディングボード使用方法 マットレス管理について
第6回	令和6年9月24日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：スライディングボード使用して 他 マットレス管理について
第7回	令和6年10月22日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. その他：摩擦軽減ケア(介助グローブ・スモールチェンジ等)に関する現状と課題・感想 マットレス管理について
第8回	令和6年11月26日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：スモールチェンジ等の夜間体位交換や排泄ケアについて実施状況及び部署内研修計画 マットレス管理について
第9回	令和6年12月24日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：スモールチェンジ等の夜間体位交換や排泄ケアについて実施状況及び部署内研修計画の 進捗状況 マットレス管理について
第10回	令和7年1月28日(火)
	1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：ラウンドケアオンラインセミナー基礎編のお知らせ マットレス管理について

第11回	令和7年2月25日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：1月委員会課題「踵骨部褥瘡に関する症例カンファレンス」結果セミナー案内 マットレス管理について	
第12回	令和7年3月25日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 症例検討 3. ラウンド 4. その他：令和7年度褥瘡ケア院内認定看護師養成研修(予定) マットレス管理について	

38. 認知症ケア運営委員会	
目的	認知症を有する患者ケアを行うために病棟での対応力とケアの質の向上を図る
委員長 副委員長	山本慎之助(精神科部副部長) 佐川奈美子(認知症看護認定看護師)
第1回	令和6年4月11日(木)
1. 令和6年度の委員について 2. 令和6年度診療報酬改定に伴う「認知症ケア加算の見直し」について 3. ラウンド前のカンファレンス	
第2回	令和6年5月9日(木)
1. 会議等運営指針について 2. 認知症ケア運営委員会規定について 3. 決定事項の周知方法について 4. ラウンド前のカンファレンス	
第3回	令和6年6月6日(木)
1. ラウンド前のカンファレンス	
第4回	令和6年7月11日(木)
1. 加算・管理料特化型DPC分析システム「加算だポン(KDP)」について 2. 認知症ケア加算1の算定率向上のための取り組み 3. ラウンド前のカンファレンス	
第5回	令和6年8月1日(木)
1. ラウンド前のカンファレンス	
第6回	令和6年9月12日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定率について～加算だポン(KDP)より～ 2. 算定率向上のための取り組み 3. ラウンド前のカンファレンス	
第7回	令和6年10月3日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について～加算だポン(KDP)より～ 2. 算定率向上のための取り組みについて～仙台赤十字病院より～ 3. ラウンド前のカンファレンス	
第8回	令和6年11月7日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について ～「加算だポン(KDP)」より～ 2. 算定率向上に向けての取り組みについて ～秋田赤十字病院より～ 3. ラウンド前のカンファレンス	
第9回	令和6年12月5日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について ～「加算だポン(KDP)」より～ 2. 11月の取り組みについて 3. 「算定率向上のための取り組みについて」他院へのアンケート調査の回答状況 4. 他病院への訪問について 5. ラウンド前のカンファレンス	

第10回	令和7年1月9日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について ~「加算だポン(KDP)」より~ 2. 佐川認定看護師不在時のラウンド等の対応について 3. ラウンド前のカンファレンス	
第11回	令和7年2月6日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について ~「加算だポン(KDP)」より~ 2. 「認知症ケアチーム活動計画書」の見直しについて 3. ラウンド前のカンファレンス	
第12回	令和6年3月7日(木)
1. 認知症ケア加算1の算定状況について ~「加算だポン(KDP)」より~ 2. 「認知症ケアチーム活動計画書」の見直しについて 3. ラウンド前のカンファレンス	

39. 看護師特定行為管理委員会	
目 的	委員会は、保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号。以下「法」という)第37条の2第2項第1号の規定に基づく特定行為(以下「特定行為」という)の適正かつ安全・確実な実施を図ることを目的とする。
委 員 長 副委員長	大和田尊之(副院長) 出羽 明子(副院長 兼 麻酔科部長)
第1回	令和6年9月18日
1. 【報告事項】 (1)活動状況の報告 2. 【確認・検討事項】 (1)看護師特定行為研修の受入について (2)特定行為推進の目標設定について	
第2回	令和6年10月23日
【確認・検討事項】 (1)研修実施状況の報告および課題の共有(課題があれば) (2)今後の特定行為研修の受講者の選定について	

40. DPCコーディング委員会	
目 的	適切なコーディングの周知
委 員 長 副委員長	多田 靖宏(耳鼻咽喉科部主任部長 兼 医療情報部門責任者) 酒井 亮(薬品管理係長)
第1回	令和6年8月28日(水)
<ul style="list-style-type: none"> ・コーディングテキストより <ul style="list-style-type: none"> ■医療資源病名を「疑い」とする場合 ・再入院について ・現在の取り組みについて ・DPCコーディング変更件数と増収金額 	
第2回	令和6年10月15日(火)
<ul style="list-style-type: none"> ・コーディングテキストより <ul style="list-style-type: none"> ■ICDにおける複合分類項目に該当する場合 ■病態の続発・後遺症のDPCコーディング ■急性及び慢性の病態のDPCコーディング ・DPCコーディング変更件数と増収金額 	

第3回	令和6年12月24日(火)
<ul style="list-style-type: none"> ・ コーディングテキストより <ul style="list-style-type: none"> ■ 処置後病態及び合併症のDPCコーディング ■ 多発病態のDPCコーディング ・ DPCコーディング変更件数と増収金額 	
第4回	令和7年3月3日(月)
<ul style="list-style-type: none"> ・ DPCコーディング実績(金額と件数) ・ 改定に伴う副傷病の動向 	



5. 教育・研究に関する委員会

41. 医師臨床研修管理委員会	
目 的	本院と臨床協力病院及び臨床研修協力施設とが共同で行う医師の臨床研修の実施を統括管理する。
委 員 長 副委員長	鈴木 恭一(院長) 渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 臨床研修センター長)
第 1 回	令和6年7月29日(月)
報告事項のみ	
第 2 回	令和6年10月2日(水)
1. 令和7年度採用初期臨床研修医の選考について	
第 3 回	令和7年3月7日(金)
1. 令和5年度採用初期臨床研修医の研修修了認定	

42. 医師臨床研修プログラム小委員会	
目 的	医師の臨床研修の円滑な運営を図る。
委 員 長 副委員長	渡部 研一(循環器内科部主任部長 兼 臨床研修センター長) 守谷 新(脳神経内科部長)
第 1 回	令和6年4月22日(月)
1. 2年目OSCEについて 2. メンターについて 3. 令和7年度以降の研修プログラムにおける院外研修枠について	
第 2 回	令和6年6月10日(月)
1. 日本専門医機構専門研修プログラムについて	
第 3 回	令和6年8月6日(火)
1. 令和7年度プログラムにおける外科選択診療科について	
第 4 回	令和6年10月7日(月)
報告事項のみ	
第 5 回	令和6年12月9日(月)
1. 研修医の行う医療行為についての確認 2. 令和7年度卒後研修プログラム案	
第 6 回	令和7年2月10日(月)
1. 研修医研修会の開催日程について	

43. 教育研修推進委員会	
目 的	本院の研修に関わる重要事項を審議し、研修全体の企画及び運営に関する基本的な事項を調査、審議、調整する
委員 長 副委員長	渡部 研一(循環器内科部主任部長) 出羽 明子(副院長 兼 麻酔科部長)
第 1 回	令和 6 年 6 月 4 日(火)
報告事項 1. 令和 6 年度 4 月～5 月の研修実績報告 2. 令和 6 年度実習受入予定 協議事項 1. 接遇講師養成研修について 2. 職員の能力開発のための支援について	
第 2 回	令和 6 年 7 月 11 日(木)
報告事項 1. 令和 6 年度 4～6 月の職員必須研修実績報告 協議事項 1. 接遇講師養成研修について 2. 職員の能力開発のための支援について 3. NST研修について 4. リハビリ「2024年度LSVT LOUD認定講習会」病院負担申請書について	
第 3 回	令和 6 年 9 月 3 日(火)
報告事項 1. 令和 6 年度 4～8 月の職員必須研修実績報告 協議事項 1. 職員の能力開発のための支援について 2. 「骨粗鬆症マネージャー」資格取得のための費用病院負担申請について	
第 4 回	令和 6 年 11 月 11 日(月)
報告事項 1. 令和 6 年度 4～10 月の職員必須研修実績報告 協議事項 1. 職員の研究会・研修会への参加について 2. 「産業医」資格取得のための費用病院負担申請について 3. 栄養サポートチームの活動計画について 4. 管理職研修の実施について	
第 5 回	令和 7 年 1 月 28 日(火)
報告事項 1. 令和 6 年度 4～1 月の職員必須研修実施報告・必須外研修実施報告 2. 接遇研修の実施について 協議事項 1. 医療法や施設基準に係る研修の実施ルールについて 2. 「法的脳死判定における脳波検査セミナー」参加のための費用病院負担申請について 3. 「臓器提供にかかる研修」参加のための費用病院負担申請について 4. 「福島県CBRNE(MCLS)研修」参加のための費用病院負担申請について 5. 「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う告示研修」参加のための費用病院負担申請について 6. 日赤医学会総会発表資料の共有(エレベーターホールへの掲示)について 7. 令和 7 年度新規採用職員オリエンテーションプログラム(案)について その他 1. 地域医療従事者研修について 2. 『身体拘束最小化に関する研修』について	

44. 図書委員会

目 的	本院全体における診療その他に必要な図書の整備、購入、利用、管理等を検討するとともに、病院図書の有効利用を図る。
委 員 長 副委員長	富田 夕紀(総務課長) 阪本 貴之(循環器内科部長)
令和6年度開催実績なし	



6. 労務および安全管理に関する委員会

45. 安全衛生委員会	
目 的	職員の安全衛生及び健康管理に関する事項について調査審議し、快適な職場環境を形成する。
委 員 長 副委員長	守谷 新(脳神経内科部長) 山本慎之助(精神科部副部長)
第1回	令和6年4月24日
1. 4月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 院内巡視結果報告 4. その他 ・12月～3月実施の生活習慣病健診対象について	
第2回	令和6年5月29日
1. 5月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 院内巡視結果報告	
第3回	令和6年6月26日
1. 6月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. 長時間労働者に対する面接指導のフローチャートの見直し 5. その他(協議) ・患者相談等報告書・暴言・暴力・セクシャルハラスメント等体験報告書の運用方法について	
第4回	令和6年7月31日
1. 7月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. 令和5年度後期・職員健康診断追跡報告 5. その他(協議) ・「患者相談等報告書」と「暴言・暴力・セクシャルハラスメント等体験報告書」の件について ・患者・家族等からの暴言・暴力に対する対応マニュアルについて ・労働基準監督署より監査が入った件	
第5回	令和6年8月28日
1. 8月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. 作業環境測定結果報告 5. その他 ・ストレスチェック実施について	
第6回	令和6年9月25日
1. 9月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. その他 ・令和6年度のストレスチェックの実施について	
第7回	令和6年10月30日
1. 10月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. その他 ・長期休業者の復帰支援について	
第8回	令和6年11月27日
1. 11月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. その他 ・令和6年度 前期職員健康診断追跡報告について ・令和6年度 ストレスチェックの結果について	

第9回	令和6年12月25日
1. 12月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について	
第10回	令和7年1月29日
1. 1月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. その他 ・令和7年の院内巡視のスケジュールについて	
第11回	令和7年2月26日
1. 2月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について	
第12回	令和7年3月26日
1. 3月分労働者傷病報告 2. 長時間労働者報告 3. 職場巡視について 4. その他 ・作業環境測定結果報告書について	

46. ハラスメント防止対策委員会	
目 的	福島赤十字病院におけるハラスメントの防止を目的に病院処務規程第20条の規定に基づき、ハラスメント防止対策委員会を置く。
委 員 長	大和田尊之(副院長)
副委員長	出羽 明子(副院長 兼 医療安全推進室長)
第1回	令和6年10月28日(月)
1. 委員会規程及び委員について 2. ハラスメント相談件及び相談の流れについて 1) 相談件数について 2) 相談の流れについて 3. ハラスメント事案の検討について 4. ハラスメント研修の実施について	

47. 医療ガス安全管理委員会	
目 的	医療ガスに関わる安全管理・安全使用の推進を図る
委 員 長	花山 千恵(麻酔科部副部長)
第1回	令和6年3月14日
1. 委員会名簿変更について 2. 医療ガス設備保守点検結果報告 3. 医療ガス研修会開催について 4. その他 *オンライン(マイページ)開催	

VI

研究発表

1. 学会・研究会・研修会

1. 診療科部

所属名	発表者名	期間	場所	学会名、研究・研修会名	演題名
脳神経外科部	伊藤 裕平	4月12日 ～ 4月12日	新潟市	いつ使うの？ここでしょ！～SolitaireとREACTのつかいどころ～	This is how I Do it. ～各施設のストラテジー～
脳神経外科部	伊藤 裕平	4月13日 ～ 4月13日	秩父市	第37回日本老年脳神経外科学会	当院における高齢者くも膜下出血の治療成績の検討
リウマチ・膠原病内科	松岡 直紀	4月17日 ～ 4月20日	神戸市	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	維持期SLE患者におけるMMFによる感染症発症の検討：LUNAレジストリによる前向きコホート研究
整形外科部	佐々木信幸	4月24日 ～ 4月26日	奈良市	第67回日本手外科学会学術集会	月状骨の分類における手関節尺屈位撮影の有効性
泌尿器科部	片岡 政雄	4月24日 ～ 4月27日	横浜市	第111回日本泌尿器科学会総会	Elucidation of mechanism of the postoperative urinary incontinence induced by high-frequency current during robot-assisted total prostatectomy
循環器内科部	渡部 研一	4月27日 ～ 4月27日	福島市	福島市臨床研修“NOWプロジェクト”第16回ケーススタディ及び講演会	発災後早期の日赤救護班活動
耳鼻咽喉科部	多田 靖宏	5月15日 ～ 5月18日	大阪府	第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会	咽頭蓋嚢胞に対するVideoendoscopic Laryngeal surgeryの治療成績
耳鼻咽喉科部	斎藤 杏	5月15日 ～ 5月18日	大阪府	第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会	当院における鼓膜再生療法について
脳神経外科部	市川 剛	5月17日 ～ 5月17日	福島市	世界高血圧デーに降圧治療を考える～福島分科会～	脳神経外科疾患急性期におけるエンレストの役割
消化器内科部	紺野 直紀	5月30日 ～ 6月1日	東京都	第107回日本消化器内視鏡学会総会	切除不能悪性胆管狭窄に対する多孔付きフルカパーメタリックステントの使用経験
耳鼻咽喉科部	多田 靖宏	6月1日 ～ 6月1日	福島市	デュピクセント鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎4周年記念Web講演会	当科におけるデュピクセント導入のコツ
麻酔科部	花山 千恵	6月13日 ～ 6月14日	神戸市	第29回日本緩和医療学会学術大会	慢性疼痛に対して長期的高容量オピオイドを使用していたが、悪性疾患治療をきっかけに緩和ケアチームが介入し、オピオイドを漸減・中止できた症例
外科部	塚田 学	6月20日 ～ 6月21日	長浜市	第46回日本癌局所療法研究会	ペバシズマブ投与により後腹膜膿瘍を併発した大腸憩室症の1例
脳神経内科部	守谷 新	6月23日 ～ 6月23日	福島市	難病医療講演会・交流会(パーキンソン病)	パーキンソン病について理解を深めよう
臨床研修センター	土田 正樹	6月27日 ～ 6月29日	福井市	第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	化学療法後に急死した中咽頭癌の剖検1例
消化器内科部	亀岡 英介	7月5日 ～ 7月6日	仙台市	日本消化器病学会東北支部第217回例会、第172回日本消化器内視鏡学会東北支部例会	当院における胃液を用いたPCR法による/H.pylori/感染診断の現状

所属名	発表者名	期間	場所	学会名、研究・研修会名	演題名
臨床研修センター	赤沼 桃	7月5日 }	仙台市	日本消化器病学会東北支部第217回例会	ステロイド投与中に後腹膜穿孔を起こした潰瘍性大腸炎の一例
循環器内科部	佐藤 洋太	7月19日 }	青森市	第55回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会	IVLを使用した急性冠症候群の1例
循環器内科部	大和田尊之	7月19日 }	青森市	第55回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会	IVLを使用した急性冠症候群の1例
臨床研修センター	田沼 靖裕	7月20日 }	福島市	令和6年度福島医大第2内科同門会学術集会	治療後9日目で消化管穿孔を起こした好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(Churg Strass症候群)の1例
循環器内科部	大和田尊之	7月24日 }	福島市	HK Management Seminar	心不全診療UP to Date～カリウム管理の話題を含めて～
臨床研修センター	見目 能基	7月27日 }	福島市	第10回日本臨床外科学会福島県支部学術集会	成長腸重積症
消化器内科部	入江 大樹	7月27日 }	郡山市	第1回福島胆膵内視鏡セミナー	当院での胆膵疾患における内視鏡診療
泌尿器科部	片岡 政雄	8月2日 }	横浜市	第26回日本女性骨盤底医学会	cineMRIを用いたUrethralmobilityとVesical neck movement測定による骨盤臓器脱修復術後の過活動膀胱の予測
泌尿器科部	片岡 政雄	9月5日 }	郡山市	第31回日本排尿機能学会	MRIを用いた骨盤底筋評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の過活動膀胱発症メカニズムの解明 ワークショップ「絆で治して魅せる～女性における手術合併症としての排尿障害～」「婦人科手術後の排尿トラブル(膀胱陰痿)」
産婦人科部	矢澤 浩之	9月12日 }	東京都	第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	帝王切開既往症例のTLHの手術成績と合併症発生について
臨床研修センター	荒 郁弥	9月13日 }	札幌市	第14回日本麻酔科学会学術集会北海道・東北支部学術集会	高齢者の股関節骨折手術における麻酔法の選択が術後早期の歩行機能に及ぼす影響の解析
産婦人科部	小島つかさ	9月19日 }	郡山市	令和6年度福島県産婦人科学会秋季学術集会	当院における子宮全摘除術の手術成績と腹腔鏡下手術増加の背景
臨床研修センター	田沼 靖裕	9月21日 }	仙台市	第138回日本血液学会東北地方会	統合失調症の併存のため寛解導入療法に難渋した急性骨髄性白血病(AML)の1例
循環器内科部	草野 亮太	9月27日 }	仙台市	第72回日本心臓病学会学術集会	perfusion balloonにより急性ステント血栓症へ対応した急性下壁心筋梗塞の一例 IVL合併症で冠動脈解離を生じ処理に難渋した陳旧性心筋梗塞の一例
臨床研修センター	堀岡 暉	9月28日 }	仙台市	第72回日本心臓病学会学術集会	薬剤性QT延長によりtorsades de pointesを認めた一例
臨床研修センター	五十嵐菜央	9月28日 }	仙台市	第72回日本心臓病学会学術集会	完全房室ブロックによる急性心不全で入院した直後にたこつぼ型心筋症を発症した一例

所属名	発表者名	期間	場所	学会名、研究・研修会名	演題名
臨床研修センター	西間木隆平	9月28日 ～ 9月28日	仙台市	第72回日本心臓病学会学術集会	血栓溶解療法を先行して二期的にPCIを施行した2例
循環器内科部	佐藤 洋太	9月28日 ～ 9月28日	仙台市	第72回日本心臓病学会学術集会	ロータブレードによるリージョンモディファイケーションにより石灰化を伴う左主幹部分岐部病変を治療した1例 高度石灰化病変に対しIVLが有効だった急性冠症候群の1例
臨床研修センター	渡部 佑佳	10月18日 ～ 10月18日	仙台市	第60回日赤医学会総会	房室ブロック発症から3年後に心サルコイドーシスの診断に至った一例
臨床研修センター	赤沼 桃	10月19日 ～ 10月20日	天童市	第34回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会	急速な関節破壊を認めた突発性キャスルマン病の一例
臨床研修センター	眞喜志清将	10月19日 ～ 10月20日	天童市	第34回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会	側頭動脈エコーが診断に有用であった巨細胞性動脈炎の一例
泌尿器科部	今井 仁美	10月21日 ～ 10月27日	スペイン	ICS2024 (International Continence Society)	Identification of factors associated with the onset of stress urinary incontinence and urgency urinary incontinence after robot-assisted radical prostatectomy and their application to distinguish between them
脳神経外科部	市川 剛	10月28日 ～ 10月28日	福島市	世界高血圧デーに降圧治療を考える～福島分科会～	高血圧と脳卒中
循環器内科部	渡部 研一	10月30日 ～ 10月30日	郡山市	令和6年度赤十字ボランティアのつとめ第113回	令和6年度能登半島地震災害救護活動について
糖尿病・代謝内科部	佐藤 義憲	11月2日 ～ 11月2日	仙台市	第62回日本糖尿病学会東北地方会	高血糖とケトosisを機に先端巨大症と診断され経過中に下垂体卒中を発症した1例、糖尿病ケトアシドーシスを発症した胃全摘既往のある2型糖尿病の1例
臨床研修センター	赤沼 桃	11月2日 ～ 11月2日	仙台市	第62回日本糖尿病学会東北地方会	糖尿病ケトアシドーシスを発症した胃全摘既往のある2型糖尿病の1例
臨床研修センター	渡部 佑佳	11月2日 ～ 11月2日	仙台市	第62回日本糖尿病学会東北地方会	高血糖とケトosisを機に先端巨大症と診断され経過中に下垂体卒中を発症した1例
麻酔科部	出羽 明子	11月13日 ～ 11月13日	福島市	福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部2024年(令和6年)11月合同研修会	がんの疼痛緩和～オピオイド選択のポイント～
泌尿器科部	片岡 政雄	11月14日 ～ 11月14日	福島市	県北腎泌尿器疾患研究会	超音波、MRI、融合画像下前立腺針生検法について
脳神経外科部	伊藤 裕平	11月20日 ～ 11月23日	熊本市	第40回日本脳神経血管内治療学会総会	中規模2次救急病院におけるJSNET専門医数の増加が病院収益及び手術件数に与える影響
麻酔科部	出羽 明子	11月21日 ～ 11月23日	東京都	日本臨床麻酔学会第44回大会	メサドン塩酸塩の導入により良好な除痛が得られ在宅緩和ケアを決意した一例

所属名	発表者名	期間	場所	学会名、研究・研修会名	演題名
臨床研修センター	古田 空	11月21日 ～ 11月23日	東京都	日本臨床麻酔学会第44回大会	脳化膿症後の遷延する呼吸器不全を契機として、筋強直性ジストロフィーの診断に至った1例
臨床研修センター	森岡 誠史	11月21日 ～ 11月23日	東京都	日本臨床麻酔学会第44回大会	メサドン塩酸塩の導入により良好な除痛が得られ在宅緩和ケアを決意した一例
外科部	大須賀文彦	11月21日 ～ 11月22日	宇都宮市	第86回日本臨床外科学会学術集会	内頸静脈経由で留置された中心静脈カテーテル断裂の2症例
泌尿器科部	片岡 政雄	11月27日 ～ 11月29日	千葉市	第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会	cineMRIでの骨盤底評価による骨盤臓器脱修復術後の過活動膀胱の予測
泌尿器科部	今井 仁美	11月28日 ～ 11月30日	千葉市	第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会	ロボット支援前立腺全摘除術後における腹圧性尿失禁・切迫性尿失禁
脳神経外科部	市川 剛	11月29日 ～ 11月29日	福島市	Fukushima Stroke Seminar	脳卒中患者の地域連携について
臨床研修センター	五十嵐菜央	11月29日 ～ 11月30日	山形市	第179回日本循環器学会東北地方会	乾癆性関節炎を伴った虚血性心筋症の一例
循環器内科部	渡部 研一	11月30日 ～ 11月30日	山形市	第179回日本循環器学会東北地方会	乾癆性関節炎を伴った虚血性心筋症の一例
リウマチ・膠原病内科	松本 聖生	12月2日 ～ 12月2日	福島市	社内研修会	関節リウマチの薬物療法
整形外科部	小平 俊介	12月5日 ～ 12月7日	那覇市	第2回日本膝関節学会	ACL再建術、及びLM縫合術後に関節水腫を来し、競技復帰にcentralizationの追加を要したサッカー選手の一例
外科部	大須賀文彦	12月5日 ～ 12月7日	福岡市	第37回日本内視鏡外科学会総会	術前診断に難渋し診断・治療目的に腹腔鏡下手術施行した低胃型度虫垂粘膜性腫瘍の2例
消化器内科部	菅野有紀子	12月6日 ～ 12月6日	仙台市	第45回日本肝臓学会東部会	当院における脂肪肝症例のグラフ化体重記録の長期有用性についての検討
臨床研修センター	渡部 祐亮	12月6日 ～ 12月6日	仙台市	第45回日本肝臓学会東部会	アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法で血球貪食症候群を合併した肝細胞癌の1例
麻酔科部	出羽 明子	1月24日 ～ 1月24日	福島市	Primary care Ladies Seminar in fukushima	疼痛コントロールについて～慢性疼痛・がん性疼痛～
呼吸器外科部	井上 卓哉	2月14日 ～ 2月15日	横浜市	第40回日本栄養治療学会学術集会	R3ポートの使用経験
耳鼻咽喉科部	多田 靖宏	3月6日 ～ 3月7日	福島市	第37回日本咽喉頭科学会総会・学術講演会	他施設と連携した咽頭アミロイドーシスの治療経験
臨床研修センター	土田 正樹	3月6日 ～ 3月7日	福島市	第37回日本咽喉頭科学会総会・学術講演会	他施設と連携した咽頭アミロイドーシスの治療経験

2. 臨床工学技術課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
11月6日	早坂美智子	福島市	福島県臨床工学技士会スキルアップセミナー	植込み型心臓電気デバイスCIEDsの管理方法 (コメンテーター)
11月9日	齋藤 巧	盛岡市	第14回日本赤十字社臨床工学技士会東北ブロック研修会	シンポジウム 医療機器管理の実際
11月10日	塩澤 将太	盛岡市	第14回日本赤十字社臨床工学技士会東北ブロック研修会	次世代セッション さらに成長を目指して
11月10日	橋本 健一	盛岡市	第14回日本赤十字社臨床工学技士会東北ブロック研修会	ワークショップ よろず相談・新しい研修会の振り返り(座長)

3. 薬剤部

著書

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
2025年 3月31日	渡部 寿康	定期誌	福島県病院薬剤師会雑誌No.118	能登半島地震における 福島赤十字病院救護班の活動報告①
2025年 3月31日	菊地 洋平	定期誌	福島県病院薬剤師会雑誌No.118	能登半島地震における 福島赤十字病院救護班の活動報告②

学会・研修会講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
2024年 10月17日 ～18日	渡部 寿康	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会	能登半島地震における 福島赤十字病院救護班の活動報告①
2024年 10月17日 ～18日	菊地 洋平	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会	能登半島地震における 福島赤十字病院救護班の活動報告②
2024年 10月17日 ～18日	横田 有希	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会	入院処方薬の再利用による薬剤費削減の効果 の検証
2024年 11月13日	渡部 寿康	福島市	福島県病院薬剤師会福島支部・ 福島薬剤師会2024年(令和6年) 11月合同研修会	オピオイドの基本と当院薬剤師の 緩和ケア介入状況
2024年 11月16日 ～17日	武藤 芳和	秋田市	第25回東北ブロック赤十字病院 薬剤師研修会(in秋田)	「魅力ある日赤薬剤師会」創りのために
2024年 11月16日 ～17日	村上 美里	秋田市	第25回東北ブロック赤十字病院 薬剤師研修会(in秋田)	整形外科領域における薬剤師の関わり 骨粗鬆症マネージャー取得に向けて
2024年 11月16日 ～17日	太田 昂希	秋田市	第25回東北ブロック赤十字病院 薬剤師研修会(in秋田)	病院薬剤師として現在取り組んでいること
2025年 2月10日	菊地 洋平	福島市	令和6年度福島赤十字病院化学 療法レジメン研修会	今年度の登録レジメンと注意点 ～ガイドラインを踏まえて～
2025年 2月10日	武藤 芳和	福島市	令和6年度福島赤十字病院化学 療法レジメン研修会	大腸がん(進行・再発)の登録レジメンと 注意点
2025年 2月14日 ～15日	矢葺 優佳	横浜市	第40回日本栄養治療学会	NST介入によりリフィーディング症候群を 回避できた1例

4. 経営企画課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月21日 ～22日	金子 瑛	福岡市	第26回日本医療マネジメント学会学術総会	効果的な紹介患者増加のための分析ツールの導入とクリニック訪問の取り組み
12月1日	金子 瑛	福岡市	第13回全国医療経営士実践研究大会	経営改善実行のための「チーム作り」と「アクションプラン」の活用
2月22日	金子 瑛	仙台市	第3回医療経営士実践研究大会東北支部大会	経営改善実行のための「チーム作り」と「アクションプラン」の活用

5. 医事課

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月17日 ～18日	三浦 有樹	宮城県 仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会	要望演題 能登半島地震の本部活動におけるStarlinkによる通信確保の課題
3月6日 ～8日	三浦 有樹	愛知県 名古屋市	第30回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会	シンポジウム 学からのニーズ 令和6年度大規模地震時医療活動訓練ニーズ調査アンケートより
3月6日 ～8日	三浦 有樹	愛知県 名古屋市	第30回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会	シンポジウム 学からのニーズ 令和6年能登半島地震ニーズ調査アンケートより
3月6日 ～8日	三浦 有樹	愛知県 名古屋市	第30回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会	一般口演 GISを活用した空間分析による医療機関別の想定浸水高および推定計測震度の算出

6. 医療安全推進室

学会・研修会講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
5月28日	奈良輪弘美	郡山市	令和6年度看護職の再就業支援研修	医療事故防止、医療安全に関する基礎知識について
9月28日	奈良輪弘美	いわき市	日本医療マネジメント学会第12回福島支部学術集会	転倒転落防止対策チームによるベット内蔵型離床センサーの活用

7. 地域医療連携室

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
9月28日	菅野 直樹	姫路市	第23回日本精神保健福祉士学会学術集会	精神保健福祉士に対する被災者支援等に関する意識調査 ～東日本大震災当時との比較考察～
10月18日	菅野 直樹	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会 (ポスター)	災害支援に於けるMSWの視点 ～熊本・能登半島地震への派遣経験を踏まえて～
10月18日	松田千絵美	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会 (ポスター)	地域医療連携室 －前方連携における多職種協同とソーシャルワーカーの役割－
10月18日	菅野 直樹	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会 (SWフォーラム)	赤十字におけるMSWとしての役割と期待 ～日本精神保健福祉士協会の活動経験を踏まえて～

学会・研修会講演

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
6月22日	菅野 直樹	熊本市	第68回 熊本県精神保健福祉士協会 定例研修会	「災害支援とソーシャルワーク」 － 分かち合いから始める私の備え －
6月29日	菅野 直樹	福島市	第12回日本精神保健福祉学会全国学術集会(シンポジウム)	「災害支援に於ける多職種協働の歩みから見出す復興知」
7月6日	菅野 直樹	金沢市	石川県精神保健福祉士会 通常総会記念シンポジウム	「災害支援と復興の歩み」 － 経験則でつなぐ支援のバトン －

8. 福島赤十字訪問看護ステーション

学会・研究会等 発表

期間	発表者名	場所	学会名等	演題名
10月17日	齋藤 泉	仙台市	第60回日本赤十字社医学会総会	ナラティブから看護ケアを振り返る ～在宅療養者の終末期支援～

2. 論文発表

診療科	著者	論文名	誌名・巻(号)・ページ
脳神経外科	Dai Uzuki, Yuhei Ito, Megumi Koiwai, Tsuyoshi Ichikawa, Kazuhiro Tasaki, Kyouichi Suzuki	Multiple Myxoid Meningiomas Exhibiting Rapid Growth : A Case Report and Literature Review	NMC Case Report Journal 12 : 15-20, 2025
脳神経外科	小祝 萌、市川 剛、鈴木 恭一、伊藤 裕平、卯月 大	血管内治療でトラッピングを行った特発性外頸動脈瘤の一例	脳神経外科速報 35 (1) : 135-135, 2025
形成外科	Emiko Asai and Elisa Paolin	Resolution of Non-Diabetic Intractable Wounds with Severe Comorbidities Using Autologous Micrografts	International Journal of Clinical Case Reports 19(3) ; DOI:10.31579/2690-4861/571and Reviews
産婦人科	Yazawa H, Yazawa R, Matsuoka R, Ohara M	Surgical Outcomes and Trends in Incidence of Ectopic Pregnancy.	Gynecology and Minimally Invasive Therapy, 13 : 111-118, 2024.
産婦人科	Yazawa R, Yazawa H, Anjo K, Inazuki A	Four cases of isolated fallopian tube torsion successfully treated with laparoscopic surgery : A case series.	Fukushima J. Med. Sci., Vol. 70(3) : 1-6, 2024.
産婦人科	Yazawa H, Yazawa R, Anjo K, Inazuki A, Kikuta M	The utility of MRI for the preoperative differential diagnosis of uterine sarcoma and leiomyoma : a single-center study.	Fukushima J. Med. Sci., Vol. 70(4) : 211-218, 2024.

福島赤十字病院
令和6年度 病院年報

通算第14号

令和8年3月発行

編集◎福島赤十字病院 事務部経営企画課

発行◎福島赤十字病院

〒960-8530 福島県福島市八島町7-7

TEL 024-534-6101(代表) FAX 024-531-1721

<https://www.fukushima-med-jrc.jp/>

copyright©JAPANESE RED CROSS FUKUSHIMA HOSPITAL All rights reserved.



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.